



ユーザーガイド

Amazon WorkSpaces



Amazon WorkSpaces: ユーザーガイド

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標とトレードドレスは、Amazon 以外の製品またはサービスとの関連において、顧客に混乱を招いたり、Amazon の名誉または信用を毀損するような方法で使用することはできません。Amazon が所有しない他の商標はすべてそれぞれの所有者に帰属します。所有者は必ずしも Amazon との提携や関連があるわけではありません。また、Amazon の支援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

開始	1
ユーザープロフィールを入力する	1
クライアントを選択する	2
クライアントのバージョンを確認する	2
ストリーミングプロトコルを確認する	3
ネットワーク要件を確認する	3
(オプション) パスワードの変更	4
(オプション) との統合 WorkDocs	4
を管理 Workspace	6
認証情報の保存	6
パスワードの変更	7
を再起動してください。 Workspace	8
Workspace ディスクのサイズを大きくしてください。	8
Workspace コンピュートタイプを変更してください。	10
Workspace 実行モードを切り替えます。	11
再構築してください。 Workspace	12
周辺機器のサポート	14
監視	14
キーボードとマウス	15
オーディオヘッドセット	15
プリンター	15
スキャナ、USB ドライブ、およびその他のストレージデバイス	16
ウェブカメラおよびその他のビデオデバイス	16
スマートカード	17
ハードウェアセキュリティキー	18
U2F 認証 Workspace 用の YubiKey にリダイレクトするには	18
WebAuthn 認証子	19
高 DPI ディスプレイのサポート	20
スマートカードのサポート	25
スマートカードを使用して Workspace にログインする	26
Chrome または Firefox の Windows WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中)	27
Chrome または Firefox の Linux WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中)	27
WebAuthn サポート	29

Amazon Connect オーディオ最適化のサポート	30
Workspace と Amazon Connect の問い合わせコントロールパネル (CCP) にログインします ...	30
言語とキーボードのサポート	32
PCoIP プロトコルを使用する WorkSpaces	32
WorkSpaces Streaming Protocol (WSP) を使用する WorkSpaces	33
USB リダイレクト	38
クライアント	42
Android/Chromebook	42
要件	43
セットアップとインストール	44
に接続する Workspace	45
ジェスチャー	46
サイドバーメニュー	47
キーボード	48
トラックパッドモード	48
ディスプレイのサポート	49
切断	50
クリップボードのサポート	50
リリースノート	50
iPad	57
要件	58
セットアップとインストール	59
に接続する Workspace	59
ジェスチャー	60
放射状メニュー	60
キーボードとコマンドのショートカット	62
マウスモード	63
Swiftpoint GT ProPoint、または PadPoint マウス	63
切断	64
クリップボードのサポート	64
リリースノート	65
Linux	69
要件	70
セットアップとインストール	70
への接続 Workspace	71
ログイン情報の管理	72

クライアントビュー	73
クライアントの言語	73
ディスプレイのサポート	74
プロキシサーバー	76
コマンドショートカット	78
クリップボードのリダイレクト	78
切断	78
リリースノート	80
macOS	87
要件	88
セットアップとインストール	88
クライアントのバージョンを確認する	89
に接続する Workspace	89
ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ)	90
クライアントビュー	91
クライアントの言語	91
ディスプレイのサポート	92
プロキシサーバー	94
コマンドショートカット	95
Windows ログキーまたはコマンドキーを再マッピングする	95
切断	96
クリップボードのサポート	96
診断ログのアップロード	97
リリースノート	97
PCoIP ゼロクライアント	111
要件	111
に接続する Workspace	112
ゼロクライアントから切断する	112
Web Access	112
ウェブサイト	113
要件	113
クライアントビュー	115
プロキシサーバー	115
WSP 用に WorkSpaces 設定された の機能	115
診断ログのアップロードを有効にする	117
Windows	117

要件	118
セットアップとインストール	118
クライアントのバージョンを確認する	122
に接続する Workspace	122
ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ)	123
クライアントビュー	124
クライアントの言語	124
ディスプレイのサポート	124
プロキシサーバー	126
コマンドショートカット	128
切断	128
クリップボードのサポート	129
ハードウェアアクセラレーションを管理する	129
診断ログのアップロード	133
リリースノート	134
サポートされている WSP 機能	152
サポートされている PCoIP 機能	155
印刷	160
ローカルプリンター	160
その他の印刷方法	161
トラブルシューティング	162
Amazon WorkSpaces 登録コードが記載された E メールが届かなかった	163
ログイン後、Windows クライアントアプリケーションには白いページのみが表示され、自分の に接続できません Workspace	163
WorkSpaces クライアントからネットワークエラーが表示されましたが、デバイスで他のネッ トワーク対応アプリケーションを使用できます	164
Windows へのログインに数分かかることがあります。 Workspace	165
ログインしようとする、Amazon WorkSpaces Windows クライアントが「ログインページの 準備」画面でスタックします。	165
ログインしようとする、次のエラーメッセージが表示されます。「ネットワークがありません。 ネットワーク接続が失われました ネットワーク接続を確認するか、管理者に問い合わせ てください。」	165
Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションのログインページが非常に小さ い	166
Workspace 「ステータス: 異常」というエラーメッセージが表示されます。に接続できませ んでした Workspace。Please try again in a few minutes.」というメッセージが表示される。	166

セッションを閉じ WorkSpaceでも Windows からログアウトすることがありますが、ログアウトはしませんでした	167
パスワードを忘れてリセットしようとしたが、リセットリンクが記載された E メールが届きませんでした。	167
からインターネットに接続できない WorkSpace	167
サードパーティーのセキュリティソフトウェアパッケージをインストールしたが、に接続できない WorkSpace	167
に接続したときに「ネットワーク接続が遅い」という警告が表示される WorkSpace	168
クライアントアプリケーションで「無効な証明書」エラーが表示されました。これはどういう意味ですか?	168
Web Access WorkSpace を使用して Windows に接続しようとする問題が発生する	168
「デバイスは登録サービスに接続できません。ネットワーク設定を確認してください」というエラーが表示されます。	169
クライアントアプリケーションの更新をスキップした後で、クライアントを最新バージョンに更新できません。	169
ヘッドセットが で機能しない WorkSpace	169
Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできません。	170
入力した文字が間違えて表示されます。例えば、引用符 (' や ") を入力すると \ や と表示されます。	171
WorkSpaces クライアントアプリケーションが Mac で実行されない	171
Mac での作業 WorkSpaces 中に Windows で Windows ロゴキーの使用に問題がある	172
Mac でぼやけている WorkSpace ように見える	172
コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました	172
画面がちらついている、正しく更新されない、またはマウスが正しい場所をクリックしない .	172
Windows 用の WorkSpaces クライアントが、既にインストールされているバージョンに更新するよう求めるプロンプトを表示します。	173

の開始方法 Workspace

管理者が を作成すると Workspace、招待メールが届きます。の使用を開始するには、以下のタスクを完了します Workspace。

タスク

- [ユーザープロファイルを入力する](#)
- [クライアントを選択する](#)
- [クライアントのバージョンを確認する](#)
- [ストリーミングプロトコルを確認する](#)
- [ネットワーク要件を確認する](#)
- [\(オプション\) パスワードの変更](#)
- [\(オプション\) との統合 WorkDocs](#)

ユーザープロファイルを入力する

管理者が を作成したら Workspace、7 日以内にユーザープロファイルを入力する必要があります。そうしないと、招待の有効期限が切れます。招待の有効期限が切れた場合は、管理者に別の招待を依頼してください。

ユーザープロファイルを入力するには

1. 招待メールでリンクを開きます。
2. パスワードを入力します。パスワードは大文字と小文字が区別され、8～64 文字の長さにする必要があります。パスワードには、次の各カテゴリから少なくとも 1 文字を含める必要があります。
 - 英小文字 (a～z)
 - 英大文字 (A～Z)
 - 番号 (0～9)
 - アルファベット以外の文字 (~!@#\$\$%^&* _+=`|\(){}[]:;'"<>.,./?)
3. [ユーザーの更新] を選択します。

WorkSpaces パスワードはいつでも変更できます。詳細については、「[パスワードの変更](#)」を参照してください。

クライアントを選択する

サポートされているデバイスまたはウェブブラウザのクライアントアプリケーション WorkSpace を使用して、に接続できます。WorkSpaces クライアントアプリケーションを実行するには、Windows または Linux PC、Mac、iPad、Kindle、Chromebook、Android タブレットまたはスマートフォンが必要です。WorkSpaces Web Access を実行するには、Windows PC または Mac で Chrome または Firefox ウェブブラウザを実行しているか、Linux PC で Firefox ブラウザを実行している必要があります。

Note

Ubuntu WorkSpaces は現在、Windows クライアントアプリケーションと Web Access をサポートしています。

への接続については WorkSpace、次のクライアントドキュメントを参照してください。

- [Android クライアントアプリケーション](#)
- [iPad クライアントアプリケーション](#)
- [Linux クライアントアプリケーション](#)
- [macOS クライアントアプリケーション](#)
- [PCoIP ゼロクライアント](#)
- [Web Access](#)
- [Windows クライアントアプリケーション](#)

クライアントのバージョンを確認する

使用している WorkSpaces クライアントのバージョンを確認するには、Amazon WorkSpaces、Amazon について WorkSpaces、右上隅にある歯車アイコンをクリックし、Amazon について WorkSpaces を選択します。

ストリーミングプロトコルを確認する

デバイスまたは機能のサポートは、使用しているストリーミングプロトコル WorkSpace、PCoIP または WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) によって異なる場合があります。macOS および Windows クライアントアプリケーションの 3.0 以降のバージョンでは、サポート、について WorkSpace を選択すると、WorkSpace が使用しているプロトコルを確認できます。iPad、Android、および Linux クライアントアプリケーションは、現在 PCoIP プロトコルのみをサポートしています。

ネットワーク要件を確認する

で優れたエクスペリエンスを得るには WorkSpace、クライアントデバイスがネットワーク要件を満たしていることを確認します。

3.0 以上のクライアントのネットワーク要件を確認するには

1. WorkSpaces クライアントを開きます。クライアントを初めて開いた場合は、招待メールで受け取った登録コードを入力するよう求められます。
2. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
Windows または Linux クライアント	クライアントアプリケーションの右上にある [Network (ネットワーク)] アイコン を選択します。
macOS クライアント	[Connections (接続)]、[Network (ネットワーク)] の順に選択します。

クライアントアプリケーションによって、ネットワーク接続、ポート、ラウンドトリップ時間がテストされ、これらのテストの結果がレポートされます。

3. [Network (ネットワーク)] ダイアログボックスを閉じて、サインインページに戻ります。

1.0 以上および 2.0 以上のクライアントのネットワーク要件を確認するには

1. WorkSpaces クライアントを開きます。クライアントを初めて開いた場合は、招待メールで受け取った登録コードを入力するよう求められます。
2. クライアントアプリケーションの右下隅にある [Network (ネットワーク)] を選択します。クライアントアプリケーションによって、ネットワーク接続、ポート、ラウンドトリップ時間がテストされ、これらのテストの結果がレポートされます。
3. [Dismiss] を選択してサインインページに戻ります。

(オプション) パスワードの変更

手順については、「[the section called “パスワードの変更”](#)」を参照してください。

(オプション) との統合 WorkDocs

Amazon WorkSpaces 管理者が有効にしている場合は、を Amazon WorkSpace と統合できます WorkDocs。Amazon を使用してファイル WorkDocs を保存、同期、共有できます。WorkDocs は、ドキュメントを自動的にバックアップ WorkSpace し、PC や Mac などの他のデバイスとの間でドキュメントを同期できるため、使用しているデスクトップに関係なくデータにアクセスできます。

Note

WorkDocs は Linux では使用できません WorkSpaces。

WorkDocs に をインストールするには WorkSpace

1. で「Amazon デスクトップのインストール WorkDocs」ショートカットを選択します (ダブルクリック) WorkSpace。
2. Amazon WorkDocs Setup ダイアログボックスで、開始方法を選択します。
3. WorkDocs サイト URL の入力を求めるプロンプトを無視し、代わりに次へボタンの下に WorkSpaces 登録コードを入力しますを選択します。
4. 登録コード ボックスに、WorkSpaces ウェルカムメールに記載されている登録コードを入力し、次へ を選択します。
5. WorkSpace ログイン認証情報を入力し、サインインを選択します。

6. 次のダイアログボックスで、同期したファイルの場所として推奨されるフォルダが表示されます。デフォルトのフォルダは D:\Users*WorkSpaceUserName*\WorkDocs です。別のフォルダを指定するには、[Change] (変更) を選択します。選択が完了したら、[Next] (次へ) を選択します。
7. 同期するファイルを選択します (選択したファイルとフォルダのみを同期するか、 から WorkDocs すべてのファイルとフォルダを同期します WorkDocs)。設定を完了するには、[Next] (次へ) を選択します。
8. Windows エクスプローラーを開きます。これで、新しい D:\Users *WorkSpaceUserName*\WorkDocs フォルダが表示されます。ファイルをバックアップおよび同期するには、ファイルをこの場所に保存してください。
9. ファイルを同期する他のコンピュータまたはデバイスに WorkDocs Drive をインストールします。WorkDocs Drive クライアントは、<https://amazonworkdocs.com/clients> からダウンロードできます。WorkDocs Drive にログインするときは、この手順で前述したように、WorkSpace 登録コード、ユーザー名、パスワードを使用してください。

 Important

Mac に WorkDocs Drive をインストールする場合は、[「Amazon 管理ガイド」の「Amazon WorkDocs Drive のインストール」](#)の手順に従います。 WorkDocs WorkDocs

Drive の使用の詳細については、WorkDocs [「Amazon 管理ガイド」の「Amazon WorkDocs Drive」](#)を参照してください。 WorkDocs

WorkSpace クライアントから管理

[Windows クライアント](#)、[macOS クライアント](#)、または [Linux クライアント](#) を使用している場合は WorkSpaces、次の管理タスクをクライアントから直接実行できます。

Note

これらのタスクは、WorkSpaces 管理者が有効にしている場合にのみ実行できます。

タスク

- [認証情報の保存](#)
- [パスワードの変更](#)
- [を再起動してください。WorkSpace](#)
- [WorkSpace ディスクのサイズを大きくしてください。](#)
- [WorkSpace コンピュートタイプを変更してください。](#)
- [WorkSpace 実行モードを切り替えます。](#)
- [再構築してください。WorkSpace](#)

認証情報の保存

WorkSpace クライアントアプリケーションの実行中に認証情報を再入力せずに再接続できるように、サインイン認証情報を安全に保存するかどうかを選択できます。認証情報は RAM にのみ安全にキャッシュされます。この機能は、いつでも無効にし、再び有効にすることができます。

3.0 以降のクライアントで認証情報を保存するには

1. クライアントを開きます。WorkSpaces
2. クライアントのログイン画面で、必要に応じて [ログイン状態を保つ] チェックボックスをオンまたはオフにして、このオプションを有効または無効にします。

1.0 以降および 2.0 以降のクライアントで認証情報を保存するには

1. WorkSpaces クライアントを開きます。

2. クライアントのログイン画面で、歯車アイコン (Windows) または [オプション] メニュー (macOS) を選択し、[詳細設定] を選択します。
3. 必要に応じて、[このアカウントを記憶する] チェックボックスをオンまたはオフにして、このオプションを有効または無効にします。

パスワードの変更

WorkSpaces ログインパスワードはいつでも変更できます。

パスワードを変更するには

1. WorkSpaces クライアントを開きます。
2. クライアントのログイン画面で、[サインイン] ボタンの下にある [パスワードを忘れた場合] を選択します。

Note

パスワードを忘れた場合 ログイン画面に表示されない場合は、WorkSpaces 管理者にパスワードのリセットについて問い合わせてください。

パスワードをお忘れですか? AWS GovCloud (米国西部) リージョンではご利用いただけません。

3. ユーザー名を入力し、イメージに表示される文字を入力します。
4. [パスワードの回復] を選択します。
5. パスワードリセットリンクが記載された E メールが送信されます。E メールに記載されている手順に従って、パスワードを変更します。パスワードは大文字と小文字が区別され、8~64 文字の長さにする必要があります。パスワードには、次の各カテゴリから少なくとも 1 文字を含める必要があります。
 - 英小文字 (a~z)
 - 英大文字 (A~Z)
 - 番号 (0~9)
 - 英数字以外の文字 (~!@#%\$%^&* _-+=`|\(){}[]:;'"<>.,?/)

空白、キャリッジリタータブ、改行、NULL 文字など、印刷できない Unicode 文字は含めないようにしてください。

Note

エラーが表示された場合は、管理者に連絡してください。AWS Managed Microsoft AD

を再起動してください。WorkSpace

で問題が発生した場合は WorkSpace、再起動 (再起動) できます。を再起動すると、WorkSpace との接続が切断され WorkSpace、シャットダウンして再起動できるようになります。ユーザーデータ、オペレーティングシステム、システム設定には影響しません。このプロセスが完了するまでに数分かかります。

Important

変更内容が失われないように、を再起動する前に、開いている文書やその他のアプリケーションファイルをすべて保存してください。WorkSpace

を再起動するには WorkSpace

1. WorkSpaces クライアントを開いて、に接続します WorkSpace。
2. [WorkSpaces再起動] を選択します WorkSpace。
3. の再起動を求めるメッセージが表示されたら WorkSpace、[再起動] を選択します。
4. との接続を切断しても WorkSpace、クライアントアプリケーションのログイン画面は開いたままになります。にログインし直すか WorkSpace、画面を閉じることができます。

WorkSpace ディスクのサイズを大きくしてください。

WorkSpace ディスクサイズを大きくしてストレージ容量を増やすことができます。C: ドライブ (Linux の場合は /) のサイズは、管理者に連絡することなく、最大 175 GB まで増やすことができます。同様に、D: ドライブ (Linux の場合は /home) のサイズは、最大 100 GB まで増やすことができます。これらの制限を超えてドライブを増やす必要がある場合は、管理者にドライブのサイズを増やしてもらう必要があります。

管理者が最近ディスクサイズを作成した場合は WorkSpace、6 WorkSpace 時間待ってからディスクサイズを増やす必要があります。その後、6 時間に 1 回の割合でディスクサイズを増やすことができます。

C: ドライブと D: ドライブのサイズを同時に増やすことはできません (Linux の / ボリュームと /home ボリュームについても同様です)。C: ドライブ (Linux では /) を増やすには、まず D: ドライブ (Linux では /home) を 100 GB に増やす必要があります。D: ドライブ (Linux では /home) を増やした後で、C: ドライブ (Linux では /) を増やすことができます。

WorkSpace ディスクサイズを増やしている間は、でほとんどのタスクを実行できます WorkSpace。ただし、WorkSpace コンピューティングタイプの変更、WorkSpace 実行モードの切り替え、の再構築、の再起動はできません。WorkSpace WorkSpace ディスクサイズの増加プロセスには、最大で 1 時間かかる場合があります。

Important

- サイズ変更できるのは SSD ボリュームのみです。
- WorkSpace ディスクサイズを増やすと、組織が支払う金額も増えます。WorkSpace

WorkSpace ディスクサイズを増やすには

1. WorkSpaces クライアントを開いて、に接続します WorkSpace。
2. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[設定]、[ディスクサイズを増加] の順に選択します。
1.0 以降または 2.0 以降のクライアント	[マイ WorkSpace、ディスクサイズを増やす] を選択します。

3. [ディスクサイズを増加] ダイアログボックスに、C: ドライブと D: ドライブ (Linux では / および /home) の現在のディスクサイズが表示されます。ディスクサイズの増加を続行すると、ストレージの増加量も表示されます。
4. ディスクサイズの増加を続行するには、[増加] を選択します。

5. ディスクサイズの増加プロセスに関する情報が表示されます。情報を確認して [閉じる] を選択します。
6. ディスクサイズの増加が完了したら、[WorkSpaceを再起動して変更を有効にする必要があります](#)。を再起動する前に、開いているファイルをすべて保存してください。WorkSpace

WorkSpace コンピュートタイプを変更してください。

WorkSpace コンピューティングタイプを変更して、自分に合った別のバンドルを選択できます WorkSpace。WorkSpace 管理者が最近作成したコンピューティングタイプは WorkSpace、6 時間待ってからでないと変更できません。その後、6 時間に 1 回の割合でより大きいコンピューティングタイプに切り替えるか、30 日間に 1 回の割合でより小さいコンピューティングタイプに切り替えることができます。

WorkSpace コンピュートタイプの変更中は、との接続が切断されます。WorkSpaceこの間は、を使用したり、変更したりすることはできません。WorkSpaceこのプロセスには最長で 1 時間程度かかることがあります。

Important

- 変更内容が失われないように、WorkSpace コンピューティングタイプを変更する前に、開いているドキュメントやその他のアプリケーションファイルをすべて保存してください。
- WorkSpace コンピューティングタイプを変更すると、WorkSpace組織が支払う金額も変わります。

WorkSpace コンピューティングタイプを変更するには

1. WorkSpaces クライアントを開いて、に接続します WorkSpace。
2. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[設定]、[コンピューティングタイプを変更]の順に選択します。

使用しているクライアント	操作
1.0 以降または 2.0 以降のクライアント	[My] を選択し WorkSpace、[コンピューティングタイプを変更] を選択します。

- [コンピューティングタイプの変更] ダイアログボックスには、現在のコンピューティングタイプが表示されます WorkSpace。リストから別のコンピューティングタイプを選択し、[更新] を選択します。
- コンピューティングタイプの変更プロセスに関する情報が表示されます。情報を確認して [更新] を選択します。

WorkSpace 実行モードを切り替えます。

常に実行するか WorkSpace、一定時間使用しないと停止するかを指定できます。WorkSpaces には次の 2 つの実行モードがあり、その中から選択できます。

- AlwaysOn— WorkSpace 常に稼働し続けます。
- AutoStop— WorkSpace ログインすると開始し、一定時間使用しないと停止します。WorkSpace 停止後、アプリとデータの状態は保存されます。

Note

WorkSpace ランニングモードを切り替えると、組織があなたに支払う金額が変わります。
WorkSpace

3.0 WorkSpace 以上のクライアントのランニングモードを切り替えるには

- WorkSpaces クライアントを開いて、に接続します。WorkSpace
- [設定]、[実行モードを切り替え] の順に選択します。
- [実行モードを切り替え] ダイアログボックスで、別の実行モードを選択し、[切り替え] を選択します。
- 選択を確認するメッセージが表示されます。メッセージボックスを閉じます。

1.0 以上のクライアントと 2.0 WorkSpace 以上のクライアントの実行モードを切り替えるには

1. WorkSpaces クライアントを開いて、に接続します。 WorkSpace
2. [My] を選択し WorkSpace、実行モードを切り替えます。
3. [実行モードを切り替え] ダイアログボックスで、別の実行モードを選択し、[切り替え] を選択します。
4. 選択を確認するメッセージが表示されます。[Close] を選択します。

再構築してください。 WorkSpace

WorkSpace で実行中のオペレーティングシステムを元の状態に戻すには、を再構築できます。

WorkSpace

WorkSpace で発生している問題を解決するためにを再構築したい場合は WorkSpace、まず再起動してみてください。を再構築すると WorkSpace、 WorkSpace をインストールしたアプリケーションや作成後に設定したシステム設定はすべて失われます。

が再構築されると、D: ドライブは最新のバックアップから再作成されます。 WorkSpace バックアップは 12 時間ごとに実行されるため、データは最長で 12 時間前のものである可能性があります。管理者が最近を作成した場合は WorkSpace、を再構築できるようになるまで 12 時間待つ必要があります。 WorkSpace

Important

データが失われないように、を再構築する前に、開いているドキュメントやその他のアプリケーションファイルをすべて保存し WorkSpace、 WorkSpaces 管理者に連絡して D: ドライブがバックアップされていることを確認してください。

WorkSpace 再構築中は、との接続が切断されます。 WorkSpaceこの間は、を使用したり、変更したりすることはできません。 WorkSpace再構築プロセスには最大で 1 時間かかることがあります。

を再構築するには WorkSpace

1. WorkSpaces クライアントを開いて、に接続します。 WorkSpace
2. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[設定]、[再構築 WorkSpace] を選択します。
1.0 以降または 2.0 以降のクライアント	「マイ WorkSpace、WorkSpaceリビルド」を選択します。

3. 「再構築 WorkSpace」ダイアログ・ボックスで、情報を確認します。再構築を続行する場合は、[再構築] を選択します。

WorkSpaces クライアント周辺機器のサポート

Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションは、周辺機器に対して次のサポートを提供します。特定のデバイスの使用に問題がある場合は、WorkSpaces 管理者に <https://console.aws.amazon.com/support/home#/> にレポートを送信してもらいます。

デバイスのサポート WorkSpace は、使用しているストリーミングプロトコル、PCoIP または WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) によって異なる場合があります。macOS および Windows クライアントアプリケーションの 3.0 以降のバージョンでは、サポート、について WorkSpace を選択すると、WorkSpace が使用しているプロトコルを確認できます。iPad、Android、および Linux クライアントアプリケーションは、現在 PCoIP プロトコルのみをサポートしています。

コンテンツ

- [監視](#)
- [キーボードとマウス](#)
- [オーディオヘッドセット](#)
- [プリンター](#)
- [スキャナ、USB ドライブ、およびその他のストレージデバイス](#)
- [ウェブカメラおよびその他のビデオデバイス](#)
- [スマートカード](#)
- [ハードウェアセキュリティキー](#)
- [WebAuthn 認証子](#)

監視

Linux、macOS、および Windows 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、複数のモニターと高 DPI ディスプレイの使用を WSP と PCoIP WorkSpaces の両方でサポートしています。マルチモニターのセットアップ方法など、これらの WorkSpaces クライアントアプリケーションでのディスプレイサポートの詳細については、「[Linux クライアントのディスプレイサポート](#)」、「[macOS クライアントのディスプレイサポート](#)」、または「[Windows クライアントのディスプレイサポート](#)」を参照してください。

WorkSpaces Android クライアントアプリケーションは単一のモニターをサポートし、PCoIP WorkSpaces で高 DPI ディスプレイを使用します。WorkSpaces Android クライアントアプリケー

ションでのディスプレイサポートの詳細については、[「Android クライアントのディスプレイサポート」](#)を参照してください。

高 DPI ディスプレイのサポートの詳細については、[WorkSpaces の高 DPI ディスプレイのサポート](#)を参照してください。

キーボードとマウス

Windows、macOS、Linux 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、USB Bluetooth キーボードとマウスをサポートしています。macOS

Android および iPad 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションはタッチ入力をサポートし、両方のクライアントは画面上のキーボードを提供し、デバイスにアタッチされたキーボードをサポートします。Android クライアントはマウスをサポートし、[iPadOS 13.4 以降を搭載した iPad は Bluetooth マウスをサポートしています](#)。iPad クライアントは、特定の SwiftPoint マウスモデルもサポートしています。詳細については、「[Swiftpoint GT ProPoint、または PadPoint マウス](#)」を参照してください。

3D マウスは WorkSpaces クライアントアプリケーションでサポートされていません。

英語以外の言語またはキーボードを使用するには、[Amazon WorkSpaces の言語とキーボードのサポート](#)を参照してください。

オーディオヘッドセット

アナログおよび USB オーディオヘッドセットは、Android、iPad、macOS、Linux、および Windows クライアントアプリケーション、ならびに PCoIP ゼロクライアントでサポートされています。音声通話にはヘッドセットを使用することをお勧めします。デバイスの内蔵マイクおよびスピーカーを使用すると、会話中にエコーが発生することがあります。ヘッドセットの使用に困難が生じる場合は、[ヘッドセットがで機能しない Workspace](#)を参照してください。

プリンター

Windows および macOS クライアントアプリケーションは、USB プリンターおよびローカル印刷をサポートしています。他のクライアントアプリケーションは、他の印刷方法をサポートしています。各種クライアントのプリンターサポートの詳細については、[Workspace から印刷する](#)を参照してください。

PCoIP ゼロクライアントデバイスを使用してに接続 WorkSpace していて、USB プリンターやその他の USB 周辺機器を使用できない場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。詳細については、「[Amazon 管理ガイド](#)」の「[USB プリンターとその他の USB 周辺機器が PCoIP ゼロクライアントで動作しない](#)」を参照してください。 WorkSpaces

スキャナ、USB ドライブ、およびその他のストレージデバイス

WorkSpaces クライアントは、USB フラッシュドライブや外部ハードドライブなど、スキャナーやローカルに接続された周辺機器ストレージデバイスをサポートしていません。

WorkSpace とローカルクライアントデバイス間でファイルを転送、バックアップ、または同期する必要がある場合は、[Amazon WorkDocs](#) (管理者が有効にしている場合) の使用を検討してください WorkSpaces。また、自分自身に対して E メールでファイルを送信できる場合もあります。他のソリューションが利用できるかどうかを確認するには、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。


ウェブカメラおよびその他のビデオデバイス


WorkSpace が PCoIP プロトコルを使用している場合、WorkSpaces クライアントはウェブカメラやその他のビデオデバイスをサポートしていません。

WorkSpace で WorkSpaces Streaming Protocol (WSP) を使用している場合、Windows および macOS 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.5 以降では、ウェブカメラがサポートされます。Windows クライアントは、Windows 10 バージョン 1607 以降を使用しているマシンで実行する必要があります。

ウェブカメラを使用するには

1. WSP にログインします WorkSpace。
2. 使用しているクライアントに応じて、次のいずれかの操作を行います。

使用しているクライアント	操作
Windows クライアント	WSP でウェブカメラを使用するには WorkSpace、右上隅  にあるデバイスアイコンを選択し、リモート

使用しているクライアント	操作
	<p>でこのデバイスを使用する WorkSpace を選択します。[保存] を選択します。</p> <p>WSP ではなくローカルコンピュータのウェブカメラを使用するには WorkSpace、右上隅  にあるデバイスアイコンを選択し、ローカルで使用するを選択します。[保存] を選択します。</p>
macOS クライアント	<p>WSP でウェブカメラを使用するには WorkSpace、接続、デバイス を選択し、リモート でこのデバイスを使用する WorkSpace を選択します。[保存] を選択します。</p> <p>WSP ではなくローカルコンピュータのウェブカメラを使用するには WorkSpace、接続、デバイス を選択し、ローカルマシンで使用する を選択します。[保存] を選択します。</p>

スマートカード

WorkSpace が PCoIP プロトコルを使用している場合、WorkSpaces クライアントはスマートカードをサポートしていません。

Windows または Linux WorkSpace が WSP プロトコルを使用している場合、Windows 用 WorkSpaces クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.1 以降と macOS 用 WorkSpaces クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.5 以降では、スマートカードがサポートされます。

でスマートカードを使用する方法の詳細については WorkSpace、「」を参照してください [WorkSpaces クライアントでのスマートカードのサポート](#)。

ハードウェアセキュリティキー

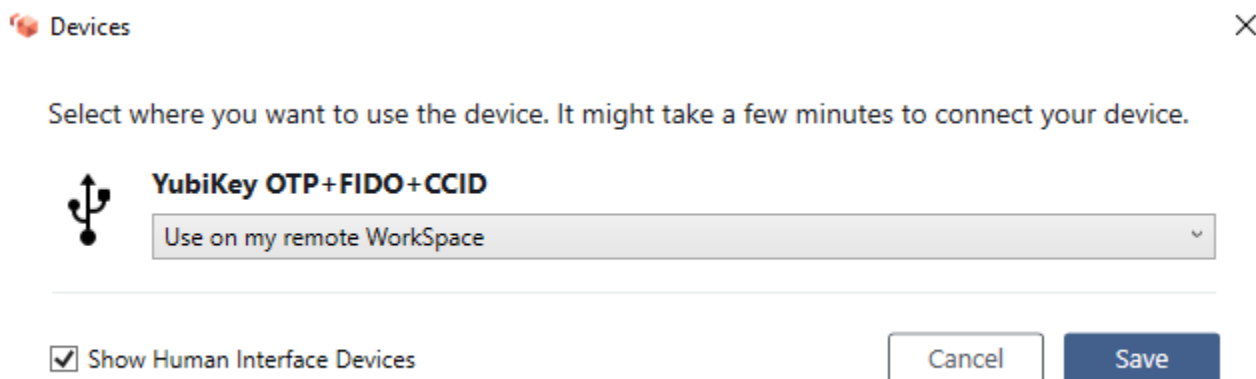
PCoIP Windows は、Windows WorkSpaces クライアントアプリでの YubiKey U2F 認証の USB リダイレクト WorkSpaces をサポートしています。詳細については、「[WorkSpaces USB リダイレクトの設定](#)」を参照してください。

U2F 認証 WorkSpace 用の YubiKey にリダイレクトするには

- PCoIP WorkSpace YubiKey で を使用するには、右上



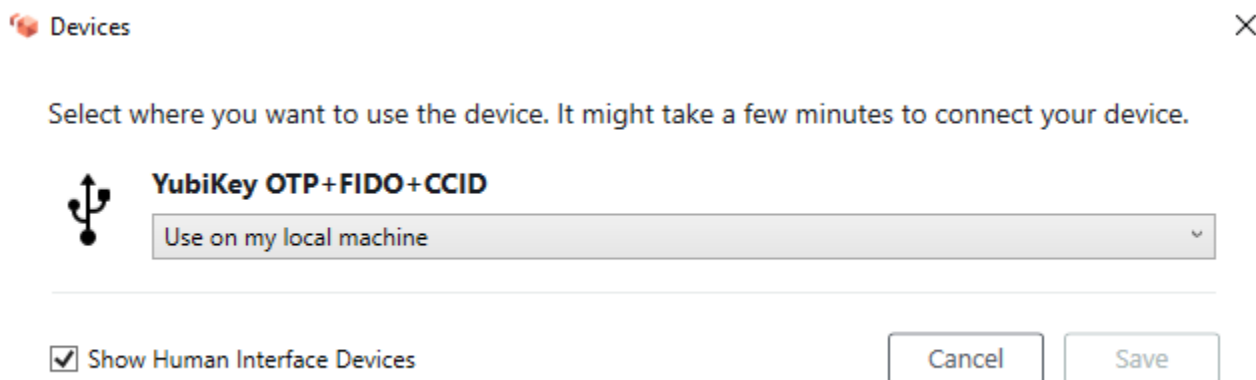
あるデバイスアイコンを選択し、リモート でこのデバイスを使用する WorkSpaceを選択します。[保存] を選択します。



- ではなく YubiKey ローカルコンピュータで を使用するには WorkSpace、右上



ある を選択し、ローカルマシンで を使用する を選択します。[Save] を選択します。



WebAuthn 認証子

WorkSpace が PCoIP プロトコルを使用している場合、WebAuthn リダイレクトはサポートされません。ただし、ハードウェア認証には USB リダイレクトを使用できます。「WSP プロトコル WorkSpaces の使用には [ハードウェアセキュリティキー](#) WebAuthn リダイレクトがサポートされています」を参照してください。でスマートカードを使用する方法の詳細については WorkSpace、「」を参照してください [WorkSpaces クライアント WebAuthn サポート](#)。

WorkSpaces の高 DPI ディスプレイのサポート

Amazon WorkSpaces Android バージョン 2.4.21 以降のクライアントアプリケーションと、Windows、macOS、Linux 用のバージョン 3.0 以降のクライアントアプリケーションでは、高ピクセル密度 (高 DPI) ディスプレイがサポートされています。画面の解像度は、画面が水平および垂直に表示できる 1 インチあたりのピクセル数 (PPI) またはドット数 (DPI) によって定義されます。一般的な画面の解像度 (一部) は次のとおりです。

- 1280x720 – 高精細 (HD)、通称 720p
- 1920x1080 – FHD (フル HD)、通称 1080p
- 2560x1440 – QHD/WQHD (クワッド HD)、通称 1440p
- 3840x2160 – UHD (ウルトラ HD)、通称 4K 2160p
- 7680x4320 – FUHD (フルウルトラ HD)、通称 8K 4320p

これらすべての解像度には「高精細 (HD)」というラベルが付けられていますが、これらの解像度のいずれかを持つモニターが高 DPI ディスプレイであることを意味するものではありません。

高 DPI (通称 HiDPI) ディスプレイは、イメージを構成する仮想ピクセルよりも 2 倍の物理ピクセルを使用してイメージを表現するディスプレイです。例えば、イメージの横の仮想ピクセル数が 128 で、縦の仮想ピクセル数が 128 である場合、高 DPI ディスプレイでは、このイメージをレンダリングする際に両方向に 256 の物理ピクセル数を使用し、イメージを 2 倍鮮明にします。

高 DPI ディスプレイでの WorkSpaces の最大解像度を高めるには、Android、Windows、macOS、Linux 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションで高 DPI モードを有効にすることができます。

高 DPI モードを有効にすると、WorkSpace のパフォーマンスに影響する場合があります。ネットワークの帯域幅に対応するために、ストリーミングプロトコルは、受信するピクセル数を必要に応じてアップグレードまたはダウングレードしてパフォーマンスを維持します。ただし、高レイテンシー、高パケット損失、低帯域幅環境では、WorkSpace のパフォーマンスが許容できる範囲を超えて高 DPI モードの影響を受ける場合があります。WorkSpace のパフォーマンスに影響がある場合は、高 DPI モードをオフにすることをお勧めします。

Windows WorkSpaces の場合、高 DPI モードではマルチモニターがサポートされます。ただし、Android クライアントでは 1 つのモニターのみサポートされます。

Note

Graphics バンドルがサポートするのは、モニター 1 台のみの構成で、最大解像度は 2560x1600 です。

Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションにおいて高 DPI モードでサポートされる最大ディスプレイサイズは 3840x2160 です。WorkSpaces クライアントアプリケーションでのディスプレイサポートの詳細については、[Android クライアントのディスプレイサポート](#)、[Linux クライアントのディスプレイサポート](#)、[macOS クライアントのディスプレイサポート](#)、[Windows クライアントのディスプレイサポート](#)のいずれかを参照してください。

Android で高 DPI モードを有効にするには

1. Amazon WorkSpaces バージョン 2.4.21 以降クライアントアプリケーションを開き、Workspace にログインします。
2. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、画面の左側からスワイプしてサイドバーメニューを開き、[Settings] (設定) を選択します。
3. [Settings] (設定) ダイアログボックスで [High DPI Mode] (高 DPI モード) を選択し、[OK] を選択します。

デバイスの高 DPI 解像度に合わせて Workspace の画面解像度が変わります。

Windows、macOS、または Linux で高 DPI モードを有効にするには

1. Amazon WorkSpaces 3.0+ クライアントアプリケーションを開き、Workspace にログインします。
2. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、[設定]、[表示設定] の順に選択します。
3. [表示設定] ダイアログボックスで、[高 DPI モード] を選択し、[保存] をクリックします。

モニターの高 DPI 解像度に合わせて Workspace の画面解像度が変わります。

Note

Mac を使用していて、WorkSpaces の画面解像度が低く、オブジェクトがぼやけて見える場合は、次の操作を行います。

1. [システム環境設定] を開きます。
2. [ディスプレイ] を選択します。
3. ディスプレイの種類に応じて、次のいずれかの操作を行って、表示スケールを調整します。

使用しているクライアント	操作
内蔵ディスプレイ	[ディスプレイ] タブで、[解像度] の [変更] を選択し、[デフォルト] を選択します。
外部ディスプレイ	[ディスプレイ] タブで、[ディスプレイのデフォルト] を選択します。

WorkSpace 内のイメージやテキストが小さく表示される場合は、Windows WorkSpace または Linux WorkSpace の表示スケールの設定も調整する必要があります。

Important

- WorkSpace へのアクセスに使用しているローカルの Windows、Linux、Mac マシンの表示スケールの設定ではなく、WorkSpace 自体内の表示スケールの設定を必ず調整してください。
- ラップトップをドッキングまたはドッキング解除したり、別のクライアントデバイスに切り替えたりする場合は、必要に応じて、新しいモニターに合わせて WorkSpace の表示スケールの設定を再調整します。

Windows WorkSpace で表示スケールの設定を調整するには

1. Windows WorkSpace で、Windows の [スタート] メニューから [設定] を選択します。
2. [Windows の設定] ダイアログボックスで、[システム] を選択します。
3. [ディスプレイ] を選択します。

Note

「リモートセッションから画面設定を変更できません」というメッセージが表示される場合は、WorkSpaces Streaming Protocol (WSP) WorkSpace を使用していることを意味します。現時点では、WSP WorkSpace の画面のスケーリング設定を調整することはできません。

4. [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] で、希望する表示スケールを設定します。
5. 「一部のアプリは、サインアウトするまで表示スケールの変更に応答しません」というメッセージが表示されます。サインアウトするには、そのメッセージの下にある [今すぐサインアウト] を選択します。サインアウトすると WorkSpace セッションが切断されるため、サインアウトする前に作業内容を保存してください。
6. WorkSpace セッションを再開するには、WorkSpaces クライアントのログインページで [再接続] を選択するか、再度ログインします。
7. マルチモニターを使用している場合は、この手順を繰り返して、モニターごとに表示スケールの設定を行います。

Linux WorkSpace で表示スケールの設定を調整するには

Note

- 次の手順は、Amazon Linux WorkSpaces でデフォルトの MATE 環境を使用していることを前提としています。
- Linux WorkSpaces の場合、現時点ではマルチモニターで高 DPI モードを使用できません。

1. Linux WorkSpace で、[システム] > [設定] > [外観] の順に移動します。
2. [外観の設定] ダイアログボックスで、[フォント] タブを選択します。
3. 右下の [詳細] を選択します。
4. [レンダリング形式の詳細] ダイアログボックスの [解像度] に、[解像度 (ドット/インチ)] 設定が表示されます。この設定を手動で調整するには、[自動検出] をオフにします。
5. [解像度 (ドット/インチ)] 設定を使用して、フォントサイズを調整します。

6. ダイアログを閉じます。

WorkSpaces クライアントでのスマートカードのサポート

Windows および macOS クライアントで WorkSpaces Streaming Protocol (WSP) を使用している Windows および Amazon Linux 2 WorkSpaces は、スマートカードをサポートしています。PCoIP プロトコルを使用している WorkSpaces は、スマートカードをサポートしていません。Ubuntu WorkSpaces は、プロトコルを問わず、現在スマートカードをサポートしていません。

スマートカードは、セッション前認証とセッション内認証の両方で利用可能です。認証とは、ID を確認し、特定のリソースへのアクセス権があることを確認するプロセスです。セッション前認証とは、WorkSpace にログインしている間に実行されるスマートカード認証をいいます。セッション内認証とは、ログイン後、WorkSpace セッション中に実行される認証をいいます。

例えば、ウェブブラウザやアプリケーションを操作しながら、セッション内認証にスマートカードを使用できます。また、管理アクセス許可が必要なアクションを実行するためにスマートカードを使用することもできます。例えば、Linux WorkSpace に対する管理アクセス許可を持っている場合、`sudo` および `sudo -i` コマンドの実行時にスマートカードを使用して自身を認証できます。

Note

- [CAC \(Common Access Card\)](#) および [PIV \(Personal Identity Verification\)](#) のスマートカードの両方がサポートされています。他のタイプのハードウェアまたはソフトウェアベースのスマートカードも機能する可能性があります。WSP プロトコルでの使用は完全にはテストされていません。
- 現在、Linux または Windows WorkSpaces でのセッション内認証およびセッション前認証では、一度に 1 つのスマートカードのみが許可されています。
- セッション内認証は、WSP がサポートされているすべてのリージョンで利用可能です。セッション前認証は、以下のリージョンで使用できます。
 - アジアパシフィック (シドニー) リージョン
 - アジアパシフィック (東京) リージョン
 - 欧州 (アイルランド) リージョン
 - AWS GovCloud (米国東部) リージョン
 - AWS GovCloud (米国西部) リージョン
 - 米国東部 (バージニア北部) リージョン
 - 米国西部 (オレゴン) リージョン

- 現在、WorkSpaces の Windows クライアントアプリケーションバージョン 3.1.1 以降と macOS クライアントアプリケーションバージョン 3.1.5 以降のみが、スマートカード認証をサポートしています。
- WorkSpaces Windows クライアントアプリケーション 3.1.1 以降では、クライアントが 64 ビットバージョンの Windows で実行されている場合にのみ、スマートカードがサポートされます。

スマートカードを使用して WorkSpace にログインする

スマートカードを使用して WorkSpace にログインするには

1. WorkSpaces 管理者から提供された登録コードを入力し、[Register] (登録) を選択します。新しい登録コードを入力できるように、ログインページの下部にある [Change Registration Code] (登録コードを変更) を選択する必要がある場合があります。

登録コードを入力すると、ログインページに [Insert your smart card] (スマートカードを挿入) が表示されます。このテキストが表示されない場合は、正しい登録コードを入力したことを確認してください。正しい登録コードを入力してもこのテキストが表示されない場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

2. スマートカードリーダーをローカルコンピューターに接続し、スマートカードリーダーにスマートカードを挿入します (まだこれらの作業を行っていない場合)。
3. ログインページで、[Insert your smart card] (スマートカードを挿入) を選択します。
4. [Certificates] (証明書) ダイアログボックスが表示されます。証明書を選択し、[OK] を選択します。
5. [Smart Card] (スマートカード) ダイアログボックスが表示されます。暗証番号を入力し、[OK] を選択します。
6. Windows デスクトップのログインページで、[サインインオプション] を選択し、スマートカードアイコンを選択します。複数のスマートカードがある場合、使用するスマートカードを選択します。PIN をもう一度入力し、[送信] を選択します。Linux のログインページで PIN を入力し、[サインイン] を選択します。

WorkSpace にログインしている必要があります。サインインできない場合は、WorkSpaces クライアントアプリケーションを閉じてから再度開き、もう一度お試しください。再試行してもサインインできない場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

WorkSpace にログインした後、ローカルデバイスと WorkSpace でスマートカードを引き続き使用できます。

Chrome または Firefox の Windows WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中)

Chrome または Firefox の Windows WorkSpace 内でスマートカードを使用して、他のアプリケーションを認証できます。

Chrome では、スマートカードを使用するために特別な設定は必要ありません。

WorkSpaces 管理者は、Firefox でのスマートカードの使用を既に有効にしている可能性があります。Firefox でスマートカードを使いたいのに関数しない場合は、WorkSpaces 管理者に問い合わせてください。

Chrome または Firefox の Linux WorkSpaces でスマートカードを使用する (セッション中)

Chrome または Firefox の Linux WorkSpace 内でスマートカードを使用して、他のアプリケーションを認証できます。

Chrome ブラウザでスマートカードを使用するには

1. WorkSpaces (Windows 用) クライアントアプリケーションを使用して Linux WorkSpace にログインします。
2. 端末を開きます ([Applications] (アプリケーション) > [System Tools] (システムツール) > [MATE Terminal] (MATE 端末))。
3. 次のコマンドを実行します。

```
cd; modutil -dbdir sql:.pki/nssdb/ -add "OpenSC" -libfile /lib64/opensc-pkcs11.so
```

4. Chrome が既に実行されている場合は、Chrome を閉じてから Enter キーを押します。コマンドの実行が完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
Module "OpenSC" added to database.
```

Firefox ブラウザでスマートカードを使用するには

WorkSpaces 管理者は、Firefox でスマートカードを使用するための機能を既に有効にしている可能性があります。スマートカードが Firefox で動作しない場合は、以下の手順に従って有効にします。

1. Firefox を開きます。右上のメニューボタン



を選択し、[Preferences] (設定) を選択します。

2. [about:preferences] ページの左側のナビゲーションペインで、[Privacy & Security] (プライバシーとセキュリティ) を選択します。
3. [Certificates] (証明書) で、[Security Devices] (セキュリティデバイス) を選択します。
4. [Device Manager] (デバイスマネージャー) ダイアログボックスで、[Load] (ロード) を選択します。
5. [Load PKCS#11 Device Driver] (PKCS#11 デバイスドライバーをロード) ダイアログボックスで、次のように入力します。

モジュール名: **OpenSC**

モジュールファイル名: **/lib64/opensc-pkcs11.so**

6. [OK] をクリックします。

WorkSpaces クライアント WebAuthn サポート

セッション内 WebAuthn 認証は、Windows、Linux WorkSpaces、macOS クライアントで Windows 用 WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) を使用してサポートされます。PCoIP プロトコル WorkSpaces を使用する は WebAuthn リダイレクトをサポートしていません。

セッション内 WebAuthn 認証には 認証を使用できます。セッション内認証とは、WebAuthn ログイン後に実行され、セッション内で実行されているウェブアプリケーションによってリクエストされる認証を指します。例えば、Google Chrome の使用中にセッション内認証に Yubikey を使用できません。

WorkSpaces 管理者は を有効または無効にできます WebAuthn。管理者が有効にすると、必要なブラウザ拡張機能がインストールされていることがブラウザから通知されます。

ブラウザ拡張機能を手動でインストールするには (オプション)

1. にサインインします WorkSpace。
2. ブラウザで、使用しているブラウザに応じて、次のいずれかのリンクを開きます。
 - Microsoft Edge の場合: <https://microsoftedge.microsoft.com/addons/detail/dcv-webauthn-redirection-/ihejeaahjpbegmaaegiikmlphghlfmeh>
 - Google Chrome の場合: <https://chromewebstore.google.com/detail/dcv-webauthn-redirection/mmiioagbgnbojdbcjoddlefhmcoocfpmn?pli=1>
3. Get (Microsoft Edge の場合) または Add to Chrome (Google Chrome の場合) を選択して拡張機能をインストールし、追加のプロンプトで Add extension を選択します。インストールが完了すると、拡張機能が正常に追加されたことを示す確認メッセージが表示されます。

Amazon Connect オーディオ最適化のサポート

WorkSpace で Amazon Connect オーディオ最適化を使用するには:

- WorkSpaces Windows クライアントバージョン 4.0.6 以降がインストールされている必要があります。
- Amazon Connect でサポートされている WorkSpaces クライアントエンドポイントに、ウェブブラウザがインストールされている必要があります。サポートされているブラウザの一覧については、「[Amazon Connect でサポートされるブラウザ](#)」を参照してください。

Note

サポートされているウェブブラウザがない場合は、サポートされているブラウザをインストールするように求められます。

- 既存の Amazon Connect アカウントが必要です。

WorkSpace と Amazon Connect の問い合わせコントロールパネル (CCP) にログインします

WorkSpace と Amazon Connect の問い合わせコントロールパネル (CCP) にログインします

管理者は、Amazon Connect 問い合わせコントロールパネル (CCP) オーディオ最適化を有効にした後、WorkSpace と CCP パネルにログインします。

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションを開き、WorkSpace にログインします。
2. ウェブブラウザがローカルで開き、CCP ログインページが表示されます。
3. ローカルブラウザウィンドウで CCP にログインします。ログインすると、CCP オーディオ最適化が有効になります。
4. WorkSpaces ウィンドウに戻しますが、ローカルブラウザウィンドウはバックグラウンドで実行したままにします。

Warning

- CCP へのログインに使用したローカルブラウザウィンドウを閉じると、CCP オーディオが失われます (ただし WorkSpaces クライアントは引き続き実行されます)。

- WorkSpaces ウィンドウを閉じると、ローカルブラウザウィンドウも閉じ、CCP オーディオが停止します。

ローカルブラウザの CCP ウィンドウを誤って閉じたり、それがクラッシュした場合には、再起動可能です。メニューバーに移動し、[Add-in] (アドイン) をクリックし、管理者が指定した CCP 名を選択します。

Amazon Connect の使用の詳細については、「[エージェントトレーニングガイド](#)」を参照してください。

Amazon WorkSpaces の言語とキーボードのサポート

クライアントデバイスと WorkSpace で同じ言語およびキーボード設定を使用するには、WorkSpace が使用しているプロトコル (PCoIP または WorkSpaces Streaming Protocol (WSP)) に応じて、次のいずれかの方法を使用します。

Note

次の手順では、Windows からサインアウトするか、WorkSpace への接続を切断する必要がある場合があります。続行する前に、必ず作業内容を保存してください。

PCoIP プロトコルを使用する WorkSpaces

言語固有のキーボードを使用している場合は、キーボードと WorkSpace の言語設定を一致させるために、次のいずれかの方法を使用します。

- 方法 1 — デバイスのキーボードと言語の設定を変更して、WorkSpace の言語と一致させます。
- 方法 2 — 複数の言語をサポートする AWS リージョンにいる場合は、WorkSpaces 管理者に依頼し、希望する言語で WorkSpace を作成してもらいます。Windows WorkSpaces は、現在、すべてのリージョンにおいて英語 (米国) で利用可能です。

一部のリージョンでは、他の言語が利用可能です。カナダ (中部) リージョンでは Windows WorkSpaces をフランス語 (カナダ)、アジアパシフィック (ソウル) リージョンでは韓国語、アジアパシフィック (東京) リージョンでは日本語、中国 (寧夏) リージョンでは中国語 (簡体字) も利用できます。

どのリージョンで WorkSpace を使用しているかを確認するには、WorkSpaces クライアントアプリケーションにログインし、[サポート]、[WorkSpace について] の順に選択します。

- 方法 3 — WorkSpace に適切な言語またはキーボード設定をインストールします。Windows WorkSpace の場合は、次の手順に従います。
 1. WorkSpace にログインします。
 2. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
 3. [言語と時刻] を選択し、[言語] を選択します。
 4. [優先する言語] で、[優先する言語を追加する] を選択します。

5. [インストールする言語の選択] ダイアログボックスで、追加する言語を選択し、[次へ] を選択します。
6. [Install language features] (インストールする言語を選択してください) ダイアログボックスで、目的の言語機能を選択し、[Install] (インストール) を選択します。例えば、言語固有のキーボードのサポートのみを追加する場合は、[基本の入力] を選択して、その言語のキーボードサポートをインストールします。
7. (オプション) 新しい表示言語を選択した場合は、Windows からサインアウトした後に再度サインインし、変更が有効になるかどうかを確認します。
8. 表示言語を変更しなかった場合は、インストールした言語の新しいキーボードレイアウトを選択します。これを行うには、Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。入力に使用する言語キーボードを選択します。

WorkSpaces Streaming Protocol (WSP) を使用する WorkSpaces

次の言語では、QWERTY キーボードにない文字を入力するために、Input Method Editor (IME) を使用する必要があります。

- アムハラ語 (エチオピア)
- 中国語 (中国)
- 繁体字中国語
- 中国語 (繁体字大易輸入法)
- 中国語 (五筆字型入力方法)
- 中国語 (彝文字)
- 日本語 (日本)
- 日本語 (106/109 キーボードレイアウト)
- 韓国語 (ハングル)
- 韓国語 (古ハングル)
- ティグリニア語 (エチオピア)

WorkSpaces Streaming Protocol (WSP) の使用中に特定のキーボード言語レイアウトを使用する場合は、IME 言語と非 IME 言語のどちらを使用しているかに基づいて、次のいずれかの手順に従います。

Note

日本語 106/109 キーボードレイアウトを使用する場合は、日本語 106/109 レイアウトに固有の手順に従ってください。

IME 以外の言語を使用するには

IME 以外の言語 (フランス語など) を使用している場合は、次の手順に従います。

1. 希望する言語固有のキーボードにローカルクライアントデバイスを設定します。
 - a. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
 - b. [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
 - c. [Language] (言語) を選択します。
 - d. [Preferred languages] (優先する言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
 - e. [Choose a language to install] (インストールする言語を選択してください) ページで、希望する言語を選択します。
 - f. [次へ] を選択します。
 - g. [Install] を選択します。
 - h. 必要に応じて、言語を選択し、[Options] (オプション) を選択して、言語固有のキーボードレイアウトを設定します。
 - i. (オプション) 新しい表示言語を選択した場合は、Windows からサインアウトして、新しい表示言語を有効にします。
2. インストールした言語の新しいキーボードレイアウトを選択します。これを行うには、Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。入力に使用する言語キーボードを選択します。

WorkSpaces デスクトップクライアントアプリケーションの表示言語を変更するには、「[クライアント言語 \(Linux\)](#)」、「[クライアント言語 \(macOS\)](#)」、または「[クライアント言語 \(Windows\)](#)」をご参照ください。

日本語 106/109 以外の IME 言語を使用するには

日本語 106/109 キーボードレイアウト以外の IME 言語 (韓国語など) を使用している場合は、次の手順に従います。

1. ローカルクライアントデバイスのキーボードレイアウトを、希望する IME 言語に設定します。
 - a. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
 - b. [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
 - c. [Language] (言語) を選択します。
 - d. [Preferred languages] (優先する言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
 - e. [Choose a language to install] (インストールする言語を選択してください) ページで、希望する言語を選択します。
 - f. [次へ] を選択します。
 - g. [Install] を選択します。
 - h. 必要に応じて、言語を選択し、[Options] (オプション) を選択して、言語固有のキーボードレイアウトを設定します。
 - i. (オプション) 新しい表示言語を選択した場合は、Windows からサインアウトして、新しい表示言語を有効にします。
2. インストールした言語の新しいキーボードレイアウトを選択します。これを行うには、Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。入力に使用する言語キーボードを選択します。
3. WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、WSP WorkSpace にログインします。
4. WorkSpace 内で、入力言語を希望する IME 言語に設定します。
 - a. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
 - b. [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
 - c. [Region & language] (地域と言語) を選択します。
 - d. [Languages] (言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
 - e. [Add a language] (言語の追加) ページで、希望する IME 言語を選択します。
 - f. (オプション) 必要に応じて、[Language] (言語) ページで言語を選択し、[Options] (オプション) を選択して、言語固有のキーボードレイアウトを設定します。
 - g. (オプション) 新しい表示言語を選択した場合は、Windows からサインアウトして、新しい表示言語を有効にします。サインアウトすると、WorkSpace への接続も切断されます。
5. WorkSpace への接続を切断します (前の手順でまだ接続を切断していない場合)。
6. WorkSpace に再接続します。
7. WorkSpace の Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。インストールした IME 言語を選択します。

これで、WSP WorkSpace で IME 言語を使用できるようになりました。

WorkSpaces デスクトップクライアントアプリケーションの表示言語を変更するには、「[クライアント言語 \(Linux\)](#)」、「[クライアント言語 \(macOS\)](#)」、または「[クライアント言語 \(Windows\)](#)」をご参照ください。

日本語 106/109 キーボードレイアウトを使用するには

日本語 106/109 キーボードレイアウトを使用している場合は、次の手順に従います。

- ローカルクライアントデバイスの表示言語を日本語に設定し、日本語 106/109 キーボードレイアウトを使用するようにキーボードを設定します。
 - Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
 - [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
 - [Language] (言語) を選択します。
 - [Preferred languages] (優先する言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
 - [Choose a language to install] (インストールする言語を選択してください) ページで、[Japanese] (日本語) を選択します。
 - [次へ] を選択します。
 - [Install language features] (言語機能のインストール) ページで、[Install] (インストール) を選択します。
 - [Languages] (言語) ページで、[Japanese] (日本語) を選択し、[Options] (オプション) を選択します。
 - [Language options: Japanese] (言語オプション: 日本語) ページの [Hardware keyboard layout] (ハードウェアキーボードレイアウト) で、[Change layout] (レイアウトの変更) を選択します。
 - [Change hardware keyboard layout] (ハードウェアキーボードレイアウトの変更) ダイアログボックスで、[Japanese keyboard (106/109 key)] (日本語キーボード(106/109キー)) を選択します。
 - 変更は、Windows を再起動するまで有効になりません。[Restart now] (今すぐ再起動) を選択するか、[OK] を選択して作業内容を保存してから Windows を再起動します。
- インストールした新しいキーボードレイアウトを選択します。これを行うには、Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。[Japanese Microsoft IME] (日本語 Microsoft IME) を選択します。
- WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、WSP WorkSpace にログインします。

4. WorkSpace 内で、デフォルトの表示言語として [Japanese] (日本語) を設定し、キーボードレイアウトを日本語 106/109 に設定します。
 - a. Windows の [スタート] メニューで、[設定] を選択します。
 - b. [Time & language] (時刻と言語) を選択します。
 - c. [Region & language] (地域と言語) を選択します。
 - d. [Languages] (言語) で、[Add a language] (言語の追加) を選択します。
 - e. [Add a language] (言語の追加) ページで、[Japanese] (日本語) を選択します。
 - f. [Languages] (言語) ページで、[Japanese] (日本語) を選択し、[Set as default] (既定に設定) を選択します。
 - g. [Languages] (言語) ページで、[Japanese] (日本語) を選択し、[Options] (オプション) を選択します。
 - h. [Language options] (言語オプション) ページの [Hardware keyboard layout] (ハードウェアキーボードレイアウト) で、[Change layout] (レイアウトの変更) を選択します。
 - i. [Change hardware keyboard layout] (ハードウェアキーボードレイアウトの変更) ダイアログボックスで、[Japanese keyboard (106/109 key)] (日本語キーボード(106/109キー)) を選択します。
 - j. 変更は、Windows からサインアウトするまで有効になりません。[Sign out] (サインアウト) を選択します。

Windows からサインアウトされ、WorkSpace への接続が切断されます。

5. WorkSpace に再接続します。
6. WorkSpace の Windows タスクバーで、右下の日付および時刻の横にある [ENG] を選択します。メニューが表示されます。[Japanese Microsoft IME] (日本語 Microsoft IME) を選択します。

WSP WorkSpace で日本語 106/109 キーボードレイアウトが利用可能となりました。

WorkSpaces デスクトップクライアントアプリケーションの表示言語を変更するには、「[クライアント言語 \(Linux\)](#)」、「[クライアント言語 \(macOS\)](#)」、または「[クライアント言語 \(Windows\)](#)」をご参照ください。

WorkSpaces USB リダイレクトの設定

ユニバーサルシリアルバス (USB、Universal Serial Bus) は、コンピュータをスキャナーやプリンター、外付けドライブ、セキュリティキーなどのデバイスに接続するために使用されます。PCoIP Windows WorkSpaces は、Windows WorkSpaces クライアントアプリケーションからユニバーサル 2 要素認証を行うためにローカルにアタッチされた YubiKey のリダイレクトをサポートしています。

Note

YubiKey リダイレクトがサポートされているのは、Windows WorkSpaces クライアントのみです。

要件

- Windows PCoIP WorkSpaces では、USB リダイレクトはデフォルトで無効になっています。WorkSpaces の USB リダイレクトを有効にする必要があります。USB の許可されるデバイスと許可されないデバイスのルールを設定して、リダイレクトできるデバイスを定義できます。詳細については、[Windows WorkSpaces の管理](#)を参照してください。
- USB リダイレクトドライバーとともに WorkSpaces クライアントバージョン 4.0 以降をローカルにインストールします。詳細については、[セットアップとインストール](#)を参照してください。

サポート対象の USB デバイス

Amazon WorkSpaces は現在、YubiKey U2F に対してのみ USB リダイレクトをサポートしています。他のタイプの USB デバイスもリダイレクトできる場合があります。ただし、それらはサポートされていないため、正常に動作しない可能性があります。

以下は、U2F の PCoIP Windows WorkSpaces リダイレクトで動作することが検証された USB YubiKey モデルの一覧です。

- YubiKey 4
- YubiKey 5 NFC
- YubiKey 5 Nano
- YubiKey 5C

- YubiKey 5C Nano
- YubiKey 5 NFC
- サポートされている YubiKey で使用可能な、ほとんどの USB タイプ C から USB タイプ A アダプター

サポート対象外の USB デバイス

ほとんどの USB 大容量記憶デバイス、一部のスキャナーやプリンターでは、制御、中断、一括などのデータ転送タイプを使用します。これらのデータ転送タイプを使用するデバイスはサポートされていませんが、WorkSpaces にリダイレクトされる可能性があります。ウェブカメラで一般的に使用されているアイソクロナス転送はサポートされていません。したがって、USB ウェブカメラはサポート対象外です。

次の USB デバイスは、U2F 認証が PCoIP WorkSpaces で動作することが確認されていますが、サポートされていません。

- Thetis セキュリティキー

次の USB デバイスは、U2F 認証が PCoIP WorkSpaces では動作しません。

- ケンジントンセキュリティキー

ローカル USB デバイスを WorkSpace に接続するには

Warning

ローカル USB デバイスを WorkSpace に接続すると、そのデバイスはローカルコンピュータで使用できなくなります。たとえば、USB マウスを WorkSpace にリダイレクトした場合、コンピュータは、WorkSpace から USB マウスを切断するまで、リダイレクトされた USB マウスからのマウス入力を受信できません。

USB デバイスの接続は、WorkSpaces のストリーミングセッション間で持続しません。WorkSpace に接続するたびに USB デバイスを接続する必要があります。WorkSpaces のストリーミングセッションでは、最大 10 個の USB デバイスを同時にリダイレクトできます。

1. WorkSpaces (Windows 用) クライアントアプリケーションを使用して PCoIP Windows WorkSpace にログインします。

2. クライアントインターフェイスで、[デバイス] アイコンをクリックして、ローカルにアタッチされている USB デバイスを一覧表示します。
3. USB デバイスを選択し、デバイス名の横のメニューから [Use with WorkSpaces] (WorkSpaces で使用する) を選択します。
4. WorkSpace で USB デバイスを使用する準備ができました。

ローカル USB デバイスを WorkSpace から切断するには

1. クライアントインターフェイスで、アイコンをクリックして、ローカルにアタッチされている USB デバイスを一覧表示します。
2. USB デバイスを選択し、デバイス名の横のメニューから [Use with local device] (ローカルデバイスで使用する) を選択します。
3. ローカルコンピュータで USB デバイスを使用する準備ができました。

USB リダイレクトドライバーを再インストールまたはアップグレードするには

以下のステップに従って、ドライバーのクリーンな再インストールまたはアップグレードを実行します。

1. 以下のコマンドを実行して USB リダイレクトドライバーをアンインストールします。

```
[Amazon WorkSpaces directory]\pcoipusb\bin\USB\PCoIP_Client_USB_uninstaller.exe
```

2. マシンを再起動します。
3. レジストリエディタを開きます。
4. [HKLM] で fusbhub を検索します。
5. レジストリキーを削除します。レジストリキーは、フォルダアイコンが付いた左ペインの項目です。この例では、fusbhub を含む fuhub キーです。このレジストリキーを削除できない場合は、レジストリエントリに関連付けられている .inf ファイル名をメモします。 .inf ファイル名は、通常「oem」で始まります (「oem9.inf」など)。コマンドラインを開き (管理者権限で)、 .inf ファイル名を *oem9.inf* に置き換えて、以下のプロンプトを実行します。

```
pnputil -f -d oem9.inf
```

6. fusbhub がレジストリエディタから完全に削除されるまで、ステップ 5 を繰り返します。
7. マシンを再起動します。

8. アップグレードの場合のみ、最新のクライアントをダウンロードして、インストールする必要があります。クライアントのインストール中に USB ドライバをインストールするように選択できます。
9. WorkSpace にログインしたら、[Devices] (デバイス) アイコン



をクリックし、USB ドライバーを再インストールします。または、管理者権限を使用して、以下の PowerShell スクリプトを呼び出すこともできます。

```
[Amazon WorkSpaces directory]\pcoipusb\install-pcoip-usb-driver.ps1
```


WorkSpaces クライアント

サポートされているデバイスまたはウェブブラウザのクライアントアプリケーション WorkSpace を使用して、[WorkSpace](#) に接続できます。の使用を開始するには WorkSpace、「」を参照してくださいの[開始方法 WorkSpace](#)。

クライアント

- [Android クライアントアプリケーション](#)
- [iPad クライアントアプリケーション](#)
- [Linux クライアントアプリケーション](#)
- [macOS クライアントアプリケーション](#)
- [PCoIP ゼロクライアント](#)
- [Web Access](#)
- [Windows クライアントアプリケーション](#)

WorkSpaces Android クライアントアプリケーション

以下の情報は、WorkSpaces Android クライアントアプリケーションの使用を開始するのに役立ちます。

内容

- [要件](#)
- [セットアップとインストール](#)
- [に接続する WorkSpace](#)
- [ジェスチャー](#)
- [サイドバーメニュー](#)
- [キーボード](#)
- [トラックパッドモード](#)
- [ディスプレイのサポート](#)
- [切断](#)
- [クリップボードのサポート](#)
- [リリースノート](#)

要件

Amazon WorkSpaces Android クライアントアプリケーションには、以下が必要です。

- 2012 年より後にリリースされた Amazon Fire タブレット (Fire OS 4.0 以降)
- Android タブレットとスマートフォン (Android OS 4.4 以降)。クライアントアプリケーションは、Android バージョン 4.4 以降のほとんどのデバイスで動作しますが、一部のデバイスとは互換性がない場合があります。デバイスに問題がある場合は、[WorkSpaces フォーラム](#) で問題を報告できます。

Note

2.4.15 より後のバージョンの Android クライアントアプリケーションには、Android OS 9 以降のデバイスが必要です。

5.0.0 以降のバージョンの Android クライアントアプリケーションには、Android OS 13 以降のデバイスが必要です。

- Android アプリケーションのインストールをサポートする Chromebook。2019 年以降にリリースされた Chromebook は、Android アプリケーションのインストールをサポートしています。ただし、2019 より前にリリースされた Chromebook の中には、Android アプリケーションのインストールをサポートしていないものがあります。

Chromebook がサポートしている場合は、Android クライアントアプリケーションを使用することをお勧めします。Chromebook が Amazon WorkSpaces Android クライアントアプリケーションと互換性があるかどうか、または Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションが必要かどうかを確認するには、[2019 年より前にリリースされた Chromebook のインストール手順](#)を参照してください。

- 実行中の 64 ビットアプリケーションをサポートするデバイス。

Note

- WorkSpaces Android クライアントアプリケーションは、WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) では使用できません。
- Workspace がアジアパシフィック (ムンバイ) リージョンにある場合は、Amazon WorkSpaces Android クライアントアプリケーションのバージョン 2.4.19 以降を使用する必要があります。

セットアップとインストール

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには、以下の手順を実行します。

(2019 年より前にリリースされた Chromebook 以外のデバイスの場合) クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには

1. デバイスで、<https://clients.amazonworkspaces.com/> を開き、デバイス用のリンク (Android/Chromebook または Fire タブレット) を選択します。
2. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。
3. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションアイコンがデバイスデスクトップの 1 つに表示されていることを確認します。

(2019 年より前にリリースされた Chromebook の場合) クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには

1. Chromebook が Android アプリケーションをサポートしているかどうかを確認するために、[Android アプリをサポートしている Chrome OS システム](#)のリストでステータスを確認します。
2. Chromebook のステータスに応じて、次のいずれかの操作を行います。
 - Chromebook のステータスが [Stable Channel] としてマークされている場合は、次の操作を行います。
 1. 「[Chromebook に Android アプリをインストールする](#)」の手順に従って、Chromebook に Android アプリケーションをインストールできるようにします。

Note

場合によっては、WorkSpaces 管理者が Chromebook で Android アプリケーションをインストールできるようにする必要がある場合があります。Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできない場合は、管理者にお問い合わせください WorkSpaces 。

2. Chromebook で <https://clients.amazonworkspaces.com/> を開き、[Android/Chromebook] を選択します。
3. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。

4. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションアイコンがデバイスデスクトップの 1 つに表示されていることを確認します。
- Chromebook のステータスが [Planned] としてマークされているか、Chromebook がリストに表示されていない場合は、次の操作を行います。
 1. Chromebook が Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションの要件を満たしているかどうかを確認します。
 - WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションには、Chrome OS バージョン 45 以降の Chromebook が必要です。クライアントアプリケーションは、バージョン 45 以降のほとんどの Chromebook で動作しますが、一部のデバイスとは互換性がない場合があります。デバイスに問題がある場合は、[WorkSpaces フォーラム](#) で問題を報告できます。
 - Chromebook の Chrome OS バージョンを確認するには、アカウントの画像が表示されているステータス領域に移動します。[設定]、[Chrome OS について] の順に選択します。
 2. Chromebook が Chrome OS バージョン 45 以降を実行している場合は、[Chrome ウェブストアで Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーション](#)へのリンクを開きます。
 3. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。
 4. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションアイコンが Chromebook 検索に表示されていることを確認します。

に接続する Workspace

に接続するには Workspace、次の手順を実行します。

に接続するには Workspace

1. デバイスで、Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションを開きます。
2. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 E メールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して、接続先 Workspace を識別します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動してログイン画面で [新しい登録コードを入力] をタップします。
3. サインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) をタップします。WorkSpaces 管理者が組織の に対して多要素認証を有効にしている場合 WorkSpaces、ログインを完了するパスコー

ドの入力を求められます。WorkSpaces 管理者は、パスコードの取得方法に関する詳細情報を提供します。

4. WorkSpaces 管理者が「記憶」機能を無効にしていない場合は、認証情報を安全に保存して、今後 WorkSpace 簡単に に接続できるようにするよう求められます。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

クライアントアプリケーションが に接続すると WorkSpace、WorkSpace デスクトップが表示されます。

ジェスチャー

WorkSpaces Android クライアントアプリケーションでは、次のジェスチャがサポートされています。

シングルタップ

Windows でのシングルクリックに相当します。

ダブルタップ

Windows でのダブルクリックに相当します。

2 本指シングルタップ

Windows での右クリックに相当します。

2 本指ダブルタップ

画面上のキーボード表示を切り替えます。キーボードがデバイスに接続されている場合は、代わりに一連のキーボードショートカットが表示されます。

左からのスワイプ

サイドバーメニューを表示します。詳細については、「[サイドバーメニュー](#)」を参照してください

2 本指スクロール

上下 (垂直) にスクロールします。

2 本指ピンチ

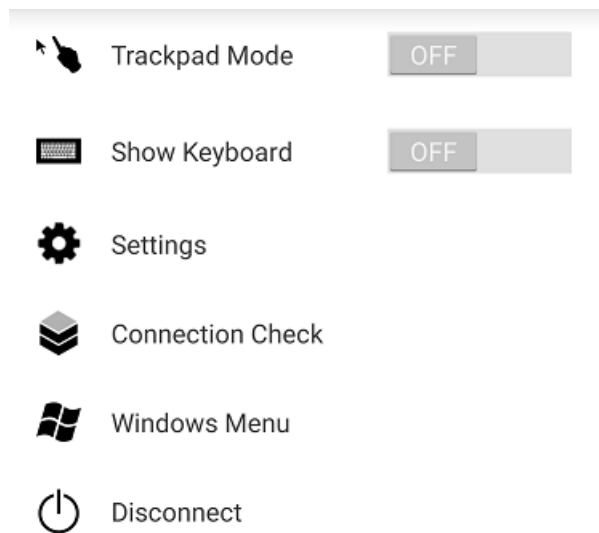
表示をズームイン/ズームアウトします。

2 本指パン

ズームイン時にデスクトップをパンします。

サイドバーメニュー

サイドバーメニューは、画面の左側からスワイプすると表示されます。



サイドバーメニューを使用すると、次の機能にすばやくアクセスできます。



トラックパッドモード – トラックパッドのオン/オフを切り替えます。詳細については、「[トラックパッドモード](#)」を参照してください



キーボードの表示 – 画面上のキーボード表示を切り替えます。キーボードが既に接続されている場合は、一列に並んだキーボードショートカットのみが表示されます。



設定 – 画面の解像度やスクロール方向を変更するコントロールを表示します。



接続チェック – 接続ステータスを表示します。



Windows メニュー – Windows の [Start] (スタート) メニューを表示します。



切断 – ログオフせずにクライアントアプリケーションを切断します。

キーボード

画面上のキーボードの表示を切り替えるには、画面の任意の場所を 2 本指でダブルタップします。キーボードの一番上の行に、特殊キーの組み合わせが表示されます。

トラックパッドモード

トラックパッドモードは、[サイドバーメニュー](#)を使用して設定します。

トラックパッドモードオフ

トラックパッドモードがオフの場合、指をタップした場所にマウスカーソルが配置されます。このモードでは、シングルタップは、マウスの左ボタンをクリックするのと同じで、2 本指シングルタップはマウスの右ボタンをクリックするのと同じです。

トラックパッドモードオン

トラックパッドモードがオンの場合、マウスカーソルは画面上の指の動きを追跡します。このモードでは、マウスの左ボタンアイコンをタップすることで、マウスの左ボタンのクリックをシミュレートします。



マウスの右ボタンアイコンをタップすることで、マウスの右ボタンのクリックをシミュレートします。



ディスプレイのサポート

Amazon WorkSpaces Android クライアントアプリケーションは 1 つのモニターをサポートします。マルチモニターはサポートされていません。

サポートされる最大画面解像度は、デバイスのディスプレイによって異なります。特定の画面解像度設定は設定メニューに表示されますが、デフォルトを選択すると、はデバイスで設定した解像度 WorkSpaces と一致します。デバイスが 2800 x 1752 を超える解像度をサポートしている場合は、より高い解像度 WorkSpaces を使用する場合はデフォルトを選択します。

解像度の設定	どのようなときに使うか
2800x1752、2560x1440、1920x1080 、1600x900、1280x720、960x540	これらの内でいずれかの設定を選択し、ディスプレイの解像度をその数値に合わせます。
[Default] (デフォルト)	この設定を選択すると、デバイスで設定した解像度でサポートされる最大の数値が、解像度として適用されます。[Default] (デフォルト) を選択し、高い DPI ディスプレイを使用している場合は、テキストとアイコンを読みやすくするために画面解像度がより低くなるように調整されます。

解像度の設定	どのようなときに使うか
高 DPI モード	この設定を選択すると、WorkSpace 高 DPI ディスプレイでの の最大解像度が向上します。高 DPI モードを選択し、 のテキストとアイコン WorkSpace が希望よりも小さい場合は、代わりに「デフォルト」を選択するか、 のスケーリング設定を調整します WorkSpace 。高 DPI モードと、 のスケーリング設定を調整する方法の詳細については WorkSpace、 「」を参照してください WorkSpaces の高 DPI ディスプレイのサポート 。

切断

Android クライアントを切断するには、サイドバーメニューを表示し、切断アイコンをタップして [切断] をタップします。クライアントを切断 WorkSpace する からログオフすることもできます。

クリップボードのサポート

クリップボードは、テキストと HTML コンテンツのコピーと貼り付けのみをサポートしています。非圧縮オブジェクトの最大サイズは 20 MB です。詳細については、「[the section called “コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました”](#)」を参照してください。

Note


Microsoft Office アプリからコピーする場合、クリップボードには最後にコピーしたアイテムのみが含まれ、アイテムは標準形式に変換されます。890 KB を超えるコンテンツを Microsoft Office アプリからコピーすると、アプリの動作が遅くなるか、最長 5 秒間応答しなくなる可能性があります。

リリースノート

Android クライアントアプリケーションのリリースノート

Android クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

リリース	日付	変更
5.0.0	2024 年 2 月 26 日	<ul style="list-style-type: none">イスラエル (テルアビブ) リージョンのサポートが追加されました。Android 用 PCoIP SDK を更新しました。スクリーンリーダーのサポートやキーボードのみのナビゲーションの強化など、アクセシビリティの向上が追加されました。
4.0.6	2023 年 8 月 18 日	<ul style="list-style-type: none">プロビジョニングされたと同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランドを改善しました WorkSpaces。スペイン語のキーボードマッピングの問題を解決しました。
4.0.5	2023 年 5 月 5 日	<ul style="list-style-type: none">AWS GovCloud (米国東部) リージョンで WorkSpaces プロビジョニングされた への接続サポートを追加アクセシビリティの拡張機能を追加しました
4.0.4	2022 年 12 月 15 日	WorkSpaces Android クライアントの .NET Framework を更新しました
4.0.3	2022 年 10 月 20 日	ターゲット Android API レベルをアップグレードして、64 ビットの Android 12 以降のバージョンを引き続きサポートするようにしました。
4.0.2	2022 年 8 月 3 日	Chromebook の 内でタッチパッドのスクロール WorkSpaces が敏感すぎる問題を解決しました。
4.0.1	2022 年 5 月 12 日	<ul style="list-style-type: none">WorkSpaces Android クライアントの PCoIP SDK を更新しましたWorkSpaces Android クライアントの WSP SDK を更新しました

リリース	日付	変更
3.0.4	2021 年 10 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> 無効なカーソルデータに関連するクラッシュの問題を解決する バグ修正
3.0.2	2021 年 7 月 13 日	軽微な機能強化と修正
3.0.1	2021 年 6 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> セルフサービス WorkSpace 管理機能のサポートを追加しました。 証明書ベースの信頼できるデバイスのサポートを追加
2.4.21	2021 年 5 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> 解像度オプションに 2800x1752 と高 DPI モードを追加 カーソルレンダリングに関連するクラッシュシナリオに対処 軽微な機能強化と修正 <div data-bbox="829 1045 1511 1598" style="border: 1px solid #add8e6; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p> Note</p> <p>Android 用 32 ビット PCoIP SDK のサポートが終了したため、バージョン 2.4.21 は Amazon WorkSpaces Android クライアントの最終リリースであり、Android 9 以降では 32 ビットと 64 ビットの両方をサポートしています。次のリリース以降、Amazon WorkSpaces Android クライアントは 64 ビットのみをサポートします。</p> </div>
2.4.20	2021 年 3 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ログイン時に起きるクラッシュの問題を修正 軽微な機能強化と修正
2.4.19	2021 年 2 月 22 日	解像度 2560x1440 のサポートを追加


リリース	日付	変更
2.4.18	2020 年 10 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> • 以前はサポートされていなかった特定の Chromebook モデルのサポートを追加 • 英語、フランス語、日本語のキーボードレイアウトに関連する複数のキーマッピングの問題を修正 • スリープモードから再開するときに Chromebook デバイス WorkSpaces 上の へのより高速な再接続のサポートを追加
2.4.17	2020 年 2 月 24 日	軽微な機能強化と修正
2.4.16	2020 年 1 月 30 日	64 ビットの Android 9 以降のバージョンのサポートを追加
2.4.15	2019 年 6 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> • マウスカーソルのコンテキストシェイプの変更のサポートを追加 • これは Android 8 以下のバージョンをサポートする最後のバージョンです
2.4.14		<ul style="list-style-type: none"> • 日本語キーボードレイアウトでの右 Alt キーマッピングのサポートを追加 • 青色のオーバーレイで不定期に発生する問題を解決
2.4.13		軽微な修正
2.4.12		<ul style="list-style-type: none"> • いくつかのデバイスでログインページがバウンスする問題を解決 • 軽微な修正
2.4.11		<ul style="list-style-type: none"> • 2 本指のスクロールでコンテンツが選択される問題を解決 • 軽微な修正
2.4.10		日本語キーボードレイアウトのサポートを改善

リリース	日付	変更
2.4.9		Samsung Galaxy Note 9 のサポートを追加
2.4.7		<ul style="list-style-type: none">クリップボードのリダイレクトを改善DeX の起動を改善
2.4.6		ログイン調整を有効にする URI (Uniform Resource Identifier) のサポートを追加
2.4.5		<ul style="list-style-type: none">タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolisログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加
2.4.4		セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善
2.4.2		<ul style="list-style-type: none">軽微な修正コピーと貼り付けを改善
2.4.0		<ul style="list-style-type: none">新しいロゴユーザーインターフェイスと安定性を改善
2.3.4		<ul style="list-style-type: none">マウスがデバイスに接続されているときの Android Oreo のディスプレイオーバーレイの問題に対処Samsung S8/S8 以降の画面設定のサポートを追加軽微な問題を解決
2.3.3		ローカライズの強化

リリース	日付	変更
2.2.0		<ul style="list-style-type: none"> ドイツ語のサポートを追加 日本語ユーザーインターフェイスを改善 安定性を改善
2.1.0		<ul style="list-style-type: none"> STOPPING と STOPPED の新しい WorkSpace状態のサポートを追加 電話をかけたリウェブ会議に参加したりできるように音声入力のサポートを追加 軽微な問題を解決し、安定性を改善
2.0.0		<ul style="list-style-type: none"> 登録コードを保存するためのサポートを追加し、登録コードを再入力 WorkSpaces せずに切り替えることができます 使いやすさと安定性を改善
1.0.15		<ul style="list-style-type: none"> 接続問題のトラブルシューティングを可能にする、高度な接続ヘルスチェックを追加 安定性を改善
1.0.11		<ul style="list-style-type: none"> ユーザーインターフェイスとログインエクスペリエンスを改善 画面の解像度を選択するためのサポートを追加 スクロール方向を選択するためのサポートを追加
1.0.10		<ul style="list-style-type: none"> ログインエクスペリエンスを改善 ローカルデバイスと の間のタイムゾーン同期を追加します。 WorkSpace
1.0.9		ログインエクスペリエンスを改善
1.0		初回リリース

Chromebook クライアントアプリケーションのリリースノート

Chromebook クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

 Note

バージョン 2.4.13 は、Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションの最終リリースです。[Google は Chrome Apps のサポートを段階的に廃止しているため](#)、WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションへの更新は行われず、その使用はサポートされていません。

リリース	日付	変更
2.4.13	2019 年 4 月 24 日	画面のロック解除後に、アプリが全画面表示モードに戻らない問題を修正
2.4.12		軽微なバグを修正
2.4.11		軽微なバグを修正
2.4.10		日本語キーボードレイアウトのサポートを改善
2.4.8		UK キーボードのサポートを改善
2.4.7		<ul style="list-style-type: none"> クリップボードのリダイレクトを改善 トラックパッド tap-to-click のサポートを追加 デバイスの解像度を改善
2.4.6		<ul style="list-style-type: none"> 画面がフリーズする問題を解決 トラックパッドの問題を解決
2.4.5		<ul style="list-style-type: none"> タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolis

リリース	日付	変更
		<ul style="list-style-type: none"> ログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加
2.4.4		セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善
2.4.2		Caps Lockのバグを解決
2.4.0		<ul style="list-style-type: none"> 新しいロゴ ユーザーインターフェイスと安定性を改善
2.2.7		軽微な問題を解決
2.2.4		ローカライズの強化
2.2.1		<ul style="list-style-type: none"> ドイツ語のサポートを追加 日本語ユーザーインターフェイスを改善 安定性を改善
2.1.3		<ul style="list-style-type: none"> STOPPING と STOPPED の新しい WorkSpace状態のサポートを追加 電話をかけたリウェブ会議に参加したりできるように音声入力のサポートを追加 軽微なバグを解決し、安定性を改善
2.0.0		<ul style="list-style-type: none"> 登録コードを保存するためのサポートを追加し、登録コードを再入力 WorkSpaces せずに切り替えることができます 使いやすさと安定性を改善
1.0		初回リリース

WorkSpaces iPad クライアントアプリケーション

以下の情報は、WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションの使用を開始するのに役立ちます。

内容

- [要件](#)
- [セットアップとインストール](#)
- [に接続する WorkSpace](#)
- [ジェスチャー](#)
- [放射状メニュー](#)
- [キーボードとコマンドのショートカット](#)
- [マウスモード](#)
- [Swiftpoint GT ProPoint、または PadPoint マウス](#)
- [切断](#)
- [クリップボードのサポート](#)
- [リリースノート](#)

要件

WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションには、以下が必要です。

- iPad 2 以降 (iOS 8.0 以降)
- iPad Retina (iOS 8.0 以降)
- iPad Mini (iOS 8.0 以降)
- iPad Pro (iOS 9.0 以降)

Note

- Amazon WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションは、WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) では使用できません。
- WorkSpace がアジアパシフィック (ムンバイ) リージョンにある場合は、Amazon WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションのバージョン 2.4.17 以降を使用する必要があります。
- iPad で iPadOS 14.5 以降を使用している場合は、Amazon WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションのバージョン 2.4.18 以降を使用することをお勧めします。

セットアップとインストール

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには、以下の手順を実行します。

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには

1. iPad で Amazon [WorkSpaces Client Downloads](#) を開き、iPad リンクを選択します。
2. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。
3. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションのアイコンが iPad デスクトップの 1 つに表示されていることを確認します。

に接続する Workspace

に接続するには Workspace、以下の手順を実行します。

に接続するには Workspace

1. iPad で、Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションを開きます。
2. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 Eメールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して、接続先の Workspace を識別します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動して、ログイン画面で [新しい登録コードを入力] を選択します。
3. サインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) を選択します。WorkSpaces 管理者が組織のに対して多要素認証を有効にしている場合 WorkSpaces、ログインを完了するためのパスコードの入力を求められます。WorkSpaces 管理者は、パスコードの取得方法に関する詳細情報を提供します。
4. WorkSpaces 管理者が「記憶」機能を無効にしていない場合は、認証情報を安全に保存して、後で Workspace 簡単に に接続できるようにするよう求められます。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

クライアントアプリケーションが に接続すると Workspace、Workspace デスクトップが表示されます。

ジェスチャー

WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションでは、次のジェスチャがサポートされています。

シングルタップ

Windows でのシングルクリックに相当します。

ダブルタップ

Windows でのダブルクリックに相当します。

2 本指シングルタップ

Windows での右クリックに相当します。

2 本指ダブルタップ

画面上のキーボード表示を切り替えます。

左からのスワイプ

放射状のメニューを表示します。詳細については、「[放射状メニュー](#)」を参照してください

2 本指スクロール

上下 (垂直) にスクロールします。

2 本指ピンチ

表示をズームイン/ズームアウトします。

2 本指パン

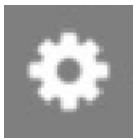
ズームイン時にデスクトップをパンします。

放射状メニュー

放射状メニューは、画面の左側からスワイプすると表示されます。



リングメニューを使用すると、次の機能に簡単にアクセスできます。



設定 – 画面の解像度の変更、スクロール方向の変更、[Swiftpoint GT ProPoint](#)、または [PadPoint マウス](#) の接続または切断を行うコントロールを表示します。



接続ステータス — の接続ステータスを表示します WorkSpace。



切断 – ログオフせずにクライアントアプリケーションを切断します。



ダイレクトマウスモード – 入力をダイレクトマウスモードに設定します。詳細については、「[マウスモード](#)」を参照してください



ヘルプ – コマンドとジェスチャのチュートリアルを表示します。



キーボード – 画面上のキーボード表示を切り替えます。



Windows の [Start] (スタート) メニュー – Windows の [Start] (スタート) メニューを表示します。



オフセットマウスモード – 入力をオフセットマウスモードに設定します。詳細については、「[マウスモード](#)」を参照してください

キーボードとコマンドのショートカット

画面上のキーボードの表示を切り替えるには、画面の任意の場所を 2 本指でダブルタップします。Windows で頻繁に使用される特殊なキーの組み合わせ (コマンドショートカット。Ctrl+Alt+Del、Alt+Tab、Ctrl+A、Ctrl+C、Ctrl+V、Ctrl+X など) は、スクリーンキーボードの一番上の行に表示されます。

iPad にフルサイズの物理キーボードがアタッチされている場合は、Control+Option+Delete を使用して



Ctrl+Alt+Del を Windows に送信できます WorkSpace。(バックスペースの Delete キーではなく、フォワードの Delete キーを使用してください)。

マウスモード

マウスモードは [リングメニュー](#) を使用して設定します。

ダイレクトモード

ダイレクトマウスモードでは、指でタップした位置にマウスカーソルが置かれます。このモードでは、シングルタップは、マウスの左ボタンをクリックするのと同じで、2本指シングルタップはマウスの右ボタンをクリックするのと同じです。

オフセットモード

オフセットマウスモードでは、マウスカーソルが画面上の指の動きを追跡します。このモードでは、マウスの左ボタンアイコンをタップすることで、マウスの左ボタンのクリックをシミュレートします。



マウスの右ボタンアイコンをタップすることで、マウスの右ボタンのクリックをシミュレートします。



Swiftpoint GT ProPoint、または PadPoint マウス

Swiftpoint GT ProPoint、または iPad の PadPoint マウスを使用して、 を操作できます WorkSpace。そのためには、Amazon WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションを起動する前に、iPad で Bluetooth を有効にし、Swiftpoint マウスと iPad をペアリングします (Swiftpoint マウスは自動的にペアリングされます)。Swiftpoint マウスと iPad クライアントを接続するには、リングメニューを表示し、[設定] をタップします。SwiftPoint GT マウス で、接続 を選択します。

Note

Swiftpoint GT マウスは利用できなくなりましたが、代わりに Amazon WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションで Swiftpoint ProPoint と PadPoint マウスを使用できます

す。Swiftpoint TRACPOINT、PenPoint、GoPoint マウスは WorkSpaces iPad クライアントでの使用をサポートしていません。詳細については、「[Swiftpoint GT Mouse](#)」を参照してください。

iPadOS 13.4 以降を搭載した iPad は、Bluetooth 対応のマウスもサポートしています。詳細については、Apple サポートドキュメントの「[iPad で Bluetooth 対応のマウスやトラックパッドを使う](#)」をご参照ください。

切断

iPad クライアントアプリケーションを切断するには、リングメニューを表示し、切断アイコンをタップして、[Disconnect] (切断) をタップします。からログオフして WorkSpace、クライアントを切断することもできます。

WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションを終了するには

1. 次のいずれかを実行して、App Switcher を開きます。
 - 最下部から上方向にスワイプし、画面の中央で一時停止します。
 - [Home] (ホーム) ボタンをダブルクリックします ([Home] (ホーム) ボタンのある iPad の場合)。
2. WorkSpaces iPad クライアントアプリケーションを上からスワイプして閉じます。

クリップボードのサポート

クリップボードは、テキストと HTML コンテンツのコピーと貼り付けのみをサポートしています。非圧縮オブジェクトの最大サイズは 20 MB です。詳細については、「[the section called “コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました”](#)」を参照してください。

Note

Microsoft Office アプリからコピーする場合、クリップボードには最後にコピーしたアイテムのみが含まれ、アイテムは標準形式に変換されます。890 KB を超えるコンテンツを Microsoft Office アプリからコピーすると、アプリの動作が遅くなるか、最長 5 秒間応答しなくなる場合があります。

リリースノート

iPad クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

リリース	日付	変更
2.4.24	2023 年 5 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> • AWS GovCloud (米国東部) リージョンで WorkSpaces プロビジョニングされた への接続サポートを追加 • アクセシビリティの拡張機能を追加しました
2.4.19	2021 年 10 月 20 日	iPadOS 15 でスクリーンキーボードを閉じることができないという問題を解決します。
2.4.18	2021 年 5 月 9 日	iPadOS 14.5 での起動時のクラッシュの問題を修正
2.4.17	2021 年 2 月 18 日	日本語キーボードのサポートが改善されました
2.4.16	2020 年 9 月 27 日	軽微なバグの修正と機能強化
2.4.15	2020 年 6 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> • iPadOS 13.4 以降でネイティブマウスおよびトラックパッドのサポートを追加 • iPadOS 13.4 以降で外部キーボードからキーボードショートカットのインスタンスを使用できない問題を修正 • エラーメッセージングを改善し、マウスポインター関連の UI の機能強化を追加 • 軽微なバグを修正
2.4.14	2020 年 4 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> • 脱獄したデバイスでのクライアントアプリケーションの実行のサポートを中止 • 軽微なバグを修正
2.4.13	2020 年 2 月 28 日	軽微なバグを修正
2.4.11	2019 年 10 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> • Amazon Linux 2 WorkSpaces の実行時に定期的にキー入力が続り返される問題を解決

リリース	日付	変更
		<ul style="list-style-type: none"> への再接続に関する問題を解決 WorkSpaces 軽微なバグを修正
2.4.9		軽微なバグを修正
2.4.7		WorkSpaces クライアントアプリを閉じると、再接続トークンの有効期限が切れるようになりました。に再接続できるのは WorkSpace、クライアントアプリが実行されている場合のみです。
2.4.6		オンスクリーンキーボードの軽微な修正
2.4.5		ログイン調整を有効にする URI (Uniform Resource Identifier) のサポートを追加
2.4.4		<ul style="list-style-type: none"> タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolis ログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加
2.4.3		<ul style="list-style-type: none"> Swiftpoint GT マウススクロールホイールのサポートを追加 セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善
2.4.2		<ul style="list-style-type: none"> 軽微な修正 コピーと貼り付けを改善 Swiftpoint GT マウスの初期サポートを追加 (スクロールホイールはサポートされません)
2.4.0		<ul style="list-style-type: none"> 新しいロゴ ユーザーインターフェイスと安定性を改善

リリース	日付	変更
2.2.4		ローカライズの強化
2.2.3		<ul style="list-style-type: none"> • ATS による HTTPS TLS 1.2 のサポートを追加 • マイクのプライバシーに関する声明を追加 • iPad Pro モデルのデフォルト解像度を改善 • 複数言語でのローカリゼーションを改善 • 9.7 インチ iPad Proモデルで画面が黒く表示される問題を解決 • iOS 10でのアプリアイコンのズーム問題を解決 • オーディオエコーの問題を解決 • セキュリティの修正とさまざまな機能強化
2.2.0		<ul style="list-style-type: none"> • オーディオセッション管理のサポートを追加し、 の使用中にバックグラウンドで音楽を再生できるようになりました。 WorkSpaces • ドイツ語のサポートを追加 • ローカル IPv6 ネットワークのサポートを追加
2.1.0		<ul style="list-style-type: none"> • STOPPING および STOPPED という新しい WorkSpace 状態のサポートを追加 • 軽微なバグを解決し、安定性を改善

リリース	日付	変更
2.0.0		<ul style="list-style-type: none">登録コードを再入力 WorkSpaces せずに切り替えることができる、登録コードの保存のサポートを追加Bluetooth キーボードの矢印キーのサポートに関する問題を解決Bluetooth キーボードが誤ってオンスクリーンショートカットバーをアクティブにする問題を解決使いやすさと安定性を改善
1.1		<ul style="list-style-type: none">接続問題のトラブルシューティングを可能にする、高度な接続ヘルスチェックを追加安定性を改善
1.0.11		iOS 8 の安定性を改善
1.0.10		安定性を改善
1.0.9		<ul style="list-style-type: none">ユーザーインターフェイスとログインエクスペリエンスを改善画面の解像度を選択するためのサポートを追加スクロール方向を選択するためのサポートを追加
1.0.8		<ul style="list-style-type: none">エラーメッセージを改善Bluetooth キーボードの操作性を改善スクロール操作を改善
1.0.7		ログインエクスペリエンスを改善
1.0.6		ログインエクスペリエンスを改善
1.0.5		<ul style="list-style-type: none">ログインエクスペリエンスを改善ネットワーク接続を改善

リリース	日付	変更
1.0.4		ログインエクスペリエンスを改善
1.0.3		ログインエクスペリエンスを改善
1.0.2		<ul style="list-style-type: none">接続のヘルスチェックを追加iPad Air と iPad mini に関する特定の問題を解決
1.01		リング機能を改善
1.0		初回リリース

WorkSpaces Linux クライアントアプリケーション

以下の情報は、WorkSpaces Linux クライアントアプリケーションの使用を開始するのに役立ちます。

内容

- [要件](#)
- [セットアップとインストール](#)
- [への接続 WorkSpace](#)
- [ログイン情報の管理](#)
- [クライアントビュー](#)
- [クライアントの言語](#)
- [ディスプレイのサポート](#)
- [プロキシサーバー](#)
- [コマンドショートカット](#)
- [クリップボードのリダイレクト](#)
- [切断](#)
- [リリースノート](#)

要件

WorkSpaces Linux クライアントアプリケーションには、64 ビット Ubuntu 18.04、Ubuntu 20.04 (AMD64)、または Ubuntu 22.04 が必要です。IGEL OS は WorkSpaces Linux クライアントでサポートされています。

WorkSpaces Linux クライアントバージョン 2023.x が WorkSpaces サービスにアクセスできるようにするには、クライアントがサービスにアクセスしようとしているネットワーク上の許可リストに WorkSpaces Web Access ドメイン (<https://webclient.amazonworkspaces.com/>) を追加する必要があります。

Note

- デフォルトでは、Linux クライアントへのアクセスが無効になっています。このクライアントを使用するには WorkSpace、Amazon WorkSpaces 管理者が WorkSpaces ディレクトリの Linux クライアントアクセスを有効にする必要があります。詳細については、「Amazon WorkSpaces 管理ガイド」の「[デバイスアクセスの制御](#)」を参照してください。
- WorkSpace がアジアパシフィック (ムンバイ) リージョンにある場合は、Amazon WorkSpaces Linux クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.3 以降を使用する必要があります。
- Ubuntu 22.04 用の WorkSpaces Linux クライアントバージョン 2023.0.4395 は、WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) でのみ使用できます。

セットアップとインストール

Amazon Client Downloads から WorkSpaces Linux クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールします。[WorkSpaces](#) 詳細なインストール手順は、[Client Downloads (クライアントダウンロード)] サイトの [Linux client (Linux クライアント)] ページに記載されています。

2023.x クライアント

Linux クライアントをコマンドラインから起動するには、次のコマンドを使用します。

```
workspacesclient
```

Note

新しいクライアントアプリケーションを実行すると、登録コードの入力を求められます。登録コードはウェルカムメールに記載されています。既存のお客様の場合、登録コードは `/home/UserName/.local/share/Amazon Web Services/Amazon WorkSpaces/RegistrationList.json` にあります。

3.x および 4.x クライアント

Linux クライアントをコマンドラインから起動するには、次のコマンドを使用します。

```
/opt/workspacesclient/workspacesclient
```

への接続 Workspace

に接続するには Workspace、次の手順を実行します。

に接続するには Workspace

1. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 E メールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して、接続先 Workspace を識別します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動し、ログインページの下部にある [Change Registration Code] (登録コードを変更) を選択します。
2. ログイン画面でサインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) を選択します。WorkSpaces 管理者が組織のに対して多要素認証を有効にしている場合 WorkSpaces、ログインを完了するパスコードの入力を求められます。WorkSpaces 管理者は、パスコードの取得方法に関する詳細情報を提供します。
3. WorkSpaces 管理者が「ログインしたままにする」機能を無効にしていない場合は、ログイン画面の下部にある「ログインしたままにする」チェックボックスを選択して認証情報を安全に保存し、クライアントアプリケーションの実行中に Workspace 簡単に接続できるようにします。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

クライアントアプリケーションがに接続すると Workspace、Workspace デスクトップが表示されます。

インターネット接続が停止すると、現行のセッションは切断されます。これはノートパソコンの蓋を閉じた場合やワイヤレスネットワーク接続の喪失から発生する場合があります。Linux 用の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、ネットワーク接続が一定時間内に回復すると、セッションの自動再接続を試みます。デフォルトのセッション再開タイムアウトは 20 分ですが、このタイムアウトはネットワーク管理者が変更できます。

ログイン情報の管理

登録コードと WorkSpace が属するリージョンを確認できます。WorkSpaces クライアントアプリケーションに現在の登録コードを保存するかどうかを指定し、に名前を割り当てることができます WorkSpace。また、終了するか、ログイン期間が終了 WorkSpace するまで Amazon WorkSpaces がにログインしたままにするかどうかを指定することもできます。

2023.x クライアント

のログイン情報を管理するには WorkSpace

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「設定」、「ログイン情報の管理」に移動します。
2. 「設定」ダイアログボックスに、の登録コードとリージョン情報が表示されます WorkSpace。
3. (オプション) WorkSpaces クライアントに現在の登録コードを記憶させる場合は、登録コードの保存を有効にします。
4. 保存済み登録コードで、名前 WorkSpace を付けるを選択します。
5. WorkSpace 名前ボックスに、の名前を入力します WorkSpace。
6. (オプション) 終了するか WorkSpaces、ログイン期間が終了するまでログインしたままにする場合は、「ログインしたまま」チェックボックスをオンにします。
7. [保存]を選択します。

3.x および 4.x クライアント

のログイン情報を管理するには WorkSpace

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「設定」、「ログイン情報の管理」に移動します。
2. ログイン情報の管理ダイアログボックスで、の登録コードとリージョン情報を確認できます WorkSpace。

3. (オプション) WorkSpaces クライアントに現在の登録コードを記憶させる場合は、登録コードを覚えておくチェックボックスをオンにします。
4. 保存済み登録コードで、名前 Workspace を付ける を選択します。
5. Workspace 名前ボックスに、 の名前を入力します Workspace。
6. (オプション) 終了するか WorkSpaces、ログイン期間が終了するまでログインしたままにする場合は、「ログインしたまま」チェックボックスを選択します。
7. [Save] (保存) を選択します。

クライアントビュー

2023.x クライアント用の全画面表示モード

クライアントアプリケーションメニューで全画面表示アイコンを選択して、全画面表示モードに切り替えることができます。全画面表示モードからウィンドウモードに戻るには、画面の上部にポインターを移動します。クライアントアプリケーションメニューが表示されたら、クライアントアプリケーションメニューの [全画面表示の終了] を選択します。

3.x および 4.x クライアント用の全画面表示モード

クライアントアプリケーションメニューで [表示]、[全画面表示にする] の順に選択すると、全画面表示モードに切り替えることができます。

全画面表示モードからウィンドウモードに戻るには、画面の上部にポインターを移動します。クライアントアプリケーションメニューが表示されたら、クライアントアプリケーションメニューの [表示]、[全画面表示の終了] の順に選択します。

Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。

クライアントの言語

2023.x クライアント

WorkSpaces クライアントは、コンピュータ上のオペレーティングシステムで使用されるデフォルトの表示言語を自動的に選択します。

3.x および 4.x クライアント

次の手順を実行することによって、クライアントで表示される言語を選択できます。

Note

クライアントでは、日本語をすべてのリージョンで使用できます。ただし、日本語は東京でのみ個々ので使用できます WorkSpaces。

クライアントの言語を選択するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「設定」、「言語の変更」に移動します。
2. [言語の選択] リストで目的の言語を入力し、[保存] を選択します。
3. クライアントを再起動します。

ディスプレイのサポート

WorkSpaces 値、標準、パフォーマンス、パワー PowerPro、GraphicsPro バンドルは、最大 4 つのディスプレイと最大解像度 3840 x 2160 (超高解像度、または UHD) をサポートします。サポートされる最大解像度は、次の表に示すとおり、ディスプレイの数によって異なります。

ディスプレイ	解像度
2	3840x2160
4	1920x1200

Note

- 表示を拡張できるのはのみです。表示を複製することはできません。ディスプレイを複製すると、セッションが切断されます。
- Graphics バンドルがサポートするのは、モニター 1 台のみの構成で、最大解像度は 2560x1600 です。

WorkSpaces クライアントアプリケーションは、アタッチされたすべてのディスプレイの拡張ディスプレイ情報データ (EDID) を抽出し、セッションを開始する前に最適な互換性の一致を判断します。高ピクセル密度 (高 DPI) ディスプレイを使用している場合、クライアントアプリケーションはローカルの DPI 設定に従ってストリーミングウィンドウを自動的にスケーリングします。高 DPI ディス

プレイのより適した最大解像度については、[WorkSpaces の高 DPI ディスプレイのサポート](#) を参照してください。

で複数のモニターを使用するには WorkSpaces

1. マルチモニターを使用するようにローカルマシンを設定します。
2. WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、 にログインします WorkSpace。
3. 使用しているクライアントに応じて、次のいずれかの操作を行います。

Note

WSP でクライアントバージョン 2023.x を使用していて WorkSpaces、3 台以上のモニターが接続されている場合、 WorkSpace は使用可能なモニターの選択全体に全画面表示を拡張することもできます。選択したモニターは、ディスプレイ設定でお互いに隣り合うか、同じ面を共有するように設定する必要があります。WSP マルチモニターサポートは DCV 技術を使用して構築されています。要件とトラブルシューティングの詳細については、「[Extending full-screen across selected monitors](#)」を参照してください。

使用しているクライアント	この操作を行います
2023.x 以降のクライアント	<ul style="list-style-type: none"> • 1 台のディスプレイでフルスクリーンモードに切り替えるには、[Across a single monitor] (1 台のモニター) を選択します (WSP のみ)。 • 選択した複数のディスプレイでフルスクリーンモードに切り替えるには、[Across selective monitors] (選択したモニター) を選択します (WSP のみ)。 • すべてのディスプレイでフルスクリーンモードに切り替えるには、[Across all monitors] (すべてのモニター) を選択します (PCoIP と WSP)。 • Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えます (PCoIP のみ)。

使用しているクライアント	この操作を行います
3.0 および 4.0 以降のクライアント	[表示]、[すべてのディスプレイで全画面表示にする]の順に選択します。Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。
2.0 以降のクライアント	[表示]、[全画面表示にする]の順に選択します。Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。

これで、**が**ディスプレイ全体に拡張される WorkSpace はずです。どのディスプレイをプライマリディスプレイとして指定した場合でも、全画面表示モード WorkSpaces になったときのプライマリディスプレイでもあります。

Note

マルチモニター設定で一部のディスプレイのみを全画面表示モードにすることはできません。ただし、Alt+F10 を押すか、タイトルバーをダブルクリックして、を他のディスプレイ WorkSpace に拡張せずに、ディスプレイ上の WorkSpaces クライアントウィンドウを最大化できます。

プロキシサーバー

ネットワークでインターネットにアクセスするためにプロキシサーバーを使用する必要がある場合は、WorkSpaces クライアントアプリケーションが HTTPS (ポート 443) トラフィックのプロキシを使用できるようにすることができます。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、更新、登録、認証に HTTPS ポートを使用します。

Note

- へのデスクトップストリーミング接続 WorkSpace では、ポート 4172 および 4195 を有効にする必要があり、プロキシサーバーを経由しません。
- サインイン認証情報を使用した認証を必要とするプロキシサーバーはサポートされていません。

プロキシサーバーの使用

Linux クライアントのデフォルトでは、デバイスのオペレーティングシステム設定で指定されているプロキシサーバーが使用されます。クライアントが初めて起動されると、デバイスのオペレーティングシステムのプロキシサーバー設定が使用されます。プロキシサーバーに対して別のオプションを選択した場合、その設定がクライアントのその後の起動に使用されます。

Note

バージョン 3.0.0 から 3.1.4 でカスタムプロキシサーバーを指定すると、 にログインしよう とすると「ネットワークなし」エラーが表示されることがあります WorkSpace。Linux クライアントでカスタムプロキシサーバーを使用する場合は、バージョンを 3.1.5 にアップグレードすることをお勧めします。このアップグレードが不可能な場合には、Linux クライアントからカスタムプロキシサーバーを指定せずに、オペレーティングシステムのデフォルトのプロキシサーバーを使用することで、この問題を回避できます。

2023.x クライアント

プロキシサーバーを使用するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、ログインページから、接続設定 の 3 行メニューアイコンを選択します。
2. 接続設定ダイアログボックスで、 のプロキシサーバーのカスタマイズ WorkSpacesを選択し、プロキシサーバーの URL または IP アドレスを入力し、ポートを入力し、保存を選択します。

3.x および 4.x クライアント

プロキシサーバーを使用するには

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、設定 、プロキシサーバー の管理 に移動します。
2. [Set Proxy] (プロキシの設定) ダイアログボックスで、[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択し、プロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力して、[Save] (保存) を選択します。

コマンドショートカット

PCoIP WorkSpaces Linux クライアントは、次のコマンドショートカットをサポートしています。

- Ctrl+Alt+Enter — 全画面表示の切り替え (PCoIP のみ)

クリップボードのリダイレクト

クリップボードは、20 MB の非圧縮オブジェクトの最大サイズをサポートしています。詳細については、「[コピーと貼り付けで問題が発生しました](#)」を参照してください。

切断

Linux クライアントアプリケーションを切断するには、いくつかのオプションがあります。

2023.x クライアント

- theWorkSpaces ストリーミングセッションで、ウィンドウを閉じて WorkSpace セッションを終了します。ダイアログボックスで、切断を選択して WorkSpace セッションを終了します。再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは引き続き実行されます。
- WorkSpaces ストリーミングセッションで、3 行のメニューアイコンをクリックし、切断を選択して WorkSpace セッションを終了します。クライアントアプリケーションは実行され続けるため、再度ログインできます。

3.x および 4.x クライアント

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpacesに移動し、切断 WorkSpaceを選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションの実行は継続されます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpacesに移動し、Amazon を終了する WorkSpacesを選択します。WorkSpace セッションが終了し、クライアントアプリケーションが閉じます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、右上隅の閉じる (X) ボタンをクリックして WorkSpaces クライアントウィンドウを閉じます。[セッションの終了]ダイアログボックスで、[はい]を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションの実行は継続されます。

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpacesに移動し、切断 WorkSpaceを選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションの実行は継続されます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpacesに移動し、Amazon を終了する WorkSpacesを選択します。WorkSpace セッションが終了し、クライアントアプリケーションが閉じます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、右上隅の閉じる (X) ボタンをクリックして WorkSpaces クライアントウィンドウを閉じます。[セッションの終了] ダイアログボックスで、[はい] を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションの実行は継続されます。

診断ログのアップロード

WorkSpaces クライアントの問題をトラブルシューティングするには、クライアントで診断ログ記録が有効になっていることを確認します。デバイスと AWS ネットワークへの接続に関する詳細情報 WorkSpaces を含むように送信されるログファイル。WorkSpace ストリーミングセッション前またはストリーミングセッション中に診断ログのアップロードを有効にして、これらのファイル WorkSpaces を自動的に に送信できます。

Note

WorkSpaces ストリーミングセッションの前と最中にログファイルを送信できます。ログのアップロードは、Linux Ubuntu 20.04 および Ubuntu 22.04 クライアントでのみサポートされています。

ログファイルを送信するには

1. Amazon WorkSpaces クライアントを開きます。
2. 登録後の WorkSpaces サインインページの右上で、設定 を選択し、次に診断ログ を選択します。
3. ポップアップダイアログボックスで、診断ログ記録の下にあるトグルを希望の設定に設定し、保存 を選択します。
4. セッションログで提供するデータの量を選択するには、ログレベル のラジオボタンを選択します。標準ログ記録 (デフォルト) または高度なログ記録 のいずれかを選択できます。

⚠ Important


問題を に報告するときは AWS Support、問題が発生しているクライアントのデバイス ID を必ず追跡してください。デバイス ID は、登録コードを入力した後、クライアントログインページの設定診断ログメニューにあります。これにより、サポートチームは特定のデバイスに関連付けられたログを識別できます。特定の問題に関して作成したチケットにデバイス ID を含めます。

リリースノート

WorkSpaces Ubuntu 22.04 リリースノート用の クライアントアプリケーション

次の表に、Ubuntu 22.04 クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を示します。


リリース	日付	変更
2024.1	2024 年 6 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> WSP SDK を更新しました。 SAML 2.0 統合のサポートが追加されました。 セッション前のスマートカード認証のサポートを追加しました。
2024.0	2024 年 2 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> WSP SDK を更新しました。 キーボードキャプチャの問題を修正しました セッション内認証 WebAuthn のサポートを追加 軽微なバグの修正と機能強化。
2023 年 2 月	2023 年 12 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> アクセシビリティを向上させるために、スクリーンリーダーとキーボードナビゲーションを追加しました。 AWS GovCloud (米国西部) および AWS GovCloud (米国東部) のサポートを追加しました。

リリース	日付	変更
2023.1	2023 年 11 月 12 日	<ul style="list-style-type: none">Uniform Resource Identifier (URI) のサポートを追加しました。チルダキーの日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。診断ログのアップロードのサポートを追加しました。
2023 年 0 月 4395 日	2023 年 8 月 24 日	<ul style="list-style-type: none">Windows、BYOL、Ubuntu などの WSP WorkSpaces 接続サポートが追加されました WorkSpaces。3 台以上のモニターが接続されている場合、選択したモニターでの全画面表示拡張サポートが追加されました。より快適な会議エクスペリエンスを提供するために、双方向のオーディオ/ビデオとウェブカメラのリダイレクトのサポートが追加されました。フレームレート、ネットワークレイテンシー、内のダウンロード帯域幅など、ストリーミングメトリクスを表示するオプションを追加しました WorkSpaces。 <div data-bbox="829 1325 1507 1732" style="border: 1px solid #0070C0; border-radius: 10px; padding: 10px;"><p> Note</p><p>ユニフォームリソース識別子 (URI) は、このバージョンではサポートされていません。詳細については、「ユーザーが にログインする方法をカスタマイズする WorkSpaces」 を参照してください。</p></div>

WorkSpaces Ubuntu 20.04 リリースノート用の クライアントアプリケーション

次の表は、Ubuntu 20.04 クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を示しています。

リリース	日付	変更
2024.1	2024 年 6 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> • WSP SDK を更新しました。 • SAML 2.0 統合のサポートを追加しました。
2024.0	2024 年 2 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> • WSP SDK を更新しました。 • PCoIP SDK を更新しました。 • キーボードキャプチャの問題を修正しました • セッション内認証 WebAuthn のサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化。
2023.2	2023 年 12 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> • アクセシビリティを向上させるために、スクリーンリーダーとキーボードナビゲーションを追加しました。 • AWS GovCloud (米国西部) および AWS GovCloud (米国東部) のサポートを追加しました。
2023.1	2023 年 11 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> • Uniform Resource Identifier (URI) のサポートを追加しました。 • チルダキーの日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。 • 診断ログのアップロードのサポートを追加
4.7.0	2023 年 11 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> • イスラエル (テルアビブ) リージョンのサポートが追加されました。 • チルダキーの日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。 • Linux 用の更新された PCoIP SDK。

リリース	日付	変更
2023 年 0 月 4430 日	2023 年 8 月 24 日	<ul style="list-style-type: none">• Windows、BYOL、Ubuntu などの WSP WorkSpaces 接続サポートが追加されました WorkSpaces。• (WSP のみ) 3 台以上のモニターが接続されている場合、選択したモニターでの全画面表示拡張サポートが追加されました。• (WSP のみ) より快適な会議エクスペリエンスを提供するために、双方向のオーディオ/ビデオとウェブカメラのリダイレクトのサポートが追加されました。• (WSP のみ) フレームレート、ネットワークレイテンシー、ダウンロード帯域幅などのストリーミングメトリクスを 内に表示するためのオプションを追加しました WorkSpaces。 <div data-bbox="829 1031 1507 1440" style="border: 1px solid #00a0e3; border-radius: 10px; padding: 10px;"><p> Note</p><p>ユニフォームリソース識別子 (URI) は、このバージョンではサポートされていません。詳細については、「ユーザーが にログインする方法をカスタマイズする WorkSpaces」 を参照してください。</p></div>

リリース	日付	変更
4.6.0	2023 年 6 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> • プロビジョニングされたと同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランドを改善しました WorkSpaces。 • クライアントのカスタムブランディングロゴファイルに関する画像の自動スケーリングの問題が解決されました。 • 日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。
4.5.0	2022 年 12 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワーク接続が失われたり使用できなくなったり WorkSpaces したときに、ユーザーが から切断できない問題を解決しました。 • WorkSpaces Linux クライアントの PCoIP SDK を更新しました。
4.4.0	2022 年 10 月 27 日	Ubuntu 20.04 のサポート。

WorkSpaces Ubuntu 18.04 リリースノート用の クライアントアプリケーション

次の表は、Ubuntu 18.04 クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を示しています。

リリース	日付	変更
4.6.0	2024 年 1 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> • イスラエル (テルアビブ) のサポートを追加しました。 • チルダキーの日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。
4.5.0	2023 年 6 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> • プロビジョニングされたと同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランドを改善しました WorkSpaces。

リリース	日付	変更
		<ul style="list-style-type: none"> クライアントのカスタムブランディングロゴファイルに関する画像の自動スケーリングの問題が解決されました。 日本語キーボードマッピングの問題を修正しました。
4.4.0	2022 年 12 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク接続が失われたり使用できなくなったり WorkSpaces したときに、ユーザーが から切断できない問題を解決しました。 WorkSpaces Linux クライアントの PCoIP SDK を更新しました。
4.3.0	2022 年 10 月 5 日	Linux 用の更新された PCoIP SDK。
4.2.0	2022 年 8 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> でのモニターの相対位置の変更の問題を修正しました WorkSpaces。 軽微なバグの修正と機能強化。
4.1.0	2022 年 4 月 14 日	Linux でクリップボードのリダイレクトを有効にしました WorkSpaces。
4.0.1	2021 年 8 月 12 日	軽微なバグの修正と機能強化。
3.1.9	2021 年 7 月 1 日	軽微なバグの修正と機能強化。
3.1.8	2021 年 6 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> オーディオ出力の問題を修正 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.7	2021 年 5 月 6 日	軽微なバグの修正と機能強化
3.1.5	2021 年 4 月 2 日	軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.1.4	2021年3月16日	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが登録、ログイン、再構築する際に発生する一部のクラッシュの問題を修正 UI要素に対応するローカライゼーションを追加サポート 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.3	2021年2月15日	<ul style="list-style-type: none"> Alt キーマッピングが改善 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.2	2021年1月8日	軽微なバグの修正と機能強化
3.1.0	2020年12月1日	軽微なバグの修正と機能強化
3.0.12	2020年11月10日	セッションの再接続エクスペリエンスに機能強化を追加
3.0.11	2020年10月2日	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが全画面表示モードを選択してからこのモードを終了したときに、ユーザーの画面サイズ設定が保持される問題を解決 WorkSpace 日本語キーボードの内でバックスラッシュキーとアンダースコアキーが認識されない問題を解決 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.10	2020年9月16日	軽微なバグの修正と機能強化
3.0.9	2020年8月14日	軽微なバグの修正と機能強化
3.0.8	2020年7月30日	<ul style="list-style-type: none"> 診断を改善するために、往復時間 (RTT) をネットワークヘルスチェック情報の一部として表示 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.7	2020年6月3日	軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.0.6	2020 年 4 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> 高 DPI ディスプレイと標準 DPI ディスプレイの切り替えのサポートを追加 Amazon でシングルサインオン (SSO) が有効になっている場合に、ログインプロンプトを表示するユーザーインターフェイスの問題を解決します。WorkDocs Windows ログキーが正しくマッピングされなかった問題を解決 WorkSpace 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.4	2020 年 3 月 3 日	軽微なバグの修正と機能強化
3.0.1	2019 年 12 月 19 日	バグ修正と UI の強化
3.0.0	2019 年 11 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> Linux クライアントの初回リリース Ubuntu 18.04 のサポート わかりやすい登録コードラベル

WorkSpaces macOS クライアントアプリケーション

以下の情報は、WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションの使用を開始するのに役立ちます。

内容

- [要件](#)
- [セットアップとインストール](#)
- [クライアントのバージョンを確認する](#)
- [に接続する WorkSpace](#)
- [ログイン情報を管理する \(3.0 以上のクライアントのみ\)](#)
- [クライアントビュー](#)
- [クライアントの言語](#)
- [ディスプレイのサポート](#)

- [プロキシサーバー](#)
- [コマンドショートカット](#)
- [Windows ログキーまたはコマンドキーを再マッピングする](#)
- [切断](#)
- [クリップボードのサポート](#)
- [診断ログのアップロード](#)
- [リリースノート](#)

要件

- 4.0 以降のクライアントバージョンでは、macOS 10.15 (Catalina) から macOS 14 (Sonoma) が必要です。
- 3.0 以降のバージョンのクライアントには、macOS 10.12 (Sierra) 以降が必要です。

Important

macOS 10.15 (Catalina) 以降を使用する場合は、macOS クライアントのバージョン 3.0.2 以降を使用する必要があります。

Note

- WorkSpace がアジアパシフィック (ムンバイ) リージョンにある場合は、Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.3 以降を使用する必要があります。
- WSP WorkSpaces は macOS クライアントバージョン 5.5.0 以降でのみサポートされています。

セットアップとインストール

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには、以下の手順を実行します。

クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールするには

1. macOS デバイスで Amazon [WorkSpaces Client Downloads](#) を開き、MacOS X リンクを選択します。
2. アプリケーションをダウンロードし、インストールします。
3. Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションアイコンがデスクトップに表示されていることを確認します。

WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新できない場合は、次の手順を使用してクライアントアプリケーションを更新します。

WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新するには

1. Finder で [アプリケーション] フォルダを開きます。次に [ユーティリティ] を開いて [ターミナル] を選択します。
2. [ターミナル] ウィンドウで、次のコマンドを入力し、Return キーを押します。

```
defaults delete com.amazon.workspaces SUSkippedVersion
```

3. [ターミナル] アプリで、[ターミナル]、[ターミナルを終了] の順に選択します。
4. WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションで登録コードをまだ入力していない場合は、登録コードを入力し、Amazon WorkSpacesを選択し、Amazon を終了 WorkSpacesしてクライアントアプリケーションを閉じます。
5. WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを再起動します。クライアントを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。更新を承諾します。

クライアントのバージョンを確認する

使用している WorkSpaces クライアントのバージョンを確認するには、Amazon WorkSpaces、Amazon について WorkSpacesを選択するか、右上隅にある歯車アイコンをクリックして、Amazon について WorkSpacesを選択します。

に接続する Workspace

に接続するには Workspace、次の手順を実行します。

3.0 以降のクライアント WorkSpace で に接続するには

1. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 E メールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して、接続 WorkSpace 先を識別します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動し、ログインページの下部にある [Change Registration Code] (登録コードを変更) を選択します。
2. ログイン画面でサインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) を選択します。WorkSpaces 管理者が組織の に対して多要素認証を有効にしている場合 WorkSpaces、ログインを完了するパスコードの入力を求められます。WorkSpaces 管理者は、パスコードの取得方法に関する詳細情報を提供します。
3. WorkSpaces 管理者が「ログインしたままにする」機能を無効にしていない場合は、ログイン画面の下部にある「ログインしたままにする」チェックボックスを選択して認証情報を安全に保存し、クライアントアプリケーションの実行中に に WorkSpace 簡単に接続できるようにします。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

クライアントアプリケーションが に接続すると WorkSpace、WorkSpace デスクトップが表示されます。

インターネット接続が停止すると、現行のセッションは切断されます。これはノートパソコンの蓋を閉じた場合やワイヤレスネットワーク接続の喪失から発生する場合があります。macOS の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、ネットワーク接続が一定時間内に回復すると、セッションの自動再接続を試みます。デフォルトのセッション再開タイムアウトは 20 分ですが、このタイムアウトはネットワーク管理者が変更できます。

ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ)

登録コードと WorkSpace が属するリージョンを確認できます。WorkSpaces クライアントアプリケーションに現在の登録コードを保存するかどうかを指定し、 に名前を割り当てることができます WorkSpace。また、終了するか、ログイン期間が終了 WorkSpace するまで Amazon WorkSpaces が にログインしたままにするかどうかを指定することもできます。

のログイン情報を管理するには WorkSpace

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「設定」、「ログイン情報の管理」に移動します。

2. ログイン情報の管理ダイアログボックスで、 の登録コードとリージョン情報を確認できます
Workspace。
3. (オプション) WorkSpaces クライアントに現在の登録コードを記憶させる場合は、登録コード
を覚えておくチェックボックスをオンにします。
4. 保存済み登録コードで、名前 Workspace を付ける を選択します。
5. Workspace 名前ボックスに、 の名前を入力します Workspace。
6. (オプション) 終了するか WorkSpaces、ログイン期間が終了するまでログインしたままにする
場合は、「ログインしたまま」チェックボックスをオンにします。
7. [Save] (保存) を選択します。

クライアントビュー

クライアントアプリケーションメニューで「表示」、「全画面表示」(3.0 以上のクライアント) を選
択して、全画面表示モードに切り替えることができます。

全画面表示モードからウィンドウモードに戻るには、画面の上部にポインターを移動します。クラ
イアントアプリケーションメニューが表示され、クライアントアプリケーションメニューで の表
示、全画面表示 (3.0 以上のクライアント) を選択できます。

Command+Option+Return キーを押して全画面表示モードを切り替えることもできます。

クライアントの言語

次の手順を実行することによって、クライアントで表示される言語を選択できます。

Note

WorkSpaces クライアントアプリケーションは日本語をサポートしています。ただし、日本
語 WorkSpacesはアジアパシフィック (東京) リージョンでのみ利用できます。

クライアントの言語を選択するには

1. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「設定」、「言語の変更」に移動します。

2. [言語の選択] リストで目的の言語を入力し、[保存] を選択します。
3. クライアントを再起動します。

ディスプレイのサポート

WorkSpaces 値、標準、パフォーマンス、パワー PowerPro、GraphicsPro バンドルは、最大 4 つのディスプレイと最大解像度 3840 x 2160 (超高解像度、または UHD) をサポートします。サポートされる最大解像度は、次の表に示すとおり、ディスプレイの数によって異なります。

ディスプレイ	解像度
2	3840x2160
4	1920x1200

Note

- 表示を拡張できるのはのみです。表示を複製することはできません。ディスプレイを複製すると、セッションが切断されます。
- Graphics バンドルがサポートするのは、モニター 1 台のみの構成で、最大解像度は 2560x1600 です。

WorkSpaces クライアントアプリケーションは、アタッチされたすべてのディスプレイの拡張ディスプレイ情報データ (EDID) を抽出し、セッションを開始する前に最適な互換性の一致を判断します。高ピクセル密度 (高 DPI) ディスプレイを使用している場合、クライアントアプリケーションはローカルの DPI 設定に従ってストーリーミングウィンドウを自動的にスケーリングします。高 DPI ディスプレイのより適した最大解像度については、[WorkSpaces の高 DPI ディスプレイのサポート](#) を参照してください。

Note

の画面解像度が低く、オブジェクト WorkSpaces がぼやけているように見える場合は、高 DPI モードをオンにし、Mac の表示スケーリング設定を調整する必要があります。詳細については、「[WorkSpaces の高 DPI ディスプレイのサポート](#)」を参照してください。

で複数のモニターを使用するには WorkSpaces

1. マルチモニターを使用するようにローカルマシンを設定します。詳細については、Apple のドキュメントの「[Mac で複数のディスプレイを使う](#)」をご参照ください。
2. WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、にログインします WorkSpace。
3. 使用しているクライアントに応じて、次のいずれかの操作を行います。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[表示]、[すべてのディスプレイで全画面表示にする] の順に選択します。Command+Option+Return キーを押して全画面表示モードを切り替えることもできます。

これで、 がディスプレイ全体に拡張される WorkSpace はずです。どのディスプレイをプライマリディスプレイとして指定した場合でも、全画面表示モード WorkSpaces になったときのプライマリディスプレイでもあります。

Note

マルチモニター設定の一部のディスプレイでのみ全画面表示モードを使用するには、オプションキーを押したまま、WorkSpaces ウィンドウの左上隅 ●

ある緑色の最大化ボタンをクリックします。このボタンは、を他のディスプレイに拡張せずに、WorkSpaces クライアントウィンドウを画面上のフルサイズ WorkSpace に拡張します。前のウィンドウサイズに戻すには、option キーを押したまま、最大化ボタンをもう一度クリックします。

プロキシサーバー

ネットワークでインターネットにアクセスするためにプロキシサーバーを使用する必要がある場合は、WorkSpaces クライアントアプリケーションが HTTPS (ポート 443) トラフィックのプロキシを使用できるようにすることができます。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、更新、登録、認証に HTTPS ポートを使用します。

Note

- へのデスクトップストリーミング接続 WorkSpace では、ポート 4172 および 4195 を有効にする必要があり、プロキシサーバーを経由しません。
- サインイン認証情報を使用した認証を必要とするプロキシサーバーはサポートされていません。

3.0 以降のクライアントでプロキシサーバーを使用するには

3.0 以降の macOS クライアントのデフォルトでは、デバイスのオペレーティングシステム設定で指定されているプロキシサーバーが使用されます。クライアントが初めて起動されると、デバイスのオペレーティングシステムのプロキシサーバー設定が使用されます。プロキシサーバーに対して別のオプションを選択した場合、その設定がクライアントのその後の起動に使用されます。

Note

カスタムプロキシサーバーを指定すると、にログインしようとする「ネットワークなし」エラーが表示されることがあります WorkSpace。この問題を回避するには、macOS クライアントからカスタムプロキシサーバーを指定せずに、オペレーティングシステムのデフォルトのプロキシサーバーを使用します。

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「設定」、「プロキシサーバーの管理」に移動します。
2. [Set Proxy] (プロキシの設定) ダイアログボックスで、[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択し、プロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力して、[Save] (保存) を選択します。

コマンドショートカット

WorkSpaces macOS クライアントは、次のコマンドショートカットをサポートしています。

使用しているクライアント	使用するショートカット
3.0 以降のクライアント	コマンド+Q - Amazon を終了する WorkSpaces Command+Option+Return — 全画面表示の切り替え Command+Option+F12 — セッションの切断

Windows ログキーまたはコマンドキーを再マッピングする

デフォルトでは、Windows キーボードの Windows ログキーと Apple キーボードのコマンドキーは、Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを使用しているときに Ctrl キーにマッピングされます。この動作を変更して、これら 2 つのキーが Windows ログキーにマッピングされるようにして Windows で使用する場合は WorkSpaces、次の手順を使用します。

Windows ログキーまたはコマンドキーを Windows ログキーにマッピングするには

1. まだインストールしていない場合は、Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションのバージョン 3.0.5 以降に[インストールまたは更新](#)してください。
2. Finder で [アプリケーション] フォルダを開きます。次に [ユーティリティ] を開いて [ターミナル] を選択します。
3. [ターミナル] ウィンドウで、次のコマンドを入力し、Return キーを押します。

```
defaults write "com.amazon.Amazon WorkSpaces Client" remap_cmd_to_ctrl 0
```

4. [ターミナル] アプリで、[ターミナル]、[ターミナルを終了] の順に選択します。
5. WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションが実行されている場合は、Amazon WorkSpaces を選択し、クライアントで Amazon を終了 WorkSpaces してクライアントアプリケーションを閉じます。
6. WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを再起動し、 にログインします Workspace。これで Windows ログキーまたはコマンドキーが Windows ログキーにマッピングされます。

切断

macOS クライアントアプリケーションを切断するには、いくつかのオプションがあります。

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpacesに移動し、切断 WorkSpaceを選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションの実行は継続されます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpacesに移動し、Amazon を終了する WorkSpacesを選択します。WorkSpace セッションが終了し、クライアントアプリケーションが閉じます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、左上隅にある赤い閉じる (X) ボタンをクリックして WorkSpaces クライアントウィンドウを閉じます。[セッションの終了] ダイアログボックスで、[はい] を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションの実行は継続されます。
- からログオフすることもできます WorkSpace。Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「 を表示」に移動し、「Ctrl+Alt+Delete を送信」を選択します。[サインアウト] を選択します。WorkSpace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは実行し続けます。

クリップボードのサポート

クリップボードは、20 MB の非圧縮オブジェクトの最大サイズをサポートします。詳細については、「[the section called “コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました”](#)」を参照してください。

Note

Microsoft Office アプリからコピーする場合、クリップボードには最後にコピーしたアイテムのみが含まれ、アイテムは標準形式に変換されます。890 KB を超えるコンテンツを Microsoft Office アプリからコピーすると、アプリの動作が遅くなるか、最長 5 秒間応答しなくなる場合があります。

診断ログのアップロード

診断ログのアップロードを有効にする

WorkSpaces クライアントの問題をトラブルシューティングするには、診断ログ記録を有効にします。デバイスと AWS ネットワークへの接続に関する詳細情報 WorkSpaces を含むように送信されるログファイル。WorkSpace ストリーミングセッション前またはストリーミングセッション中に診断ログのアップロードを有効にして、これらのファイルを自動的に送信 WorkSpaces できます。

ログファイルを送信するには

Note

WorkSpaces ストリーミングセッションの前と最中にログファイルを送信できます。

1. Amazon WorkSpaces クライアントを開きます。
2. WorkSpaces サインインページの上で、診断ログ設定の管理 を選択します。
3. ポップアップダイアログボックスで、Amazon の診断ログ記録を有効にする WorkSpaces を選択し、保存 をクリックします。

Important

AWS サポートに問題を報告する際は、問題が発生しているクライアントのデバイス ID を必ず追跡してください。このデバイス ID は、診断ログメニューの WorkSpaces クライアントナビゲーションバーにあり、サポートチームが特定のデバイスに関連付けられたログを識別するのに役立ちます。当該の問題に関して作成するチケットには、必ずデバイス ID を含めてください。

リリースノート

クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。

リリース	日付	変更
5.19.3	2024 年 4 月 30 日	ユーザーが WSP に接続する WorkSpaces ときに WSP からすぐに切断される問題を修正しました。
5.19.0	2024 年 2 月 28 日	<ul style="list-style-type: none">セッション内認証 WebAuthn のサポートが追加されました。WSP の白画面の問題が解決されました WorkSpaces。WSP のピクセル化の問題を修正しました WorkSpaces。WSP のクラッシュの問題を解決しました WorkSpaces。WSP SDK を更新しました。
5.18.0	2024 年 1 月 22 日	<ul style="list-style-type: none">PCoIP SDK を更新しました。WSP SDK を更新しました。macOS 14 (Sonoma) のサポートが追加されました。画面のロックを解除した後に最初のキーストロークが送信されないキーボードの問題を修正しました。
5.17.0	2023 年 11 月 16 日	<ul style="list-style-type: none">macOS Ventura でのカスタムプロキシエラーによるログインの問題を修正しました。WSP クライアントでオプションキーの動作を設定するサポートが追加されました。ユーザーが実行モードを変更するとクライアントがクラッシュする問題を修正しました。WSP クライアントでスマートカードを使用する場合の画面フリーズの問題を修正しました。WSP クライアントのサイズ変更時の安定性を向上させます。

リリース	日付	変更
		<ul style="list-style-type: none">視覚的なアクセシビリティが向上しました。
5.16.0	2023 年 10 月 26 日	<ul style="list-style-type: none">視覚的なアクセシビリティが向上しました。WSP SDK を更新しました。
5.15.1	2023 年 9 月 20 日	<ul style="list-style-type: none">高速 WSP WorkSpace 再接続後に永続ウェブカメラ接続を有効にしました。プロキシサーバー WorkSpaces を使用する場合の WSP の接続の問題を修正しました。WSP SDK を更新しました。バグの修正と機能強化。
5.12.0	2023 年 8 月 29 日	<ul style="list-style-type: none">PCoIP SDK と WSP SDK が更新されました。ログインページの特殊文字処理に関する問題を解決しました。サポートメニューの下に Amazon WorkSpaces ユーザーガイドへのリンクを追加しました。
5.11.0	2023 年 6 月 29 日	Ctrl + 左クリックを右クリックとして有効または無効にし、Command キーを Ctrl キーへのマッピングを有効または無効にするオプションが追加されました 両方のオプションにアクセスするには、メニューバーから [設定]、[修飾キーを管理] を選択します。

リリース	日付	変更
5.10.0	2023 年 6 月 19 日	<ul style="list-style-type: none">• プロビジョニングされたと同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランドを改善しました WorkSpaces。• Ubuntu で複数のモニターを使用する場合のブラックスクリーンの問題を解決しました WorkSpaces。• プロキシサーバー経由で に接続する WorkSpaces ときにプロキシ設定が保持されないクライアント診断ログのアップロードの問題を修正しました。• NICE DCV 拡張機能 SDK のサポートが追加されました。これにより、エンドユーザーは WSP WorkSpaces エクスペリエンスをカスタマイズできます。
5.9.0	2023 年 5 月 9 日	再生音量の問題を修正するため、WSP SDK を更新しました。
5.8.0	2023 年 4 月 6 日	<ul style="list-style-type: none">• アクセシビリティを改善しました。• 診断ログの自動アップロード機能のサポートが追加されました。この機能を使用すると、WorkSpaces クライアントの使用を中断することなく、WorkSpaces クライアントログファイルを に直接アップロード WorkSpaces して問題をトラブルシューティングできます。• WSPv2 SDK を更新して、レポートを修正 InSessionLatencyしました。
5.7.0	2023 年 2 月 23 日	<ul style="list-style-type: none">• WSP SDK を更新しました。• サインイン認証情報の先頭または末尾の許可リストのトリミングを有効にしました。

リリース	日付	変更
5.6.0	2022 年 12 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> • SAML 2.0 統合による証明書ベースの認証のサポートを追加しました。これにより、Active Directory ドメインパスワードのログオンプロンプトが表示されなくなります。 • Workspace アプリケーションウィンドウを最大化すると、Workspace メニューバーにアクセスできなくなる問題を解決しました。 • WorkSpaces macOS クライアントの PCoIP SDK を更新しました。
5.5.0	2022 年 11 月 14 日	WSP クライアント SDK を更新しました。
5.4.0	2022 年 11 月 10 日	を切断するためのショートカットコマンド +Alt +F12 を追加しました WorkSpaces。
5.3.0	2022 年 9 月 15 日	バグの修正と機能強化。
5.2.0	2022 年 8 月 24 日	スマートカードを使用する場合の WorkSpaces ログインの問題を修正しました。
5.1.0	2022 年 6 月 30 日	MacOS 用の更新された PCoIP SDK。
4.0.7	2022 年 3 月 3 日	のプロキシ設定が原因で発生する WorkSpaces 接続エラーを修正しました MacBook。
4.0.6	2021 年 12 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> • WSP のビデオストリーミングに関連するクラッシュとブラックスクリーンの問題を解決します。 • WSP バージョン 1.9.8.18175 へのアップデート
4.0.5	2021 年 11 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> • WSP の帯域幅とフレームレートを最適化 WorkSpaces • フルスクリーンモードに関連するショートカットマッピングの問題を解決する

リリース	日付	変更
4.0.4	2021 年 11 月 3 日	<ul style="list-style-type: none">• PCoIP WorkSpaces を使用した macOS Big Sur のログイン画面での回転ホイールの問題を解決• WSP WorkSpaces をサポートする のビデオストリーミングの改善• バグ修正
4.0.3	2021 年 10 月 4 日	バグの修正と機能強化。
4.0.2	2021 年 9 月 8 日	軽微なバグの修正と機能強化。
4.0.1	2021 年 8 月 5 日	軽微なバグの修正と機能強化。
3.1.9	2021 年 6 月 29 日	軽微なバグの修正と機能強化。
3.1.8	2021 年 5 月 28 日	<ul style="list-style-type: none">• PCoIP から切断した後のクラッシュの問題に対処 WorkSpaces• M1 Mac ハードウェアでの WSP WorkSpaces の接続の問題に対処• 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.7	2021 年 4 月 29 日	<ul style="list-style-type: none">• WorkSpaces Streaming Protocol (WSP) WorkSpaces を使用した との接続を改善• 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.6	2021 年 4 月 8 日	WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) オーディオトラフィックの最適化による切断とクラッシュの修正

リリース	日付	変更
3.1.5	2021 年 4 月 2 日	<ul style="list-style-type: none">• WSP Windows での共通アクセスカード (CAC) および個人識別検証 (PIV) スマートカードに対するセッション内およびセッション前のサポートを追加 WorkSpaces• WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) WorkSpaces を使用して Windows で双方向ビデオウェブカメラのサポートが一般利用可能に• 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.4	2021 年 3 月 16 日	<ul style="list-style-type: none">• ユーザーが登録、ログイン、再構築する際に発生する一部のクラッシュの問題を修正• UI 要素に対応するローカライゼーションを追加サポート• 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.3	2021 年 2 月 15 日	<ul style="list-style-type: none">• マウスの中央ボタンのドラッグのサポートを追加• 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.2	2021 年 1 月 8 日	<ul style="list-style-type: none">• WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) が一般公開されました。ビデオ入力機能は、WSP WorkSpaces でのみベータ機能として引き続き使用できます。• 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.0	2020 年 12 月 1 日	軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.0.12	2020 年 11 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> • セッションの再接続エクスペリエンスに機能強化を追加 • WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) のセッション切断中のエラーメッセージを改善 WorkSpaces • WSP の Shift キーに関するキーボードマッピングの問題を修正 WorkSpaces • WSP の以降のログインでビデオ入力デバイスが表示されない可能性があるデバイス列挙ロジックの問題を修正しました。WorkSpaces
3.0.11	2020 年 10 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> • WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) から切断する際の断続的なクラッシュの問題を解決します。WorkSpace • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.10	2020 年 9 月 16 日	ポート 4195 (UDP および TCP) を介したヘルスチェックのサポートを追加
3.0.9	2020 年 8 月 14 日	軽微なバグの修正と機能強化
3.0.8	2020 年 7 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> • 診断を改善するために、往復時間 (RTT) をネットワークヘルスチェック情報の一部として表示 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.7	2020 年 6 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> • WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) のマルチモニターのサポートを追加 WorkSpaces • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.6	2020 年 4 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> • 高 DPI ディスプレイと標準 DPI ディスプレイの切り替えのサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.0.5	2020年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> Amazon でシングルサインオン (SSO) が有効になっている場合に、ログインプロンプトを表示するユーザーインターフェイスの問題を解決します。WorkDocs Windows ログキーへのコマンドキーのマッピングのサポートを追加
3.0.4	2020年3月3日	<ul style="list-style-type: none"> WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) への接続のサポートを追加 WorkSpaces 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.3	2020年2月24日	高 DPI デバイスでの読みやすさを向上
3.0.2	2020年2月14日	<ul style="list-style-type: none"> 全画面表示を切り替えるためのキーボードショートカットを追加 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.0	2019年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーインターフェイスを改善 わかりやすい登録コードラベル クライアント側の GPU レンダリング 軽微なバグの修正と機能強化
2.5.11	2019年11月4日	<ul style="list-style-type: none"> macOS Catalina キーボードのサポートに関する問題を解決 軽微なバグを修正
2.5.9		軽微なバグを修正
2.5.8		<ul style="list-style-type: none"> ノートパソコンの蓋を開けたときにコンピュータがスリープ状態になることで断続的にクラッシュする問題を解決

リリース	日付	変更
2.5.7		<ul style="list-style-type: none"> Linux でのドイツ語キーボードレイアウトのサポートを追加 WorkSpaces クリップボードのリダイレクトに伴って Excel がクラッシュする問題を解決
2.5.6		軽微な修正
2.5.5		<ul style="list-style-type: none"> USB-Cを使用して全画面表示モードの外付けディスプレイを接続した場合の解像度が最適でない問題を解決 軽微なバグを修正
2.5.2		<ul style="list-style-type: none"> 複数のモニターが使用され、クライアントが実行中の Amazon Linux 2 に接続されている WorkSpaces場合にクラッシュする問題を解決します。 Caps Lock キーが正常に機能しなくなる断続的な問題を解決 軽微なバグを修正
2.5.1		<ul style="list-style-type: none"> Amazon Linux 2 WorkSpaces の実行時に定期的にキーが繰り返し押される問題を解決 ユーザーインターフェイスで日時形式のローカライズのサポートを追加 余分な「/」で終わる URI の処理を追加 ユーザーインターフェイスの軽微な改善
2.5.0		ユーザーセルフサービス WorkSpace 管理機能のサポートを追加
2.4.10		軽微な修正
2.4.9		軽微な修正

リリース	日付	変更
2.4.8		<ul style="list-style-type: none"> ログイン調整を有効にする URI (Uniform Resource Identifier) のサポートを追加 macOS でのファンクション (Fn) キーの動作を改善 プロトコル処理を改善 軽微な修正
2.4.7		<ul style="list-style-type: none"> タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolis ログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加
2.4.6		<ul style="list-style-type: none"> デバッグシナリオ用の詳細なログ記録を含めるようにログ記録レベルを設定するサポートを追加 セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善 キーボード接続のエラー処理を強化
2.4.4		<ul style="list-style-type: none"> 軽微な修正 コピーと貼り付けを改善
2.4.2		軽微な修正
2.4.0		<ul style="list-style-type: none"> 新しいロゴ ユーザーインターフェイスと安定性を改善
2.3.7		<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイの向きを変えた場合に発生するグレー画面の問題に対処 macOS でのクラッシュ問題を解決
2.3.6		ローカライズの強化

リリース	日付	変更
2.3.5		軽微な改善
2.3.3		<ul style="list-style-type: none"> マルチモニターのサポートを改善 ローカライズの強化 セキュリティとパフォーマンスを改善
2.3.1		軽微な修正
2.3.0		<ul style="list-style-type: none"> マルチモニターのサポートを改善 セキュリティと安定性を改善
2.2.3		軽微なバグを解決し、安定性を改善
2.2.1		<ul style="list-style-type: none"> ドイツ語のサポートを追加 一部のリージョンにおけるタイムゾーンのマッピングに関する問題を解決 ロシア語のシステムでの接続問題を解決 日本語ユーザーインターフェイスを改善 安定性を改善
2.1.4		macOS Sierra でのクラッシュ問題を解決
2.1.3		クライアントを閉じると、再接続トークンの有効期限が切れます。クライアントが実行されている WorkSpace 限り、 に簡単に再接続できます。
2.1.0		<ul style="list-style-type: none"> STOPPING と STOPPED の新しい WorkSpace 状態のサポートを追加 軽微なバグを解決し、安定性を改善

リリース	日付	変更
2.0.8		<ul style="list-style-type: none">• out-of-app キーボード入力が に渡される問題を解決 WorkSpaces• [このアカウントを記憶する] が無効になっている場合、再起動時にユーザー名が表示されない• 登録コードの削除時の確認ダイアログボックスを追加• 安定性を改善
2.0.4		<ul style="list-style-type: none">• 電話をかけたリウェブ会議に参加したりできるように音声入力のサポートを追加• 高 DPI 画面を持つデバイスのサポートを追加• 登録コードを保存するためのサポートを追加し、登録コードを再入力 WorkSpaces せずに切り替えることができます• OS X El Capitan のサポートを改善• 使いやすさと安定性を改善
1.1.80		<ul style="list-style-type: none">• セッションレイテンシー、セッション起動時間、セッション切断の CloudWatch メトリクスを追加• ネットワーク状態が低下したときに中断される回数を減らすためにセッションの自動再開を改善• 特定の問題を解決し、安定性を改善

リリース	日付	変更
1.1.6		<ul style="list-style-type: none">ステータス通知のサポートを追加。クライアントアプリケーションは、に接続できない場合、の状態 WorkSpaceを通知します WorkSpace。再接続エクスペリエンスを改善。クライアントは、非アクティブ状態が 10 時間続くと、ログイン画面に自動的にリダイレクトされます。クライアントが再接続を使用してセッションを開始できなかった場合に、再接続できます。セッションの自動再開のサポートを追加しました。ネットワーク接続が失われた後、セッション再開タイムアウト (デフォルト値は 20 分) 以内に回復すると、クライアントアプリケーションは自動的にセッションを再開しようとします。ネットワークのヘルスチェックを改善し、迅速性と信頼性を向上クライアント側による登録コードの検証を追加ローカルデバイスと 間の Caps Lock および Num Lock ステータスの同期を改善 WorkSpace
1.1.4		<ul style="list-style-type: none">認証情報の保存のサポートが追加され、に簡単に再接続できるようになりました。 WorkSpace接続の詳細なヘルスチェックを改善安定性を改善

リリース	日付	変更
1.0.8		<ul style="list-style-type: none"> フルファイルインストールパッケージを導入 ネットワーク接続チェックを改善 バージョン情報を [バージョン情報] ウィンドウに追加
1.0		初回リリース

PCoIP ゼロクライアント

で PCoIP ゼロクライアントデバイスをセットアップして使用できます WorkSpaces。

要件

で PCoIP ゼロクライアントを使用するには WorkSpaces、以下が必要です。

- PCoIP ゼロクライアントは、PCoIP プロトコル WorkSpaces を使用している とのみ互換性があります。
- Tera2 ゼロクライアントデバイスには、ファームウェアバージョン 6.0.0 以降が必要です。Tera2 ゼロクライアントデバイスのファームウェアバージョンが 4.6.0 ~ 6.0.0 の場合、WorkSpaces 管理者は <https://www.teradici.com/desktop-access> の Desktop Access サブスクリプションを使用してデバイスのファームウェアをアップグレードする必要があります。
- WorkSpaces 多要素認証 (MFA) には、ファームウェアバージョン 6.0.0 以降の Tera2 ゼロクライアントデバイスが必要です。
- WorkSpaces 管理者が USB プリンターやその他の USB 周辺機器を使用するには、ゼロクライアントデバイスを有効にする必要がある場合があります。USB プリンターやその他の USB 周辺機器の使用に問題がある場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。詳細については、「[Amazon 管理ガイド](#)」の「[USB プリンターとその他の USB 周辺機器が PCoIP ゼロクライアントで動作しない](#)」を参照してください。 WorkSpaces

承認された PCoIP ゼロクライアントデバイスのリストについては、Teradici ウェブサイトの「[PCoIP Zero Clients](#)」をご参照ください。

に接続する WorkSpace

ゼロクライアントデバイスにファームウェアバージョン 6.0.0 以降がある場合は、に接続できません WorkSpace。ゼロクライアントデバイスのファームウェアバージョンが 4.6.0 ~ 6.0.0 の場合、WorkSpaces 管理者は <https://www.teradici.com/desktop-access> の Desktop Access サブスクリプションを使用してデバイスのファームウェアをアップグレードする必要があります。

に接続するには WorkSpace

1. PCoIP ゼロクライアントデバイスから、オプション、設定、セッション を選択し、OSD: WorkSpaces セッション設定接続タイプを選択します。
2. 確認 メールに記載されている登録コードを入力します。
3. この登録済み の名前を入力します WorkSpace。
4. [接続] を選択します。

ゼロクライアントから切断する

ゼロクライアントを から切断するには WorkSpace、Ctrl+Alt+F12 を押します。または、 からログオフして WorkSpace、クライアントを切断することもできます。

WorkSpaces ウェブアクセス

ユーザーは、ウェブブラウザを使用して、任意の場所 WorkSpaces から Windows WorkSpaces および WSP Linux にアクセスできます。これは、クライアントアプリケーションのインストールと保守が困難な場合があるため、個人所有のデバイスまたはロックダウン WorkSpaces されたデバイスから にアクセスするユーザーに最適です。従来のリモートアクセスソリューションを使用して適切なクライアントアプリケーションをインストールする代わりに、ユーザーはウェブサイトを経由して職場のリソースにアクセスできます。

制限

- ストリーミング品質とユーザーエクスペリエンスを最大限に高め WorkSpaces するには、WSP で Web Access を使用することを強くお勧めします。PCoIP WorkSpaces で Web Access を使用する場合は次のとおりです。
 - PCoIP によるウェブアクセスは、アジাপシフィック (ムンバイ) AWS GovCloud (US) Regions、アフリカ (ケープタウン)、イスラエル (テルアビブ) ではサポートされていません。

- PCoIP によるウェブアクセスは Windows でのみサポートされ WorkSpaces、Amazon Linux ではサポートされません WorkSpaces。
- ウェブアクセスは、PCoIP プロトコル WorkSpaces を使用している一部の Windows 10 では使用できません。PCoIP WorkSpaces が Windows Server 2019 または 2022 で動作している場合、ウェブアクセスは使用できません。
- ウェブブラウザを使用して GPU 対応 に接続することはできません WorkSpaces。
- VPN で macOS を使用し、Firefox ウェブブラウザを使用している場合、ウェブブラウザは WorkSpaces Web Access を使用した PCoIP ワークスペースのストリーミングをサポートしません。これは Firefox の WebRTC プロトコル実装における制限によるものです。
- 2020 年 10 月 1 日以降、Amazon WorkSpaces Web Access クライアントを使用して Windows 7 カスタム WorkSpaces または Windows 7 Bring Your Own License (BYOL) に接続することはできません WorkSpaces。

内容

- [ウェブサイト](#)
- [要件](#)
- [クライアントビュー](#)
- [プロキシサーバー](#)
- [WSP 用に WorkSpaces 設定された の機能](#)
- [診断ログのアップロードを有効にする](#)

ウェブサイト

[WorkSpaces Web Access](#) を開いて、ウェブブラウザ Workspace から Windows にログオンします。WorkSpaces が がある場合は AWS GovCloud (US) Region、[WorkSpaces ウェブアクセス](#)を開いて に接続します WorkSpaces。


要件

にアクセスするには、Windows 10 デスクトップエクスペリエンスと次のいずれかのバンドル Workspace を実行します。

- 値
- Standard

- Performance
- Power
- PowerPro

ウェブ接続が必要です。

 Note

のウェブアクセス WorkSpaces を使用して WSP に接続できます AWS GovCloud (US) Region。Web Access 経由での PCoIP WorkSpaces への接続は、ではサポートされていません AWS GovCloud (US) Region。

管理者は WorkSpaces Web Access を有効にする必要があります。詳細については、[「Amazon 管理ガイド」の「Amazon WorkSpaces Web Access の有効化と設定」](#)を参照してください。

WorkSpaces

WorkSpaces PCoIP 用に設定された

Windows、macOS、Linux コンピュータで、次のいずれかのウェブブラウザ実行している必要があります。

- Google Chrome 55 以降
- Firefox 52 以降

WorkSpaces WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) 用に設定

Windows、macOS、Linux コンピュータで、次のいずれかのウェブブラウザ実行している必要があります。

- Microsoft Edge (最新の 3 つのメジャーバージョン)
- Google Chrome (最新の 3 つのメジャーバージョン)
- Mozilla Firefox (最新の 3 つのメジャーバージョン)
- macOS 版 Apple Safari (最新の 3 つのメジャーバージョン)

クライアントビュー

WorkSpaces Web Access は複数の画面解像度をサポートしています。サポートされる最小解像度は 960x720 ピクセルで、サポートされる最大解像度は 2560x1600 ピクセルです。

WSP 用に WorkSpaces 設定された のみが、複数のモニターをサポートします。詳細については、「[複数画面の使用](#)」を参照してください。

プロキシサーバー

プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセスする必要がある場合は、プロキシサーバーを使用するようにブラウザを設定できます。

制限

- 認証を伴うプロキシは現在サポートされていません。
- ウェブアクセスのプロキシサーバーのサポートはブラウザによって異なる場合があります。Chrome (バージョン 55 以降) は、ウェブプロキシ経由でルーティングされるウェブアクセストラフィックをサポートしますが、現在の Firefox はサポートしていません。
- WorkSpaces WSP 用に設定された は、ウェブブラウザのプロキシ設定を使用します。

WSP 用に WorkSpaces 設定された の機能

次の機能は、WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) 用に WorkSpaces 設定された のみに適用されます。

コピーと貼り付け

ウェブブラウザクライアントを使用して、ローカルコンピュータと WorkSpaces セッション間でテキストとイメージをコピーして貼り付けることができます。Google Chrome と Microsoft Edge では、キーボードショートカットとコンテキスト (右クリック) メニューを使用してテキストとイメージをコピーして貼り付けます。Mozilla Firefox と Apple Safari では、イメージのコピーと貼り付けをサポートしていません。また、テキストのコピーと貼り付けにはクリップボードダイアログを使用する必要があります。

ウェブカメラの使用

ウェブカメラ機能は、Google Chrome や Microsoft Edge などの Chromium ベースのブラウザでのみサポートされています。Mozilla Firefox ではサポートされていません。

使用するカメラを選択する手順は、サポートされているすべてのウェブブラウザで同じです。

使用するウェブカメラを選択する方法

1. クライアントで、[Workspaces Name] (Workspaces 名) メニューを選択し、[Preferences] (設定) を選択します。
2. [Camera] (カメラ) タブを選択し、使用するカメラを選択します。
3. [Preferences] (設定) モーダルを閉じます。

次の点に注意してください。

- [Camera] (カメラ) メニューの項目は、管理者がセッションでのウェブカメラの使用を許可している場合にのみ表示されます。
- ウェブカメラの使用中は、ウェブカメラの選択を変更することはできません。


セッションでウェブカメラを使用する

セッションで使用するウェブカメラを有効または無効にするには、次の例に示すように、クライアントでウェブカメラボタンを選択します。ウェブカメラボタンは、ユーザーがウェブカメラの使用を許可されていて、少なくとも1つのウェブカメラがローカルコンピュータに接続されている場合にのみツールバーに表示されます。



次の表に、ウェブカメラの各状態を示します。

アイコン	説明
	ウェブカメラは無効になっています。このボタンを選択すると、ウェブカメラは有効になります。使用するウェブカメラを事前に選択していない場合は、デフォルトのウェブカメラが使用されます。
	ウェブカメラは有効になっていますが、使用されていません。このボタンを選択すると、ウェブカメラは無効になります。

アイコン	説明
	ウェブカメラは、WorkSpaces セッション内のリモートアプリケーションで使用されています。このアイコンを選択すると、ウェブカメラは無効になります。

複数画面の使用

複数の画面を使用するには、次の例に示すように、クライアントでマルチスクリーンボタンを選択します。複数の画面は、最大 2 台のモニターでサポートされます。



診断ログのアップロードを有効にする

WorkSpaces クライアントの問題をトラブルシューティングするには、診断ログ記録を有効にします。デバイスと AWS ネットワークへの接続に関する詳細情報 WorkSpaces を含めるために送信されるログファイル。WorkSpace ストリーミングセッション前またはストリーミングセッション中に診断ログのアップロードを有効にして、これらのファイルを自動的に WorkSpaces クライアントに送信できます。

ログファイルを送信するには

1. Amazon WorkSpaces Web Access クライアントを開きます。
2. WorkSpaces サインインページの上で、診断ログ を選択します。
3. ダイアログボックスで、[診断ログ] が有効になっていることを確認します。
4. (オプション) デバッグレベルの詳細と、詳細なパフォーマンスデータを生成するには、[高度なログ記録] を選択します。

WorkSpaces Windows クライアントアプリケーション

以下の情報は、WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションの使用を開始するのに役立ちます。

内容

- [要件](#)
- [セットアップとインストール](#)
- [クライアントのバージョンを確認する](#)
- [に接続する WorkSpace](#)
- [ログイン情報を管理する \(3.0 以上のクライアントのみ\)](#)
- [クライアントビュー](#)
- [クライアントの言語](#)
- [ディスプレイのサポート](#)
- [プロキシサーバー](#)
- [コマンドショートカット](#)
- [切断](#)
- [クリップボードのサポート](#)
- [ハードウェアアクセラレーションを管理する](#)
- [診断ログのアップロード](#)
- [リリースノート](#)

要件

- 4.x 以降のバージョンのクライアントには、64 ビット版の Microsoft Windows 8.1、Windows 10、Windows 11 のいずれかが必要です。
- 3.x クライアントには、32 ビット版の Microsoft Windows 7、Windows 8、Windows 10 のいずれかが必要です。

Note

WSP WorkSpaces は Windows クライアントバージョン 5.1.0.329 以降でのみサポートされています。

セットアップとインストール

インストールされているクライアントのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

をインストールするには	この操作を行います
5.x クライアント	Amazon WorkSpaces Client Downloads を開き、WorkSpaces Windows クライアントを見つけます。[Get the latest 64 bit client] (最新の64bitクライアントを入手する)で、[Download](ダウンロード) ボタンを選択します。
4.x クライアント	以前のバージョン を開ける WorkSpaces Windows クライアントバージョンを検索し、ダウンロードボタンを選択します。
3.x クライアント	Amazon WorkSpaces Client Downloads を開き、WorkSpaces Windows クライアントを見つけます。[Get the latest 32 bit client](最新の32 bitクライアントを入手する) で、[Download] (ダウンロード) ボタンを選択します。

Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションをインストールするには、次の2つの方法があります。

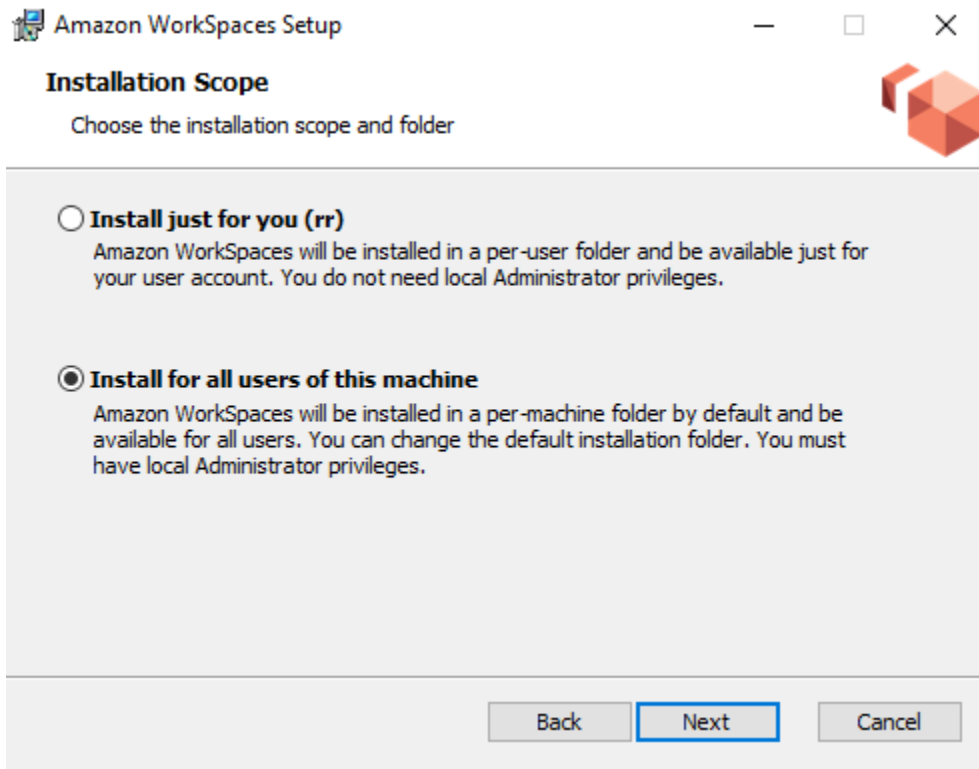
- 個人用にインストール。このオプションを選択し、ローカルマシンを他のユーザーと共有する場合、WorkSpaces クライアントアプリケーションはユーザーのみが使用できます。マシン上の他のユーザーも WorkSpaces クライアントアプリケーションを使用したい場合は、独自の使用のためにアプリケーションをインストールする必要があります。
- このマシンのすべてのユーザー用にインストール。このオプションを選択すると、ゲストアカウントを含むローカルマシンにログオンするすべてのユーザーが WorkSpaces クライアントアプリケーションを使用できます。

すべてのユーザーに WorkSpaces クライアントアプリケーションをインストールするには、ローカルマシンに対する管理者権限が必要です。ローカルマシンの設定方法によっては、そのような権限がユーザーにない場合があります。その場合、WorkSpaces クライアントアプリケーションはお客様だけがインストールできます。どのオプションを選択するかについて質問がある場合は、WorkSpaces 管理者にガイダンスを求めてください。

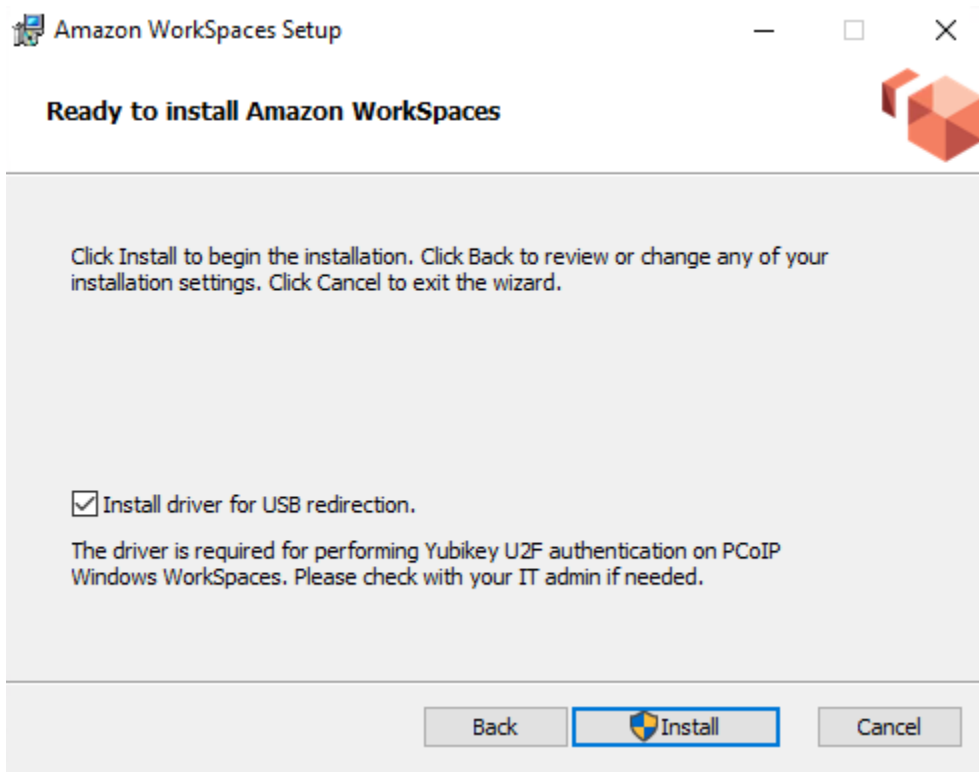
クライアント 4.0 バージョン以降をインストールする場合は、Yubikey の U2F リダイレクトサポートといった機能の USB リダイレクトドライバーをインストールするオプションがあります。以下の手順に従って USB リダイレクトドライバーをインストールします。

USB リダイレクトドライバーをインストールするには

1. Amazon WorkSpaces Setup ページで、このマシンのすべてのユーザーにインストールを選択します。[次へ] をクリックします。



2. [Install driver for USB redirection] (USBリダイレクト用ドライバーをインストールする) を選択して、USBリダイレクトの機能を有効にします (デフォルト設定では選択されていません)。[Install] (インストール) を選択します。ドライバーをインストールするには管理者権限が必要です。



3. PCoIP USB リダイレクト機能のあるクライアントをインストールするには、昇格されたコマンドプロンプトで次のコマンドを入力して実行します。

```
msiexec.exe /i "[path to msi]" /qn INSTALL_USB="1" ALLUSERS="1"
```

PCoIP USB リダイレクト機能のないクライアントをインストールするには、昇格されたコマンドプロンプトで次のコマンドを入力して実行します。

```
msiexec.exe /i "[path to msi]" /qn ALLUSERS="1"
```

WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新できない場合は、次の手順を使用してクライアントアプリケーションを更新します。

WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新するには

1. ローカルマシンで、Windows の検索ボックスを開き、「**registry editor**」と入力してレジストリエディタ (regedit.exe) を開きます。
2. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と尋ねられたら、[はい] を選択します。

3. レジストリエディタで、次のレジストリエントリに移動します。

```
Computer\HKEY_CURRENT_USER\Software\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces
\WinSparkle
```

4. SkipThisバージョンレジストリキーを削除します。削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] を選択し、レジストリエディタを閉じます。
5. WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションで登録コードをまだ入力していない場合は、登録コードを入力してから、Amazon WorkSpacesを選択し、Amazon を終了 WorkSpacesしてクライアントアプリケーションを閉じます。
6. WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを再起動します。クライアントを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。更新を承諾します。

クライアントのバージョンを確認する

使用している WorkSpaces クライアントのバージョンを確認するには、Amazon WorkSpaces、Amazon について WorkSpacesを選択するか、右上隅にある歯車アイコンをクリックして、Amazon について WorkSpacesを選択します。

に接続する Workspace

に接続するには Workspace、次の手順を実行します。

3.0 以降のクライアントで に接続する Workspaceには

1. クライアントアプリケーションを初めて実行すると、登録コードが求められます。これは招待 E メールに含まれています。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、登録コードとユーザー名を使用して、接続 Workspace 先を特定します。クライアントアプリケーションを後で起動すると、同じ登録コードが使用されます。別の登録コードを入力するには、クライアントアプリケーションを起動し、ログインページの下部にある [Change Registration Code] (登録コードを変更) を選択します。
2. ログイン画面でサインイン認証情報を入力し、[Sign In] (サインイン) を選択します。WorkSpaces 管理者が組織の に対して多要素認証を有効にしている場合 WorkSpaces、ログインを完了するパスコードの入力を求められます。WorkSpaces 管理者は、パスコードの取得方法に関する詳細情報を提供します。
3. WorkSpaces 管理者が「ログインしたままにする」機能を無効にしていない場合は、ログイン画面の下部にある「ログインしたままにする」チェックボックスを選択して認証情報を安全に保存

し、クライアントアプリケーションの実行中に WorkSpace 簡単に接続できるようにします。認証情報は、ユーザーの Kerberos チケットの最大有効期間が終了するまで安全にキャッシュに保存されます。

クライアントアプリケーションが に接続すると WorkSpace、 WorkSpace デスクトップが表示されます。

インターネット接続が停止すると、現行のセッションは切断されます。これはノートパソコンの蓋を閉じた場合やワイヤレスネットワーク接続の喪失から発生する場合があります。Windows の WorkSpaces クライアントアプリケーションは、ネットワーク接続が一定時間内に回復すると、セッションの自動再接続を試みます。デフォルトのセッション再開タイムアウトは 20 分ですが、このタイムアウトはネットワーク管理者が変更できます。

ログイン情報を管理する (3.0 以上のクライアントのみ)

登録コードと が属するリージョンを確認できます WorkSpace。WorkSpaces クライアントアプリケーションに現在の登録コードを保存するかどうかを指定し、 に名前を割り当てることができます WorkSpace。また、終了するか、ログイン期間が終了 WorkSpace するまで Amazon WorkSpaces が にログインしたままにするかどうかを指定することもできます。

のログイン情報を管理するには WorkSpace

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「設定」、「ログイン情報の管理」に移動します。
2. ログイン情報の管理ダイアログボックスで、 の登録コードとリージョン情報を確認できます WorkSpace。
3. (オプション) WorkSpaces クライアントに現在の登録コードを記憶させる場合は、登録コードを覚えておくチェックボックスをオンにします。
4. 保存済み登録コード で、名前 WorkSpace を付ける を選択します。
5. WorkSpace 名前ボックスに、 の名前を入力します WorkSpace。
6. (オプション) 終了するか WorkSpaces、ログイン期間が終了するまでログインしたままにする場合は、「ログインしたまま」チェックボックスをオンにします。
7. [Save] (保存) を選択します。

クライアントビュー

クライアントアプリケーションメニューで「表示」、「全画面表示」(3.0以上のクライアント)を選択して、全画面表示モードに切り替えることができます。

全画面表示モードからウィンドウモードに戻るには、画面の上部にポインターを移動します。クライアントアプリケーションメニューが表示され、クライアントアプリケーションメニューでの表示、全画面表示(3.0以上のクライアント)を選択できます。

Ctrl+Alt+Enter キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。

クライアントの言語

次の手順を実行することによって、クライアントで表示される言語を選択できます。

Note

WorkSpaces クライアントアプリケーションは日本語をサポートしています。ただし、日本語 WorkSpacesはアジアパシフィック (東京) リージョンでのみ利用できます。

クライアントの言語を選択するには

1. 使用しているクライアントに応じて、以下のいずれかを実行します。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「設定」、「言語の変更」に移動します。

2. [言語の選択] リストで目的の言語を入力し、[保存] を選択します。
3. クライアントを再起動します。

ディスプレイのサポート

WorkSpaces Value、Standard、Performance、Power PowerPro、Graphics.g4dn、GraphicsPro.g4dn、および GraphicsPro バンドルは、最大 4 つのディスプレイと最大解像度

3840x2160 (超高解像度、または UHD) をサポートします。サポートされる最大解像度は、次の表に示すとおり、ディスプレイの数によって異なります。

ディスプレイ	解像度
2	3840x2160
4	1920x1200

Note

- 表示を拡張できるのはのみです。表示を複製することはできません。ディスプレイを複製すると、セッションが切断されます。
- Graphics バンドルがサポートするのは、モニター 1 台のみの構成で、最大解像度は 2560x1600 です。

WorkSpaces クライアントアプリケーションは、アタッチされたすべてのディスプレイの拡張ディスプレイ情報データ (EDID) を抽出し、セッションを開始する前に最適な互換性の一致を判断します。高ピクセル密度 (高 DPI) ディスプレイを使用している場合、クライアントアプリケーションはローカルの DPI 設定に従ってストリーミングウィンドウを自動的にスケーリングします。高 DPI ディスプレイのより適した最大解像度については、[WorkSpaces の高 DPI ディスプレイのサポート](#) を参照してください。

で複数のモニターを使用するには WorkSpaces

1. マルチモニターを使用するようにローカルマシンを設定します。詳細については、Microsoft のドキュメントの「[Windows 10 で複数のモニターを使用する方法](#)」をご参照ください。
2. WorkSpaces クライアントアプリケーションを起動し、にログインします Workspace。
3. 使用しているクライアントに応じて、次のいずれかの操作を行います。

使用しているクライアント	操作
3.0 以降のクライアント	[表示]、[すべてのディスプレイで全画面表示にする] の順に選択します。Ctrl+Alt+Enter

使用しているクライアント	操作
	キーを押して、全画面表示モードを切り替えることもできます。

これで、**が**ディスプレイ全体に拡張される WorkSpace はずです。プライマリディスプレイとして指定したディスプレイは、全画面表示モード WorkSpaces になったときの のプライマリディスプレイでもあります。

Note

マルチモニター設定で一部のディスプレイのみを全画面表示モードにすることはできません。ただし、Windows ロゴキー + 上矢印を押すか、WorkSpaces ウィンドウの右上隅にある最大化ボタンを使用して、**を**他のディスプレイ WorkSpace に拡張せずに、ディスプレイ上の WorkSpaces クライアントウィンドウを最大化できます。

プロキシサーバー

ネットワークでインターネットにアクセスするためにプロキシサーバーを使用する必要がある場合は、WorkSpaces クライアントアプリケーションが HTTPS (ポート 443) トラフィックにプロキシを使用できるようにすることができます。WorkSpaces クライアントアプリケーションは、更新、登録、認証に HTTPS ポートを使用します。

Note

- **への**デスクトップストリーミング接続 WorkSpace では、ポート 4172 および 4195 を有効にする必要があり、プロキシサーバーを経由しません。
- サインイン認証情報を使用した認証を必要とするプロキシサーバーはサポートされていません。

3.0 以降のクライアントのプロキシサーバーを制御するには

3.0 以降の Windows クライアントのデフォルトでは、デバイスのオペレーティングシステム設定で指定されたプロキシサーバーが使用されます。クライアントが初めて起動されると、デバイスのオペレーティングシステムのプロキシサーバー設定が使用されます。プロキシサーバーに対して別のオペ

ションを選択した場合、その設定がクライアントのその後の起動に使用されます。プロキシサーバーがオペレーティングシステムレベルと WorkSpaces クライアントの両方で指定されている場合、クライアント設定が使用されます。

Windows クライアントのバージョン 3.0.12 以降では、プロキシサーバーを使用しないことを選択することもできます。

Note

バージョン 3.0.0 から 3.0.11 でカスタムプロキシサーバーを指定すると、にログインしようとする「ネットワークなし」というエラーが表示されることがあります WorkSpace。Windows クライアントでカスタムプロキシサーバーをご使用になる場合は、最新バージョンのクライアントにアップグレードすることをお勧めします。

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションで、設定、プロキシサーバーの管理に移動します。
2. [Set Proxy] (プロキシを設定) ダイアログボックスで、使用している 3.0 以降のクライアントのバージョンに応じて、適切なオプションを選択します。

- Windows クライアントバージョン 3.1.3 以降 — プロキシサーバーの使用を無効にするには、[Don't use proxy server] (プロキシサーバーを使用しない) を選択します。[Don't use proxy server] (プロキシサーバーを使用しない) を選択すると、インターネットにアクセスするときにプロキシサーバーは使用されません。

プロキシサーバーを使用するには、次のいずれかのオプションを選択し、[Save] (保存) を選択します。

- デバイスのオペレーティングシステム設定を使用する — このオプションは、オペレーティングシステムのプロキシサーバー設定を使用します。
- プロキシサーバーのカスタマイズ WorkSpaces — カスタムプロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力します。
- Windows クライアントバージョン 3.0.12、3.1.0、および 3.1.2 — プロキシサーバーの使用を有効または無効にするには、[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択または選択解除します。[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) の選択を解除すると、インターネットにアクセスするときにプロキシサーバーは使用されません。

[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択している場合は、次のいずれかのオプションを選択し、[Save] (保存) を選択します。

- デバイスのオペレーティングシステム設定を使用する — このオプションは、オペレーティングシステムのプロキシサーバー設定を使用します。
- プロキシサーバーのカスタマイズ WorkSpaces — カスタムプロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力します。
- Windows クライアントバージョン 3.0.11 以前 — デフォルトでは、これらのバージョンのクライアントでは、デバイスのオペレーティングシステムの設定で指定されたプロキシサーバーが使用されます。カスタムプロキシサーバーを使用するには、[Use proxy server] (プロキシサーバーを使用) を選択し、プロキシサーバーの URL または IP アドレスとポートを入力して、[Save] (保存) を選択します。

コマンドショートカット

WorkSpaces Windows クライアントは、次のコマンドショートカットをサポートしています。

- Ctrl+Alt+Enter — 全画面表示の切り替え
- Ctrl+Alt+F12 — セッションを切断する

切断

Windows クライアントアプリケーションを切断するには、いくつかのオプションがあります。

- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpacesに移動し、切断 Workspace を選択します。Workspace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションの実行は継続されます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、Amazon WorkSpacesに移動し、Amazon を終了する WorkSpaces を選択します。Workspace セッションが終了し、クライアントアプリケーションが閉じます。
- Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、右上隅の閉じる (X) ボタンをクリックして WorkSpaces クライアントウィンドウを閉じます。[セッションの終了] ダイアログボックスで、[はい] を選択します。Workspace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションの実行は継続されます。
- からログオフすることもできます Workspace。Amazon WorkSpaces クライアントアプリケーションで、「」を表示に移動し、「Ctrl+Alt+Delete」を選択します。[サインアウト] を選択します。Workspace セッションは終了しますが、再度ログインする場合に備えて、クライアントアプリケーションは実行し続けます。

クリップボードのサポート

クリップボードは、20 MB の非圧縮オブジェクトの最大サイズをサポートします。詳細については、「[the section called “コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました”](#)」を参照してください。

Note

Microsoft Office アプリからコピーする場合、クリップボードには最後にコピーしたアイテムのみが含まれ、アイテムは標準形式に変換されます。890 KB を超えるコンテンツを Microsoft Office アプリからコピーすると、アプリの動作が遅くなるか、最長 5 秒間応答しなくなる可能性があります。

ハードウェアアクセラレーションを管理する

バージョン 3.1.4 以降、Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを使用しているとき、ハードウェアアクセラレーションはデフォルトで無効になっています。

Note

バージョン 3.1.4 へのアップグレードを予定していて、[このセクションの後半で説明する手順](#)により、バージョン 3.1.3 以前で使用していたハードウェアアクセラレーションを無効にした場合は、DisableHWAceeleration レジストリキーを 0 に設定し、Windows のハードウェアアクセラレーションを再度有効にする必要があります。その後、WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.4 以降にアップグレードできます。

Windows クライアントでは、ハードウェアアクセラレーションを無効のままにしておくことをお勧めします。ただし、クライアントの使用時に CPU 使用率が高い、またはパフォーマンスが低下する場合は、クライアントのハードウェアアクセラレーションを有効にすることができます。

Note

Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にすると、いくつかのビデオドライバーのバージョンでは、次の問題が発生する可能性があります。

- 画面の一部で、黒いボックスがちらつくことがある。

- ログインページで画面が正しく更新されないか、WorkSpaces にログインした後に画面が正しく更新されない可能性があります WorkSpace。画面にアーティファクトが表示されることがある。
- マウスのクリックが、画面上のカーソル位置からずれることがある。

バージョン 3.1.5 以降の Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にするには

1. [設定]、[ハードウェアアクセラレーションの管理] の順にクリックします。
2. 「ハードウェアアクセラレーションの管理」ダイアログボックスで、「Amazon のハードウェアアクセラレーションを有効にする WorkSpaces」を選択し、「保存」を選択します。
3. この変更を有効にするには、Amazon WorkSpaces を選択し、Amazon を終了 WorkSpaces して Windows クライアントアプリケーションを閉じます。
4. WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを再起動します。これで、ハードウェアアクセラレーションが有効になります。

Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にした後、前述の画面とマウスの問題が発生した場合は、Amazon のハードウェアアクセラレーションを有効にする WorkSpaces チェックボックスをオフにしてハードウェアアクセラレーションを無効にし、Windows クライアントアプリケーションを再起動します。

WorkSpaces 管理者は、コマンドプロンプトまたは PowerShell ウィンドウで次のコマンドを使用して、WorkSpaces Windows クライアントのバージョン 3.1.4 以降のハードウェアアクセラレーションを有効にできます。

1. 次のコマンドを使用して、EnableHwAcc レジストリキーを確認します。

```
reg query "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc
```

2. 次のコマンドを使用して、EnableHwAcc レジストリキーを追加します。

```
reg add "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc
```

このレジストリ設定は、WorkSpaces Windows クライアントを閉じて再起動した後に有効になります。

必要に応じて、次のコマンドを使用して EnableHwAcc レジストリキーを削除します。

```
reg delete "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc /f
```

このレジストリ設定は、WorkSpaces Windows クライアントを閉じて再起動した後に有効になります。

バージョン 3.1.4 の Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にするには

1. Windows コンピュータ (ではなく WorkSpace) で Windows 検索ボックスを開き、**registry editor**を入力してレジストリエディタ () を開きますregedit.exe。[Run as administrator] (管理者として実行) を選択します。(管理者としてレジストリエディタを実行するアクセス権限がない場合は、システム管理者にお問い合わせください)。
2. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と尋ねられたら、[はい] を選択します。
3. レジストリエディタで、次のレジストリエントリに移動します。

HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces

4. Amazon WorkSpaces を選択し、編集 > 新規 > 文字列値 を選択します。
5. レジストリキーの名前として **EnableHwAcc** を入力します。
6. レジストリエディタを閉じます。
7. WorkSpaces クライアントアプリケーションを閉じて再起動します。

Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを有効にした後、前述の画面とマウスの問題が発生した場合は、EnableHwAcc レジストリキーを削除してハードウェアアクセラレーションを無効にし、Windows クライアントアプリケーションを再起動します。

WorkSpaces 管理者は、コマンドプロンプトまたは PowerShell ウィンドウで次のコマンドを使用して、WorkSpaces Windows クライアントのバージョン 3.1.4 以降のハードウェアアクセラレーションを有効にできます。

1. 次のコマンドを使用して、EnableHwAcc レジストリキーを確認します。

```
reg query "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc
```

2. 次のコマンドを使用して、EnableHwAcc レジストリキーを追加します。

```
reg add "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc
```

このレジストリ設定は、WorkSpaces Windows クライアントを閉じて再起動した後に有効になります。

必要に応じて、次のコマンドを使用して EnableHwAcc レジストリキーを削除します。

```
reg delete "HKCU\SOFTWARE\Amazon Web Services. LLC\Amazon WorkSpaces" /v EnableHwAcc /f
```

このレジストリ設定は、WorkSpaces Windows クライアントを閉じて再起動した後に有効になります。

バージョン 3.1.3 以前の Windows クライアントでハードウェアアクセラレーションを無効にするには

バージョン 3.1.3 以前の Windows クライアントアプリケーションを使用する必要がある場合は、Windows レジストリから Windows のハードウェアアクセラレーションを無効にできません。Windows のハードウェアアクセラレーションを無効にすると、他の Windows アプリケーションのパフォーマンスに影響する場合があります。

1. Windows コンピュータ (ではなく Workspace) で Windows 検索ボックスを開き、**registry editor**を入力してレジストリエディタ () を開きますregedit.exe。[Run as administrator] (管理者として実行) を選択します。(管理者としてレジストリエディタを実行するアクセス権限がない場合は、システム管理者にお問い合わせください)。
2. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」と尋ねられたら、[はい] を選択します。
3. レジストリエディタで、次のレジストリエントリに移動します。

HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\Microsoft\Avalon.Graphics

4. 次のいずれかを行ってください。
 - DisableHwAcceleration レジストリキーが存在する場合は、そのキーを選択し、[Edit] (編集) > [Modify] (変更) を選択します。[Value data] (値のデータ) ボックスに (ハードウェアアクセラレーションを無効にするために) **1** と入力し、[OK] を選択します。
 - DisableHwAcceleration レジストリキーが存在しない場合は、次の操作を行います。

- a. [Avalon.Graphics] を選択し、[Edit] (編集) > [New] (新規) > [DWORD (32-bit) Value] (DWORD (32 ビット) 値) を選択します。
 - b. レジストリキーの名前として **DisableHWAacceleration** を入力します。
 - c. 新しい DisableHWAacceleration キーを選択し、[Edit] (編集) > [Modify] (変更) を選択します。
 - d. [Value data] (値のデータ) ボックスに (ハードウェアアクセラレーションを無効にするために) **1** と入力し、[Base] を [Hexadecimal] に設定して、[OK] を選択します。
5. レジストリエディタを閉じます。
 6. WorkSpaces クライアントアプリケーションを閉じて再起動します。

Note

他の Windows アプリケーションのパフォーマンスを改善するためにハードウェアアクセラレーションを有効にする必要がある場合は、DisableHWAacceleration キーを **0** に設定します。

診断ログのアップロード

診断ログのアップロードを有効にする

WorkSpaces クライアントの問題をトラブルシューティングするには、診断ログ記録を有効にします。デバイスと AWS ネットワークへの接続に関する詳細情報 WorkSpaces を含めるために送信されるログファイル。Workspace ストリーミングセッション前またはストリーミングセッション中に診断ログのアップロードを有効にして、これらのファイルを自動的に送信 WorkSpaces できます。

ログファイルを送信するには

Note

WorkSpaces ストリーミングセッションの前と最中にログファイルを送信できます。

1. Amazon WorkSpaces クライアントを開きます。

2. WorkSpaces サインインページの上で、**診断ログ設定の管理** を選択します。
3. ポップアップダイアログボックスで、Amazon の**診断ログ記録**を有効にする WorkSpaces を選択し、**保存** をクリックします。

Important

AWS サポートに問題を報告する際は、問題が発生しているクライアントのデバイス ID を必ず追跡してください。このデバイス ID は、診断ログメニューの WorkSpaces クライアントナビゲーションバーにあり、サポートチームが特定のデバイスに関連付けられたログを識別するのに役立ちます。当該の問題に関して作成するチケットには、必ずデバイス ID を含めてください。

リリースノート

Windows クライアントアプリケーションの各リリースの変更点を次の表に示します。一般的なセキュリティのベストプラクティスとして、関連するパッチが利用可能になり、最新の更新を取得できるようになったら、クライアントソフトウェア WorkSpaces を更新することをお勧めします。サポートされているすべての WorkSpaces クライアントバージョンの詳細については、[WorkSpaces 「クライアントアプリケーションのサポート終了ポリシー」](#) を参照してください。

リリース	日付	変更
5.19.3	2024 年 4 月 30 日	<ul style="list-style-type: none">• WSP SDK を更新しました。• で複数のモニターを使用して全画面表示をクリックすると WorkSpaces、すべてのディスプレイに白画面が表示される問題を修正しました。• ユーザーが WSP に接続する WorkSpaces ときに WSP からすぐに切断される問題を修正しました。• 言語を切り替えるときにデバイスダイアログボックスに正しいローカライズ言語が表示されない問題を修正しました。
5.19.0	2024 年 2 月 28 日	<ul style="list-style-type: none">• WSP SDK を更新しました。

リリース	日付	変更
		<ul style="list-style-type: none">セッション内認証 WebAuthn のサポートが追加されました。
5.18.0	2024 年 1 月 22 日	WSP SDK を更新しました。
5.17.0	2023 年 11 月 16 日	<ul style="list-style-type: none">PCoIP WorkSpaces の USB リダイレクトの問題を修正しました。ユーザーが実行モードを変更するとクライアントがクラッシュする問題を修正しました。WSP クライアントのプリンターリダイレクトに関連するクライアントのクラッシュを修正しました。バグの修正と機能強化。
5.16.0	2023 年 10 月 26 日	<ul style="list-style-type: none">インストールガイドを追加しました。USB リダイレクトが有効になっている 4.0.6 以降のバージョンクライアントのユーザーは、アップグレードする前に古いクライアントをアンインストールする必要があります管理者のみがカスタムインストールフォルダを変更するアクセス許可を持つという制限を追加しましたWSP SDK を更新しました
5.15.1	2023 年 9 月 20 日	<ul style="list-style-type: none">WSP のネットワーク問題の回復性を追加 WorkSpacesWSP SDK を更新しましたバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
5.13.0	2023 年 8 月 29 日	<ul style="list-style-type: none">• PCoIP SDK と WSP SDK が更新されました• ログインページの特殊文字処理に関する問題を解決しました• クライアントアプリケーションの右上にある Network ダイアログを閉じるとクラッシュする問題を解決しました• サポートメニューの下に Amazon WorkSpaces ユーザーガイドへのリンクを追加しました
5.12.1	2023 年 8 月 16 日	バグの修正と機能強化
5.12.0	2023 年 7 月 11 日	バグの修正と機能強化
5.11.0	2023 年 7 月 3 日	<ul style="list-style-type: none">• バグの修正と機能強化• ストリーミングセッション中にクライアントメニューにアクセスするためのキーボードショートカットとして、Ctrl + Alt + Shift + F11 を追加しました• オペレーティングシステムのテキストサイズが 200% に設定されていると、クライアントのログインページでテキストの一部が表示されなくなる問題を修正しました• 複数のデバイスをリダイレクトできる場合に、ダイアログボックスのキーボードフォーカスが、すべてのデバイス間で切り替わらないバグを修正しました。• 色のコントラストと要素名へのアクセシビリティを段階的に強化しました。

リリース	日付	変更
5.10.0	2023 年 6 月 19 日	<ul style="list-style-type: none">• プロビジョニングされたリージョンと同じ AWS リージョンにアセットを保存することで、クライアントのカスタムブランドを改善 WorkSpaces• Ubuntu で複数のモニターを使用する場合の ブラックスクリーンの問題を解決しました WorkSpaces• プロキシサーバー経由で に接続する WorkSpaces ときにプロキシ設定が保持されないクライアント診断ログのアップロードの問題を修正しました。• エンドユーザーが WSP WorkSpaces エクスperiエンスをカスタマイズできるようにする NICE DCV 拡張機能 SDK のサポートを追加
5.9.0	2023 年 5 月 9 日	<ul style="list-style-type: none">• SAML 認証情報 WorkSpaces を使用して にログインするときに、ログイン情報の管理ダイアログに「ログインしたまま」オプションを表示する問題を解決しました。• プロキシサーバーが有効になっている WorkSpaces ときにユーザーがログインできない問題を解決しました。• Tab キーを使用してメニュー項目を移動するときのキーボードフォーカスの問題を解決しました• WSP で QUIC を使用する場合の接続の問題を修正するために WSP SDK を更新しました WorkSpaces

リリース	日付	変更
5.8.0	2023 年 4 月 6 日	<ul style="list-style-type: none">特定のシナリオでユーザーがログインできないバグを修正しました。スマートカードログオン中に証明書の選択ダイアログが前面に表示されるバグを修正しました軽微なバグを修正するために WSPv2 SDK を更新しました
5.7.0	2023 年 2 月 23 日	<ul style="list-style-type: none">サインイン認証情報の先頭または末尾の許可リストのトリミングを有効にしました。登録コードが空であるためにクラッシュする問題を解決しました。ログインページやメニューバーなどのユーザーインターフェイスコンポーネントに、十分な色のコントラスト、テキストラベル、および指示を提供しました。
5.6.4	2023 年 2 月 1 日	<ul style="list-style-type: none">サインイン認証情報の検証に関する問題を修正Caps Lock に伴うちらつきの問題を修正
5.6.2	2023 年 1 月 18 日	バグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
5.6.0	2022 年 12 月 27 日	<ul style="list-style-type: none">• SAML 2.0 統合による証明書ベースの認証に対するサポートを追加しました。これにより、Active Directory ドメインパスワードのログオンプロンプトが表示されなくなります。• Alt キーが継続的に押される問題を解決しました WorkSpaces• WorkSpaces とローカルマシンの間で反転された Num Lock 状態の問題を解決しました。• WorkSpaces Windows クライアントの PCoIP SDK を更新しました• バグの修正と機能強化
5.5.0	2022 年 11 月 14 日	<ul style="list-style-type: none">• を切断するためのショートカット Ctrl +Alt +F12 を追加しました WorkSpace• Alt キーをマウスクリックと一緒に使用したときにキーストロークで発生する問題を解決しました
5.4.0	2022 年 10 月 5 日	診断ログの自動アップロード機能のサポートが追加されました。この機能を使用すると、WorkSpaces クライアントの使用を中断することなく WorkSpaces、クライアントログファイルを に直接アップロード WorkSpaces して問題をトラブルシューティングできます。
5.3.0	2022 年 9 月 15 日	<ul style="list-style-type: none">• Windows 用の WSP SDK を更新しました• を閉じた後に WorkSpaces クライアントがユーザー名を保存できない問題を解決しました。 WorkSpace
5.2.1	2022 年 8 月 24 日	Windows 8.1 での WorkSpaces ログインページのレンダリングの問題を修正しました

リリース	日付	変更
5.2.0	2022 年 8 月 2 日	WorkSpaces Windows クライアントの PCoIP SDK を更新しました
5.1.0	2022 年 6 月 30 日	Windows 用の WSP SDK を更新しました
5.0.0	2022 年 6 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> WorkSpaces Windows クライアントの PCoIP SDK を更新しました Microsoft Teams WorkSpaces での画面共有時の問題を解決しました バグの修正と機能強化
4.0.6	2021 年 12 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> PCoIP USB リダイレクトドライバーを強化。ドライバーには重要な更新プログラムが含まれており、すべてのユーザーがインストールすることをお勧めします。 WSP の認証にスマートカードを使用した場合に発生した障害を解決します。 WSP のビデオストリーミングに関連するクラッシュとブラックスクリーンの問題を解決します。 WSP バージョン 1.9.8.18175 へのアップデート
4.0.5	2021 年 11 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> WSP の帯域幅とフレームレートを最適化 WorkSpaces フルスクリーンモードに関連するショートカットマッピングの問題を解決する Alt キーが自動的に押される問題を解決する

リリース	日付	変更
4.0.4	2021 年 11 月 3 日	<ul style="list-style-type: none">物理キーボードの Alt キーを使用して韓国語と英語を切り替えることができない問題を解決するWindows 10 のマウス設定に関連するマウスのスクロールの問題を解決するWSP WorkSpaces をサポートする のビデオストリーミングの改善バグ修正
4.0.3	2021 年 10 月 4 日	<ul style="list-style-type: none">ローカルマシンで 2 バイトのユーザー名 (日本語など) によるクラッシュを解決します。64 ビット Windows 8.1 でのマウススクロールの問題を解決します。バグの修正と機能強化。
4.0.2	2021 年 9 月 1 日	<ul style="list-style-type: none">軽微なバグの修正と機能強化 <div data-bbox="860 1039 1510 1690" style="border: 1px solid #f08080; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"><p>⚠ Important</p><p>クライアントバージョン 4.0 では Windows 8.1 および Windows 10 がサポートされています。Windows 7 または 8 にバージョン 4.0 をインストールしようとするとうエラーが発生します。Windows 7 または Windows 8 を使用している場合は、OS を更新するか、Amazon Client Download ページから最新の 32 ビット WorkSpaces クライアント (v3.x) をダウンロードします。</p></div>

リリース	日付	変更
4.0.1	2021 年 7 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> PCoIP Windows での YubiKey U2F 認証の USB リダイレクトサポートを追加 WorkSpaces 軽微なバグの修正と機能強化
4.0.0	2021 年 6 月 30 日	Windows クライアントアプリケーションの最初の 64 ビットリリース
3.1.10	2021 年 8 月 5 日	軽微なバグの修正と機能強化
3.1.9	2021 年 6 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> このリリースには URI を使用したカスタムログインワークフローの修正が含まれており、すべてのユーザーに推奨されます。 バグの修正と機能強化
3.1.8	2021 年 5 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> [Keep me logged in] (ログイン状態を保つ) が選択されている場合における、切断後の再接続ページのリダイレクトを修正 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.7	2021 年 4 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> WorkSpaces Streaming Protocol (WSP) WorkSpaces を使用したとの接続を改善 プロキシサーバーに関連するクラッシュの問題を解決 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.6	2021 年 4 月 8 日	WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) オーディオトラフィックの最適化による切断とクラッシュの修正

リリース	日付	変更
3.1.5	2021 年 4 月 2 日	<ul style="list-style-type: none">ハードウェアアクセラレーションの有効化および無効化のための設定 UI を追加WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) WorkSpaces を使用して Windows で双方向ビデオウェブカメラのサポートが一般利用可能に軽微なバグの修正と機能強化
3.1.4	2021 年 3 月 16 日	<ul style="list-style-type: none">ハードウェアアクセラレーションをデフォルトで無効にし、特定のバージョンのディスプレイドライバで発生する画面のちらつきやマウスのミスポジションに関する問題に対処。ハードウェアアクセラレーションを手動で有効にするには、HKEY_CURRENT_USER\SOFTWARE\Amazon Web Services でレジストリ文字列値 EnableHwAcc を作成した後、WorkSpaces アプリケーションを再起動できます。LLC\Amazon WorkSpacesユーザーが登録、ログイン、再構築する際に発生する一部のクラッシュの問題を修正UI 要素に対応するローカライゼーションを追加サポート軽微なバグの修正と機能強化
3.1.3	2021 年 2 月 15 日	<ul style="list-style-type: none">一部のアプリで Shift キーを 2 回押す動作が機能しない問題を修正プロキシ構成の設定 UI を改善軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.1.2	2021 年 1 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> • WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) が一般公開されました。ビデオ入力機能は、WSP WorkSpaces でのみベータ機能として引き続き使用できます。 • クライアントアプリケーションのアップグレードに影響する断続的な問題を修正する • ログイン画面が拡大される問題を修正する • 軽微なバグの修正と機能強化
3.1.1	2020 年 12 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> • AWS GovCloud (米国西部) リージョンでのスマートカード認証のサポートを追加 • 軽微なバグの修正と機能強化 <div style="border: 1px solid #00a0e3; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p> Note</p> <p>バージョン 3.1.1 は、AWS GovCloud (米国西部) リージョンでのみ利用可能です。</p> </div>
3.1.0	2020 年 12 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> • アクティブな WorkSpaces セッション内の断続的なちらつきの問題を解決 • 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.12	2020 年 11 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> • オプションで、デフォルトのプロキシサーバーの使用を無効にするサポートを追加する • セッションの再接続エクスペリエンスに機能強化を追加 • WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) のセッション切断中のエラーメッセージを改善 WorkSpaces • WSP の Shift キーに関するキーボードマッピングの問題を修正 WorkSpaces

リリース	日付	変更
3.0.11	2020 年 10 月 2 日	<ul style="list-style-type: none">• WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) でのビデオ入力デバイスの列挙に関する問題を解決 WorkSpaces• WSP から切断する際の断続的なクラッシュの問題を解決します WorkSpace• 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.10	2020 年 9 月 16 日	<ul style="list-style-type: none">• ログイン画面のロードに伴う問題を解決• ユーザーが全画面表示モードを選択してからこのモードを終了したときに、ユーザーの画面サイズ設定が保持される問題を解決• ユーザーが全画面表示モードを終了した後、メニューバーが非表示になる問題を解決• 入力方式エディタ (IME) の問題を解決• ポート 4195 (UDP および TCP) を介したヘルスチェックのサポートを追加
3.0.9	2020 年 8 月 14 日	軽微なバグの修正と機能強化
3.0.8	2020 年 7 月 30 日	<ul style="list-style-type: none">• WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) でのモノクロカーソルのサポートを追加 WorkSpaces• 診断を改善するために、往復時間 (RTT) をネットワークヘルスチェック情報の一部として表示• 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.7	2020 年 6 月 3 日	<ul style="list-style-type: none">• WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) のマルチモニターのサポートを追加 WorkSpaces• 軽微なバグの修正と機能強化

リリース	日付	変更
3.0.6	2020 年 4 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> 高 DPI ディスプレイと標準 DPI ディスプレイの切り替えのサポートを追加 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.5	2020 年 3 月 30 日	Amazon でシングルサインオン (SSO) が有効になっている場合に、ログインプロンプトを表示するユーザーインターフェイスの問題を解決します。 WorkDocs
3.0.4	2020 年 3 月 3 日	軽微なバグの修正と機能強化
3.0.2	2020 年 2 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> 全画面表示を切り替えるためのキーボードショートカットを追加 WorkSpaces ストリーミングプロトコル (WSP) への接続のサポートを追加 WorkSpaces 軽微なバグの修正と機能強化
3.0.0	2019 年 11 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーインターフェイスを改善 わかりやすい登録コードラベル 軽微なバグの修正と機能強化
2.5.11	2019 年 11 月 4 日	軽微なバグを修正
2.5.10		<ul style="list-style-type: none"> ノートパソコンの蓋を閉じたときに送信される無効なキーストロークに関する断続的な問題を解決 軽微な修正
2.5.9		<ul style="list-style-type: none"> WorkSpace クライアントのアップグレード後に Windows 10 タスクバーに空のアプリケーションアイコンイメージを表示する問題を解決 軽微なバグを修正

リリース	日付	変更
2.5.8		ノートパソコンの蓋を開けたときにコンピュータがスリープ状態になることで断続的にクラッシュする問題を解決
2.5.7		<ul style="list-style-type: none"> Linux でのドイツ語キーボードレイアウトのサポートを追加 WorkSpaces クリップボードのリダイレクトに伴って Excel がクラッシュする問題を解決
2.5.6		軽微な修正
2.5.5		軽微な修正
2.5.2		<ul style="list-style-type: none"> Caps Lock キーが正常に機能しなくなる断続的な問題を解決 軽微なバグを修正
2.5.1		<ul style="list-style-type: none"> Amazon Linux 2 WorkSpaces の実行時に定期的にキーが繰り返し押される問題を解決 ユーザーインターフェイスで日時形式のローカライズのサポートを追加 ユーザーインターフェイスの軽微な改善
2.5.0		ユーザーセルフサービス WorkSpace 管理機能のサポートを追加
2.4.10		軽微な修正
2.4.9		軽微な修正
2.4.8		<ul style="list-style-type: none"> ログイン調整を有効にする URI (Uniform Resource Identifier) のサポートを追加 軽微な修正

リリース	日付	変更
2.4.7		<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Surface Pro 4 モデルでユーザーインターフェイスのテキストが正しく表示されない問題を解決 (Windows のみ)• タイムゾーンのリダイレクトをサポートするリージョンを追加: America/Indianapolis America/Indiana/Marengo America/Indiana/Vevay America/Indiana/Indianapolis• ログインページのユーザーインターフェイスのテキスト変更を追加
2.4.6		<ul style="list-style-type: none">• デバッグシナリオ用の詳細なログ記録を含めるようにログ記録レベルを設定するサポートを追加• セッションのプロビジョニング処理の軽微な改善
2.4.5		<p>Amazon Trust Services によって発行された証明書が、インストール時に Windows によって信頼されたことを確認するためのチェックを追加。デフォルトでは、up-to-date Windows ローカルルート CA リストには Starfield Service ルート認証局 - G2 が含まれているため、Amazon Trust Services 証明書が信頼されます。ローカルルート CA リストが期限切れになっている場合、クライアントインストーラは Starfield Service Root Certificate Authority - G2 証明書をシステムにインストールします。クライアントデバイスへの管理者アクセス権がない場合は、ルート CA 証明書のインストールを確認するメッセージが表示されません。</p>
2.4.4		<ul style="list-style-type: none">• 軽微な修正• コピーと貼り付けを改善

リリース	日付	変更
2.4.2		軽微な修正
2.4.0		<ul style="list-style-type: none"> 新しいロゴ ユーザーインターフェイスと安定性を改善
2.3.7		ディスプレイの向きを変えた場合に発生するグレー画面の問題に対処
2.3.6		ローカライズの強化
2.3.5		軽微な改善
2.3.3		<ul style="list-style-type: none"> マルチモニターのサポートを改善 ローカライズの強化 セキュリティとパフォーマンスを改善
2.3.2		インストーラの修正
2.3.1		軽微な修正
2.3.0		<ul style="list-style-type: none"> マルチモニターのサポートを改善 セキュリティと安定性を改善
2.2.3		軽微なバグを解決し、安定性を改善
2.2.1		<ul style="list-style-type: none"> ドイツ語のサポートを追加 一部のリージョンにおけるタイムゾーンのマッピング問題を解決 ロシア語のシステムでの接続問題を解決 日本語ユーザーインターフェイスを改善 安定性を改善
2.1.3		クライアントを閉じると、再接続トークンの有効期限が切れます。クライアントが実行されている WorkSpace 限り、に簡単に再接続できます。

リリース	日付	変更
2.1.1		プロトコル処理の軽微な改善
2.1.0		<ul style="list-style-type: none"> STOPPING と STOPPED の新しい WorkSpace 状態のサポートを追加 軽微なバグを解決し、安定性を改善
2.0.8		<ul style="list-style-type: none"> インストール時に iTunes プロセスまたは Garmin プロセスを実行する場合の競合を解決 現在のユーザー用に限定してインストールする場合、パスワードを使用しないインストールエクスペリエンスのサポートを追加 BIFF5 形式でデータをコピーして貼り付ける際の Excel の書式設定に関する問題を解決 [このアカウントを記憶する] が無効になっている場合、再起動時にユーザー名が表示されない 登録コードの削除時の確認ダイアログボックスを追加 安定性を改善
2.0.6		バグを解決し、その他の機能強化を追加
2.0.4		<ul style="list-style-type: none"> 電話をかけたりウェブ会議に参加したりできるように音声入力のサポートを追加 高 DPI 画面を持つデバイスのサポートを追加 登録コードを保存するためのサポートを追加し、登録コードを再入力 WorkSpaces せずに切り替えることができます Windows 10 のサポートを改善 使いやすさと安定性を改善

リリース	日付	変更
1.1.80		<ul style="list-style-type: none"> セッションレイテンシー、セッション起動時間、セッション切断の CloudWatch メトリクスを追加 ネットワーク状態が低下したときに中断される回数を減らすためにセッションの自動再開を改善 特定の問題を解決し、安定性を改善
1.1.6		<ul style="list-style-type: none"> ステータス通知のサポートを追加。クライアントアプリケーションは、に接続できない場合、の状態 Workspace を通知します Workspace。 再接続エクスペリエンスを改善。クライアントは、非アクティブ状態が 10 時間続くと、ログイン画面に自動的にリダイレクトされます。クライアントが再接続を使用してセッションを開始できなかった場合に、再接続できます。 セッションの自動再開のサポートを追加。ネットワーク接続が失われた後、セッション再開タイムアウト (デフォルト値は 20 分) 以内に回復すると、クライアントアプリケーションは自動的にセッションを再開しようとします。 ネットワークのヘルスチェックを改善し、迅速性と信頼性を向上 クライアント側による登録コードの検証を追加 ローカルデバイスと 間の Caps Lock および Num Lock ステータスの同期を改善 Workspace

リリース	日付	変更
1.1.4		<ul style="list-style-type: none"> 認証情報の保存のサポートが追加され、簡単に再接続できるようになりました。 Workspace 接続の詳細なヘルスチェックを改善 安定性を改善
1.0.8		<ul style="list-style-type: none"> フルファイルインストールパッケージを導入 ネットワーク接続チェックを改善 バージョン情報を [バージョン情報] ウィンドウに追加
1.0		初回リリース

サポートされている WSP 機能

次の表は、WSP WorkSpaces クライアントでサポートされている機能を比較したものです。

Note

Android および iPad クライアントは、現在 WSP ではサポートされていません WorkSpaces。

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	Web Access	メモ
クライアントアクセス制限	✓	✓	✓	✓	デバイスのアクセスコントロール
USB リダイレクト	✗	✗	✗	✗	

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	Web Access	メモ
音声入力	✓	✓	✓	✓	Amazon Linux WSP ではサポートされていません WorkSpaces が、Ubuntu ではサポートされていません WorkSpaces。詳細については、 「Ubuntu の管理 WorkSpaces」 を参照してください。
ビデオ入力	✓	✓	✓	✓	Amazon Linux WSP ではサポートされていません WorkSpaces が、Ubuntu ではサポートされていません WorkSpaces。詳細については、 「Ubuntu の管理 WorkSpaces」 を参照してください。
ストレージのリダイレクト	x	x	x	x	
ローカルプリンターのリダイレクト	✓	✓	✓	x	から印刷する WorkSpaces
クリップボードのリダイレクト	✓	✓	✓	✓	iPad と Android でのコピーと貼り付けは、テキストと HTML コンテンツのみをサポートしています。

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	Web Access	メモ
HIPAA/PCI への準拠	✓	✓	✓	✓	コンプライアンスとセキュリティに関するよくある質問
Active Directory 認証	✓	✓	✓	✓	のディレクトリを管理する WorkSpaces
SAML 2.0	✓	✓	✗	✓	
証明書ベースの認証	✓	✓	✗	✓	
多要素認証 (MFA)	✓	✓	✓	✓	コンプライアンスとセキュリティに関するよくある質問
スマートカード (CAC および PIV リーダー)	✓	✓	✗	✗	WorkSpaces クライアントスマートカードのサポート
アクセスコントロール用の証明書	✓	✓	✓	✗	制限を設定する
保管中の暗号化	✓	✓	✓	✓	暗号化に関するよくある質問
クライアントのカスタマイズが可能	✓	✓	✓	✓	WorkSpaces ブランドをカスタマイズする

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	Web Access	メモ
WebAuthn サポート	✓	✓	✓	✗	WorkSpaces クライアント WebAuthn サポート
モニターのサポート	Windows ディスプレイのサポート	macOS ディスプレイのサポート	Linux ディスプレイのサポート	Web Access クライアントビュー	

サポートされている PCoIP 機能

次の表は、PCoIP WorkSpaces クライアントでサポートされている機能を比較したものです。

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	iPad クライアント	Web Access	Android	メモ
クライアントアクセス制限	✓	✓	✓	✓	✓	✓	デバイスのアクセスコントロール
USB リダイレクト	利用可能 (例外あり)	✗	✗	該当なし	✗	該当なし	WorkSpaces は Windows クライアントの YubiKey リダイレクトのみをサポートします。サポートされているデバイスのリストについては、 WorkSpaces 「クライアント周辺機器のサ

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	iPad クライアント	Web Access	Android	メモ
							ポート 」を参照してください。 YubiKey リダイレクトの詳細については、「 ハードウェアセキュリティキー 」を参照してください。
音声入力	✓	✓	✓	✓	✗	✓	
ビデオ入力	✗	✗	✗	✗	✗	✗	WorkSpaces は WSP でのみビデオ入力をサポートします。
ストレージのリダイレクト	✗	✗	✗	✗	✗	✗	
ローカルプリンターのリダイレクト	✓	✓	✗	✗	✗	✗	から印刷する WorkSpaces

機能	Windows クライ アント	macOS クライ アント	Linux ク ライア ント	iPad ク ライア ント	Web Access	Android	メモ
クリッ プポー ドのリ ダイレ クト	✓	✓	✗	利用可 能 (例外 あり)	✓	利用可 能 (例外 あり)	iPad と Android で のコピーと貼り付 けは、テキストと HTML コンテンツ のみをサポートし ています。
HIPAA/ PCI へ の準拠	✓	✓	✓	✓	✓	✓	コンプライアンス とセキュリティに 関するよくある質 問
Active Directory 認証	✓	✓	✓	✓	✓	✓	のディレクト リを管理する WorkSpaces
SAML 2.0	✓	✓	✗	✗	✗	✗	
証明書 ベース の認証	✗	✗	✗	✗	✗	✗	
多要素 認証 (MFA)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	コンプライアンス とセキュリティに 関するよくある質 問

機能	Windows クライアント	macOS クライアント	Linux クライアント	iPad クライアント	Web Access	Android	メモ
スマートカード (CAC および PIV リーダー)	x	x	x	x	x	x	WorkSpaces クライアントスマートカードのサポート
アクセスコントロール用の証明書	✓	✓	x	x	x	✓	制限を設定する
保管中の暗号化	✓	✓	✓	✓	✓	✓	暗号化に関するよくある質問
クライアントのカスタマイズが可能	✓	✓	✓	✓	✓	✓	WorkSpaces ブランドをカスタマイズする
YubiKey サポート	✓	x	x	x	x	x	YubiKey U2F の USB リダイレクトを有効にする

機能	Windows クライ アント	macOS クライ アント	Linux ク ライア ント	iPad ク ライア ント	Web Access	Android	メモ
モニ ターの サポー ト	Windows ディス プレイ のサポ ート	macOS ディス プレイ のサポ ート	Linux ディス プレイ のサポ ート	該当な し	Web Access クライ アント ビュー	Android クライ アント ビュー	

WorkSpace から印刷する

Amazon WorkSpaces では以下の出力方法がサポートされています。

Note

- iPad、Android、Chromebook、Web Access、および Linux 向けの WorkSpaces クライアントでは、ネットワーク印刷およびクラウド印刷サービスがサポートされています。ローカル印刷は現在、iPad、Android、Chromebook、ウェブアクセス、および Linux クライアントではサポートされていません。
- ローカルプリンターリダイレクトは、そのアクセスに使用されるクライアントに関わらず、Linux WorkSpaces では使用できません。
- PCoIP ゼロクライアントデバイスを使用して WorkSpace に接続していて、USB プリンターやその他の USB 周辺機器の使用に問題がある場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。詳細については、Amazon WorkSpaces 管理ガイドの [USB プリンターとその他の USB 周辺機器が PCoIP ゼロクライアントで動作しない](#) を参照してください。

印刷方法

- [ローカルプリンター](#)
- [その他の印刷方法](#)

ローカルプリンター

Windows の WorkSpaces では、ローカルプリンターのリダイレクトがサポートされています。WorkSpace のアプリケーションから印刷を行う際には、使用可能なプリンターのリストから、ローカルプリンターを選択できます。ローカルプリンターの場合、プリンターの表示名に「(Local-workspace username.directory name.client computer name)」が追加されます。いずれかのローカルプリンターを選択すると、そのプリンターでドキュメントが印刷されます。

場合によっては、使用するローカルプリンター用のドライバを、WorkSpace で手動でダウンロードしてインストールする必要があります。WorkSpace でプリンタードライバーをインストールする場合、異なるタイプのドライバーが見つかることがあります。

- プリンターの追加ウィザードのドライバー。このドライバーは、プリンタードライバーのみを含み、Windows のプリンターの追加ウィザードを使用したインストールに慣れているユーザー向けです。
- プリンターとの通信を必要としないプリンターモデル固有のドライバー。この場合、プリンタードライバーを直接インストールできます。
- プリンターとの通信を必要とするプリンターモデル固有のドライバー。この場合、プリンタードライバーファイルを使用して、既存のポート (LPT1:) を使用するローカルプリンターを追加できます。ポートを選択した後、[ディスク使用] を選択し、プリンタードライバーの .INF ファイルを選択します。

プリンタードライバーをインストールしたら、新しいプリンターが認識されるように [WorkSpace を再起動](#)する必要があります。

WorkSpace からローカルプリンターに印刷できない場合は、クライアントコンピュータからローカルプリンターに印刷できることを確認してください。クライアントコンピュータから印刷できない場合は、プリンターのドキュメントを参照するか、プリンターのサポートに問い合わせることで問題を解決してください。クライアントコンピュータから印刷できる場合、詳細については、[AWS Support](#) に連絡してサポートを依頼してください。

その他の印刷方法

次のいずれかの方法を使用すると、Windows もしくは Linux の WorkSpace から印刷することもできます。

- 組織が Active Directory を介してプリンターを公開している場合は、社内ネットワーク上のプリンターに WorkSpace を接続できます。
- ファイルに印刷し、そのファイルをローカルデスクトップに転送して (ファイルを E メールで送信するか、[Amazon WorkDocs](#) を使用します)、接続されたプリンターにローカルで印刷します。

WorkSpaces クライアントの問題のトラブルシューティング

以下は、WorkSpaces クライアントで発生する可能性がある一般的な問題です。

問題

- [Amazon WorkSpaces 登録コードが記載された E メールが届かなかった](#)
- [ログイン後、Windows クライアントアプリケーションには白いページのみが表示され、自分のに接続できません Workspace](#)
- [WorkSpaces クライアントからネットワークエラーが表示されましたが、デバイスで他のネットワーク対応アプリケーションを使用できます](#)
- [Windows へのログインに数分かかることがあります。 Workspace](#)
- [ログインしようとする、Amazon WorkSpaces Windows クライアントが「ログインページの準備」画面でスタックします。](#)
- [ログインしようとする、次のエラーメッセージが表示されます。「ネットワークがありません。ネットワーク接続が失われました ネットワーク接続を確認するか、管理者に問い合わせてください。」](#)
- [Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションのログインページが非常に小さい](#)
- [Workspace 「ステータス: 異常」というエラーメッセージが表示されます。に接続できませんでした Workspace。 Please try again in a few minutes.」というメッセージが表示される。](#)
- [セッションを閉じ Workspace でも Windows からログアウトすることがありますが、ログアウトはしませんでした](#)
- [パスワードを忘れてリセットしようとしたが、リセットリンクが記載された E メールが届きませんでした。](#)
- [からインターネットに接続できない Workspace](#)
- [サードパーティーのセキュリティソフトウェアパッケージをインストールしたが、に接続できない Workspace](#)
- [に接続したときに「ネットワーク接続が遅い」という警告が表示される Workspace](#)
- [クライアントアプリケーションで「無効な証明書」エラーが表示されました。これはどういう意味ですか？](#)
- [Web Access Workspace を使用して Windows に接続しようとする、問題が発生する](#)
- [「デバイスは登録サービスに接続できません。ネットワーク設定を確認してください」というエラーが表示されます。](#)

- クライアントアプリケーションの更新をスキップした後で、クライアントを最新バージョンに更新できません。
- ヘッドセットが機能しない WorkSpace
- Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできません。
- 入力した文字が間違えて表示されます。例えば、引用符 (' や ") を入力すると \ や | と表示されま
す。
- WorkSpaces クライアントアプリケーションが Mac で実行されない
- Mac での作業 WorkSpaces 中に Windows で Windows ロゴキーの使用に問題がある
- Mac でぼやけている WorkSpace ように見える
- コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました
- 画面がちらついている、正しく更新されない、またはマウスが正しい場所をクリックしない
- Windows 用の WorkSpaces クライアントが、既にインストールされているバージョンに更新する
よう求めるプロンプトを表示します。

Amazon WorkSpaces 登録コードが記載された E メールが届かなかった

サポートが必要な場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

ログイン後、Windows クライアントアプリケーションには白いページのみが表示され、自分の に接続できません WorkSpace

この問題は、クライアントコンピュータ (ではなく) で期限切れの Verisign/Symantec 証明書が原因で発生する可能性があります WorkSpace。期限切れの証明書を削除し、クライアントアプリケーションを再度起動します。

期限切れの VeriSign/Symantec 証明書を見つけて削除するには

1. クライアントコンピュータ (ではなく WorkSpace) の Windows コントロールパネルで、ネットワークとインターネット を選択します。
2. [インターネットオプション] を選択します。
3. [インターネットのプロパティ] ダイアログボックスで、[コンテンツ]、[証明書] の順に選択します。

4. [証明書] ダイアログボックスで、[中間証明機関] タブを選択します。証明書のリストで、VeriSign または Symantec 発行の有効期限が切れているすべての証明書を選択し、[削除] を選択します。失効していない証明書は削除しないでください。
5. [信頼されたルート証明機関] タブで、VeriSign または Symantec 発行の有効期限が切れているすべての証明書を選択し、[削除] を選択します。失効していない証明書は削除しないでください。
6. [証明書] ダイアログボックスと、[インターネットのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

WorkSpaces クライアントからネットワークエラーが表示されましたが、デバイスで他のネットワーク対応アプリケーションを使用できます

WorkSpaces クライアントアプリケーションは AWSクラウド内のリソースへのアクセスに依存し、少なくとも 1 Mbps のダウンロード帯域幅を提供する接続が必要です。デバイスにネットワークへの断続的な接続がある場合、WorkSpaces クライアントアプリケーションはネットワークの問題を報告することがあります。

WorkSpaces は、2018 年 5 月の時点で Amazon Trust Services によって発行されたデジタル証明書の使用を強制します。Amazon Trust Services は、でサポートされているオペレーティングシステムで既に信頼されたルート認証局 (CA) となっています WorkSpaces。オペレーティングシステムのルート CA リストが最新でない場合、デバイスは に接続できず WorkSpaces、クライアントはネットワークエラーを表示します。

証明書の失敗による接続の問題を認識するには

- PCoIP ゼロクライアント - 次のエラーメッセージが表示されます。

Failed to connect. The server provided a certificate that is invalid. See below for details:

- The supplied certificate is invalid due to timestamp
- The supplied certificate is not rooted in the devices local certificate store

- その他のクライアントヘルスチェックは、インターネットの赤い三角形の警告が表示されて失敗します。

証明書の失敗を解決するには

証明書が失敗した場合は、次のいずれかの解決策を使用します。

- Windows クライアントの場合は、<https://clients.amazonworkspaces.com/> から最新の Windows クライアントアプリケーションをダウンロードしてインストールします。クライアントアプリケーションは、インストール中に、Amazon Trust Services によって発行された証明書をオペレーティングシステムが信頼するようにします。クライアントを更新しても問題が解決しない場合は、Amazon WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。
- 他のすべてのクライアントについては、Amazon WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

Windows へのログインに数分かかることがあります。 Workspace

システム管理者によって設定されたグループポリシー設定により、Windows の起動または再起動後にログイン Workspace が遅延する可能性があります。この遅延は、グループポリシー設定が に適用されている間に発生し Workspace、正常です。

ログインしようとする、Amazon WorkSpaces Windows クライアントが「ログインページの準備」画面でスタックします。

Windows 10 マシンで WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションのバージョン 3.0.4 および 3.0.5 を起動すると、クライアントが「ログインページの準備」画面で停止する可能性があります。この問題を回避するには、Windows クライアントアプリケーションのバージョン 3.0.6 にアップグレードするか、管理者特権で Windows クライアントアプリケーションを実行しないようにします。

ログインしようとする、次のエラーメッセージが表示されます。
「ネットワークがありません。ネットワーク接続が失われました
ネットワーク接続を確認するか、管理者に問い合わせてください。」

3.0 以降のバージョンの Windows、macOS、Linux WorkSpaces クライアントアプリケーション Workspace を使用して にログインしようとする、カスタムプロキシサーバーを指定している場合、ログインページで「ネットワークなし」というエラーが表示されることがあります。

- Windows クライアント - Windows クライアントでこの問題を回避するには、バージョンを 3.0.12 以降にアップグレードします。Windows クライアントでプロキシサーバーを設定する方法については、[Windows クライアントの「プロキシサーバー」](#)を参照してください。
- macOS クライアント - この問題を回避するには、カスタムプロキシサーバーではなく、デバイスオペレーティングシステムで指定されているプロキシサーバーを使用します。macOS クライアントでプロキシサーバーを設定する方法については、[macOS クライアントの「プロキシサーバー」](#)を参照してください。
- Linux クライアント - Linux クライアントでこの問題を回避するには、バージョンを 3.1.5 以降にアップグレードします。このアップグレードが不可能な場合には、カスタムプロキシサーバーではなく、デバイスのオペレーティングシステムで指定されているプロキシサーバーを使用することで、問題を回避できます。Linux クライアントでプロキシサーバーを設定する方法については、[Linux クライアントの「プロキシサーバー」](#)を参照してください。

Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションのログインページが非常に小さい

管理者 (昇格) 権限を持つ WorkSpaces Windows クライアントを実行すると、高 DPI 環境で問題が表示される可能性があります。このような問題を回避するには、代わりにユーザーモードでクライアントを実行します。

Workspace 「ステータス: 異常」というエラーメッセージが表示されます。に接続できませんでした Workspace。Please try again in a few minutes.」というメッセージが表示される。

を開始または再開したばかりの場合は Workspace、数分待つてから、再度ログインしてみてください。

このエラーメッセージが引き続き表示される場合は、次のアクションを試すことができます (WorkSpaces 管理者が有効にしている場合)。

- [を再起動してください。Workspace](#)
- [再構築してください。Workspace](#)

Workspace を自分で再起動または再構築できない場合、または再起動後にエラーメッセージが引き続き表示される場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

セッションを閉じ WorkSpaceでも Windows からログアウトすることがありますが、ログアウトはしませんでした

システム管理者が、切断されたセッションのログオフ WorkSpace を必要とする新規または更新されたグループポリシー設定を Windows に適用しました。

パスワードを忘れてリセットしようとしたが、リセットリンクが記載された E メールが届きませんでした。

サポートが必要な場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。WorkSpaces 管理者がわからない場合は、会社の IT 部門に連絡してください。

からインターネットに接続できない WorkSpace

WorkSpaces デフォルトでは、はインターネットと通信できません。Amazon WorkSpaces 管理者は、インターネットアクセスを明示的に提供する必要があります。

サードパーティーのセキュリティソフトウェアパッケージをインストールしたが、に接続できない WorkSpace

には任意のタイプのセキュリティまたはファイアウォールソフトウェアをインストールできますが WorkSpace WorkSpaces、では特定のインバウンドポートとアウトバウンドポートが開いている必要があります WorkSpace。インストールするセキュリティソフトウェアまたはファイアウォールソフトウェアがこれらのポートをブロックすると、が正しく機能しない WorkSpace が、アクセスできなくなる可能性があります。詳細については、「[Amazon WorkSpaces 管理ガイド](#)」の「[のポート要件 WorkSpaces](#)」を参照してください。

を復元するには WorkSpace、引き続きアクセスできる場合は [を再構築 WorkSpace](#) するか、Amazon WorkSpaces 管理者に [を再構築](#) するよう依頼してください WorkSpace。次に、ソフトウェアを再インストールし、のポートアクセスを適切に設定する必要があります WorkSpace。

に接続したときに「ネットワーク接続が遅い」という警告が表示される WorkSpace

クライアントからへのラウンドトリップ時間が 100 ミリ秒 WorkSpace を超える場合でも、を使用できますが WorkSpace、エクスペリエンスが低下する可能性があります。往復時間が長くなる要因は多数ありますが、代表的な要因は次のとおりです。

- が存在する AWS リージョンから遠すぎます WorkSpace。最高の WorkSpace エクスペリエンスを得るには、がある AWS リージョンから 2,000 マイル以内 WorkSpace にある必要があります。
- ネットワーク接続に一貫性がないか、低速です。最高のエクスペリエンスを得るには、ネットワーク接続で少なくとも 300 kbps を提供し、でビデオを表示したり、グラフィックを多用するアプリケーションを使用したりするときに 1 Mbps を超える機能を提供する必要があります WorkSpace。

クライアントアプリケーションで「無効な証明書」エラーが表示されました。これはどういう意味ですか？

WorkSpaces クライアントアプリケーションは、SSL/TLS 証明書を使用して WorkSpaces サービスのアイデンティティを検証します。Amazon WorkSpaces サービスのルート認証局を検証できない場合、クライアントアプリケーションはエラーを表示し、サービスへの接続を禁止します。最も一般的な原因は、プロキシサーバーによりルート証明機関が削除され、クライアントアプリケーションに不完全な証明書が送り返される場合です。ネットワーク管理者に連絡してサポートを依頼してください。

Web Access WorkSpace を使用して Windows に接続しようとする と問題が発生する

Windows では、ウェブアクセスクライアントからログインできるように、特定のログイン画面設定 WorkSpaces を使用します。Amazon WorkSpaces 管理者は、ウェブアクセスクライアント WorkSpace からにログインできるように、グループポリシーとセキュリティポリシーの設定が必要になる場合があります。これらの設定が正しく設定されていない場合、にログインしようとすると、ログイン時間が長くなり、画面が黒くなることがあります WorkSpace。詳細については、Amazon WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

⚠ Important

2020年10月1日以降、お客様は Amazon WorkSpaces Web Access クライアントを使用して Windows 7 カスタム WorkSpaces または Windows 7 Bring Your Own License (BYOL) に接続できなくなります WorkSpaces。

「デバイスは登録サービスに接続できません。ネットワーク設定を確認してください」というエラーが表示されます。

登録サービスに障害が発生すると、Connection Health Check ページに「デバイスが WorkSpaces 登録サービスに接続できない」というエラーメッセージが表示されることがあります。デバイスを登録することはできません WorkSpaces。ネットワーク設定を確認してください」というエラーメッセージが表示されることがあります。

このエラーは、WorkSpaces クライアントアプリケーションが登録サービスに到達できない場合に発生します。詳細については、Amazon WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

クライアントアプリケーションの更新をスキップした後で、クライアントを最新バージョンに更新できません。


Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションの更新をスキップし、最新バージョンのクライアントに更新する場合は、[WorkSpaces 「Windows クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新する」](#)を参照してください。

Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションの更新をスキップし、最新バージョンのクライアントに更新する場合は、[WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを新しいバージョンに更新する](#)」を参照してください。

ヘッドセットがで機能しない Workspace

Amazon に Android、iPadmacOS、Linux、または Windows クライアントアプリケーションを使用していて WorkSpaces、 でヘッドセットを使用できない場合は Workspace、次の手順を試してください。

1. から切断する Workspace (Amazon WorkSpacesを選択する、 を切断 Workspaceする)。

- ヘッドセットのプラグを抜き、もう一度差し込みます。ローカルコンピューターまたはタブレットで動作することを確認します。USB ヘッドセットの場合は、コンピューターまたはタブレットにローカルで再生デバイスとして表示されることを確認します。
 - Windowsの場合は、[Control Panel] (コントロールパネル) の [Hardware and Sound] (ハードウェアとサウンド) > [Sound] (サウンド) の下に表示されているデバイスを確認します。[Sound] (サウンド) ダイアログボックスで、[Playback] (再生) タブを選択します。
 - macOS の場合は、[Apple menu] (Apple メニュー) > [System Preferences] (システム環境設定) > [Sound] (サウンド) > [Output] (出力) の順に選択します。
 - iPad の場合は、コントロールセンターを開き、AirPlay  タンをタップします。
 - Chromebook の場合は、システムトレイを開き、音量調整バーの横にあるヘッドフォンアイコンを選択します。オーディオ入出力に使用するデバイスを選択します。
- に再接続します WorkSpace。

これで、ヘッドセットがで動作するはずですが WorkSpace。ヘッドセットに問題がある場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

Note

現在、オーディオは WorkSpaces Streaming Protocol (WSP) WorkSpaces を使用する Linux ではサポートされていません。

Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできません。

バージョン 2.4.13 は、Amazon WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションの最終リリースです。[Google は Chrome Apps のサポートを段階的に廃止している](#)ため、WorkSpaces Chromebook クライアントアプリケーションにはそれ以上の更新はなく、その使用はサポートされていません。

[Android アプリケーションのインストールをサポートする Chromebook](#) の場合は、代わりに [WorkSpaces Android クライアントアプリケーション](#) を使用することをお勧めします。

2019 年より前にリリースされた Chromebook を使用している場合は、Amazon WorkSpaces Android [クライアントアプリケーションをインストールする前に、2019 年より前にリリースされた Chromebook のインストール手順](#)を参照してください。

場合によっては、WorkSpaces 管理者が Chromebook で Android アプリケーションをインストールできるようにする必要がある場合があります。Chromebook に Android クライアントアプリケーションをインストールできない場合は、WorkSpaces 管理者にお問い合わせください。

入力した文字が間違えて表示されます。例えば、引用符 (' や ") を入力すると \ や | と表示されます。

この動作は、デバイスが 同じ言語に設定されていない場合 Workspace、またはフランス語キーボードなどの言語固有のキーボードを使用している場合に発生する可能性があります。

この問題を解決するには、[Amazon WorkSpaces の言語とキーボードのサポート](#)をご参照ください。

WorkSpaces クライアントアプリケーションが Mac で実行されない

Mac で古いバージョンの WorkSpaces クライアントアプリケーションを実行しようとする、クライアントアプリケーションが起動せず、次のようなセキュリティ警告が表示されることがあります。

```
"WorkSpaces.app will damage your computer. You should move it to the Trash."
```

```
"WorkSpaces.app is damaged and can't be opened. You should move it to the Trash."
```

macOS 10.15 (Catalina) 以降を使用する場合は、macOS クライアントのバージョン 3.0.2 以降を使用する必要があります。

バージョン 2.5.11 以前の macOS クライアントを macOS デバイスにインストールすることはできなくなりました。これらのバージョンは、macOS Catalina 以降を搭載したデバイスでも動作しなくなりました。

バージョン 2.5.11 以前を使用していて、macOS の古いバージョンから Catalina 以降にアップグレードすると、2.5.11 以前のクライアントを使用できなくなりました。

この問題を解決するには、影響を受けるユーザーが <https://clients.amazonworkspaces.com/> -でダウンロードできる macOS クライアントの最新バージョンにアップグレードすることをお勧めします。

macOS クライアントのインストールまたは更新の詳細については、「[セットアップとインストール](#)」をご参照ください。

Mac での作業 WorkSpaces 中に Windows で Windows ロゴキーの使用に問題がある

デフォルトでは、Windows キーボードの Windows ロゴキーと Apple キーボードの コマンドキーの両方が、Amazon WorkSpaces macOS クライアントアプリケーションを使用しているときに Ctrl キーにマッピングされます。この動作を変更して、これら 2 つのキーを Windows ロゴキーにマッピングするには、「[Windows ロゴキーまたはコマンドキーを再マッピングする](#)」を参照してください。これらのキーを再マッピングする手順を確認できます。

Mac でぼやけている WorkSpace ように見える

の画面解像度が低く、オブジェクト WorkSpaces がぼやけているように見える場合は、高 DPI モードをオンにし、Mac の表示スケーリング設定を調整する必要があります。詳細については、「[WorkSpaces の高 DPI ディスプレイのサポート](#)」を参照してください。

コピーして貼り付ける操作で問題が発生しました

コピーして貼り付ける操作で問題が発生した場合は、以下の内容を確認して問題の解決にお役立てください。

- 管理者が のクリップボードリダイレクトを有効にしました WorkSpace。サポートについては、組織の WorkSpaces 管理者または IT 部門にお問い合わせください。
- 圧縮されていないオブジェクトのサイズが最大 20 MB 未満であるか。
- コピーしたデータ型がクリップボードのリダイレクトでサポートされているか。サポートされているデータ型のリストについては、Teradici ドキュメントの「[Understanding Cloud Access Software Copy/Paste Feature](#)」をご参照ください。

画面がちらついている、正しく更新されない、またはマウスが正しい場所をクリックしない

バージョン 3.1.4 より前のバージョンの Amazon WorkSpaces Windows クライアントアプリケーションを使用している場合、ハードウェアアクセラレーションが原因で、次の画面更新の問題が発生する可能性があります。

- 画面の一部で、黒いボックスがちらつくことがある。
- ログインページで画面が正しく更新されないか、WorkSpaces にログインした後に画面が正しく更新されない可能性があります WorkSpace。画面にアーティファクトが表示されることがある。
- マウスのクリックが、画面上のカーソル位置からずれることがある。

これらの問題を解決するには、Windows クライアントアプリケーションを、3.1.4 以降のバージョンにアップグレードすることをお勧めします。バージョン 3.1.4 以降の Windows クライアントアプリケーションでは、ハードウェアアクセラレーションはデフォルトで無効になっています。

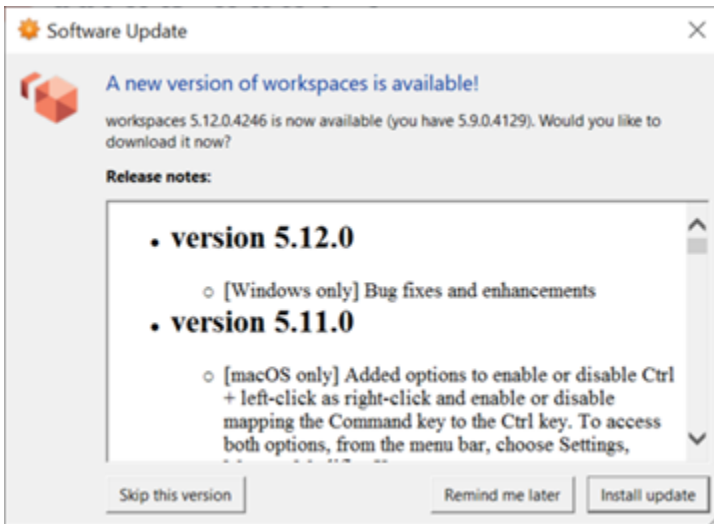
クライアントの使用時にパフォーマンスが低下するなどの問題が発生し、バージョン 3.1.4 以降でハードウェアアクセラレーションを有効にする必要がある場合は、「[ハードウェアアクセラレーションを管理する](#)」を参照してください。

Windows クライアントアプリケーションのバージョン 3.1.3 以前を使用する必要がある場合は、Windows のハードウェアアクセラレーションを無効にすることができます。バージョン 3.1.3 以前でハードウェアアクセラレーションを無効にする場合は、「[Managing Hardware Acceleration \(ハードウェアアクセラレーションの管理\)](#)」を参照してください。Windows のハードウェアアクセラレーションを無効にすると、他の Windows アプリケーションのパフォーマンスに影響する場合があります。

Windows 用の WorkSpaces クライアントが、既にインストールされているバージョンに更新するよう求めるプロンプトを表示します。

Windows 用の WorkSpaces クライアントインストーラーを使用すると、ユーザーは自分自身またはマシンのすべてのユーザーのみにクライアントをインストールできます。単一のユーザーにインストールされている場合、同じ Windows マシン上の他のユーザーは WorkSpaces クライアントアプリケーションを実行できません。すべてのユーザーにインストールされている場合、同じ Windows マシン上のすべてのユーザーがアプリケーションを実行できます。

Windows 用の WorkSpaces クライアントが起動すると、更新があるかどうかを検出され、次の例に示すように、アプリケーションを更新するかどうかをユーザーに尋ねるダイアログが表示されます。



ユーザーは、プロンプトに表示されるバージョンに更新した後でも、このプロンプトを引き続き表示する場合があります。これは、同じコンピュータに複数のバージョンの WorkSpaces クライアントがインストールされていることが原因です。例えば、ユーザーがクライアントを WorkSpaces 自分用にインストールし、後で同じ Windows マシン上のすべてのユーザー用に新しいバージョンのクライアントをインストールしたとします。更新を実行した後も古いバージョンのクライアントを引き続き開くと、ユーザーは更新プロンプトを引き続き表示します。

コンピュータから古いバージョンの WorkSpaces クライアントをアンインストールするには、以下の手順のいずれかを実行する必要があります。これにより、次回起動時に新しいバージョンのクライアントのみが開かれます。

コントロールパネルを使用して Windows 用の古いバージョンの WorkSpaces クライアントをアンインストールする

1. Windows のスタートメニューを開きます。
2. コントロールパネルを検索して開きます。
3. コントロールパネルで、プログラムと機能を開きます。
4. プログラムをアンインストールまたは変更ウィンドウで、インストール WorkSpaces されているさまざまなバージョンの Amazon をスクロールして検索します。
5. インストールされている古いバージョンを選択し、アンインストールを選択します。インストールされているバージョン番号は、「バージョン」列に一覧表示されます。
6. アンインストールを確認するプロンプトが表示されたら、はいを選択します。

アンインストールが完了すると、コンピュータを再起動する必要がある場合があります。

WorkSpaces クライアントインストーラを使用して Windows 用のクライアントを削除する

1. WorkSpaces クライアントアプリケーションの起動時にソフトウェア更新プロンプトが表示された場合は、更新のインストールを選択します。
2. インストーラの Amazon WorkSpaces Setup 画面で次へを選択します。

インストーラは、新しいバージョンの WorkSpaces クライアントがインストールされているかどうかを検出し、それを修復または削除するためのオプションを提供します。

3. 削除を選択して、インストーラの新しいバージョンをアンインストールします。

アンインストールが完了すると、コンピュータを再起動する必要がある場合があります。

4. WorkSpaces クライアントを再度起動し、ソフトウェア更新プロンプトが表示されたら更新のインストールを選択します。
5. クライアントを自分だけにインストールするか、マシンのすべてのユーザー用にインストールするかを選択します。ここで選択した選択肢は、Windows 用の WorkSpaces クライアントを最初にインストールしたときと同じである必要があります。これにより、次回クライアントを起動するときに、繰り返し更新プロンプトが表示されなくなります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。